

高浜町総合計画策定に向けた住民アンケート調査
報告書

目次

1. 調査概要.....	1
報告書の見方.....	1
2. 調査結果.....	2
1. 回答者属性.....	2
(1) 性別と年代.....	2
(2) 家族構成.....	3
(3) 居住地区.....	3
(4) 居住年数.....	4
(5) 居住したきっかけ.....	4
(6) 職業.....	6
(7) 就業・就学先.....	6
2. 暮らしや考え方について.....	7
(1) 高浜町への愛着.....	7
(2) 定住意向.....	9
(3) 10年前と比較した今の生活環境.....	11
(4) 今と比較した10年後の生活環境.....	12
(5) 高浜町で実施している観光イベントの方向.....	13
(6) 公衆トイレについて.....	13
(7) 農業への関心.....	14
(8) 夏季の観光について.....	15
(9) 地域の防災時の助け合いの安心感.....	15
(10) 災害時に備えた食料等の備蓄状況.....	18
(11) 災害時に相談できる人が近所や地域にいるか.....	18
(12) 直近1年間の公民館の利用状況.....	21
(13) 直近1年間の体育施設の利用状況.....	21
(14) 「広報たかはま」を読む頻度.....	22
(15) 高浜町のホームページの利用頻度.....	22
(16) チャンネルO（9チャンネル）の視聴頻度.....	24
(17) 高浜町のデータ放送の視聴頻度.....	25
(18) 高浜町メール配信サービスの登録状況.....	26
(19) 情報を得る媒体.....	27
(20) 普段、利用したいと思う公園.....	29
(21) 自慢できる高浜の地域資源.....	31

3. 高浜町総合計画について.....	32
(1) 「高浜町総合計画」の認知.....	32
(2) 各政策の満足度.....	33
(3) 各政策の重要度.....	43
(4) 各政策の満足度と重要度.....	49
4. 町政について.....	56
(1) 町政への関心.....	56
(2) 行政の満足度.....	59
5. 就職状況と雇用について.....	64
(1) 現在の仕事の満足度（現在、仕事をしている人のみ回答）.....	64
(2) 地元で就職することについて（現在、仕事をしていない人のみ回答）.....	65
(3) 子どもの現在の仕事や就職について.....	66
(4) 自身が就きたい、子どもに就かせたい職業.....	67
(5) 希望の仕事に就くために役立つと思う支援.....	69
(6) 雇用先の企業に配慮してほしいこと.....	70
(7) 地元であればよいと思う企業のイメージ.....	71
6. 地域との関わりについて.....	72
(1) 近所づきあいの状況.....	72
(2) 人への信頼に関する考え方.....	75
(3) 地域活動への参加状況.....	76
(4) 今後、地域での子育て支援として取り組んでみたいこと.....	79
7. 自由記述の内容.....	80

1. 調査概要

① 調査の目的

この調査は令和2年度に「高浜町総合計画」が計画期末を迎えることから、次期計画を策定するにあたって、これまでのまちづくりの評価や今後のまちづくりのニーズ等の住民意見を広く把握することを目的に実施しました。

② 調査の対象

【調査対象】 高浜町在住の18歳以上の町民

【選定方法】 無作為抽出

抽出数：2,500人

抽出基準日：令和元年8月20日現在

③ 調査の方法

調査は無記名とし、令和元年9月5日（木）～9月20日（金）を調査期間として、郵送により実施しました。

④ 回収の状況

有効回収数：1,047件／有効回答率：41.9%

報告書の見方

- ・ 回答結果は、各項目の不明を含む有効サンプル数に対する百分比(%)で示し、百分比は小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを表示しています。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの比率を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- ・ 図表中の「n」は集計対象者総数または、回答者限定設問の限定条件に該当者数を示しています。

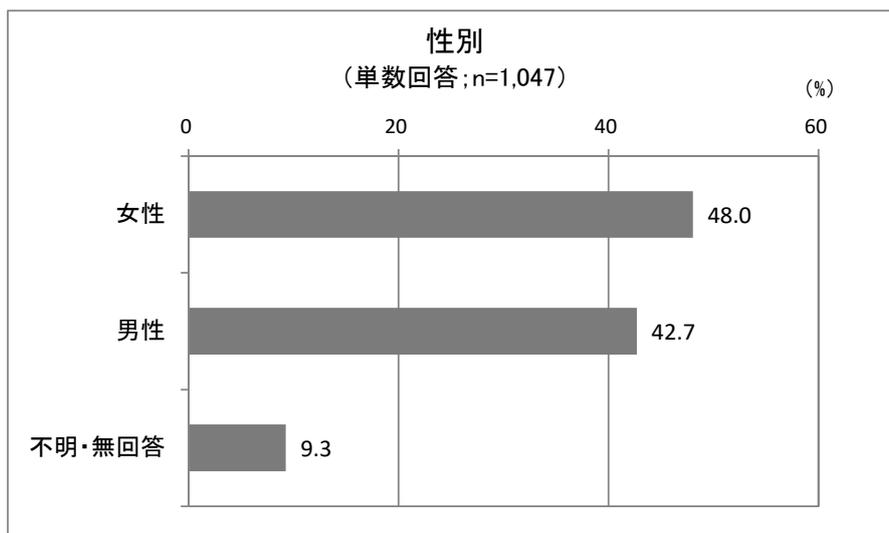
2. 調査結果

1. 回答者属性

(1) 性別と年代

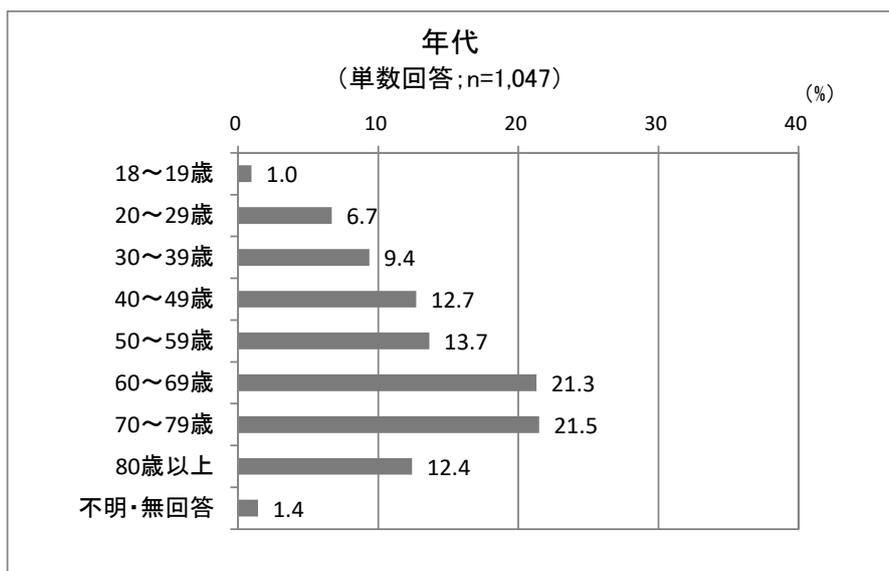
【性別】

「女性」が48.0%、「男性」が42.7%となっています。



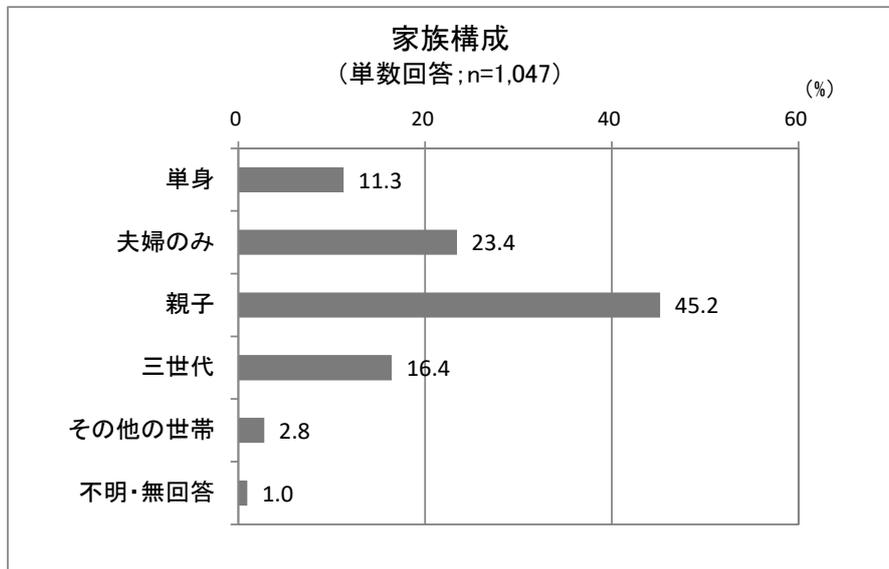
【年代】

「70～79歳」が最も多く21.5%、次いで「60～69歳」が21.3%、「50～59歳」が13.7%、「40～49歳」が12.7%などとなっています。



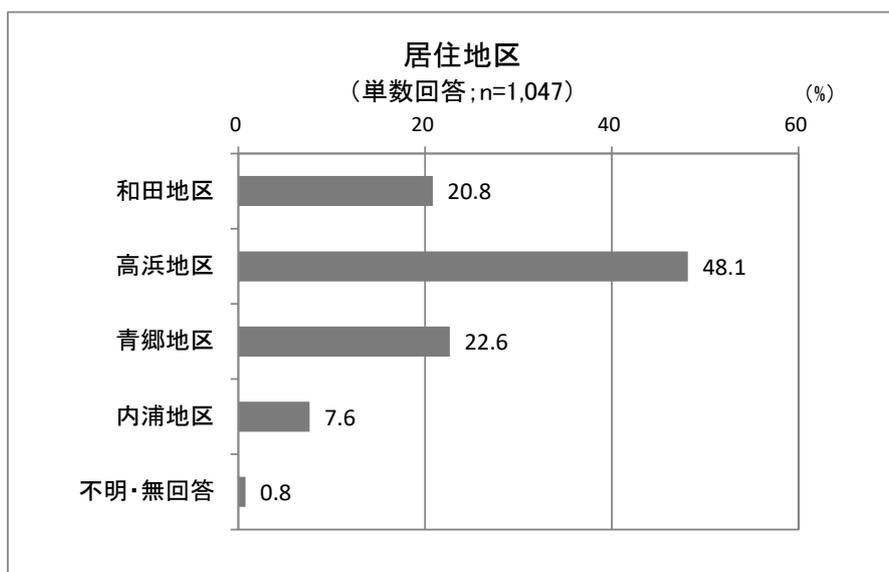
(2) 家族構成

「親子」が最も多く 45.2%、次いで「夫婦のみ」が 23.4%、「三世代」が 16.4%などとなっています。



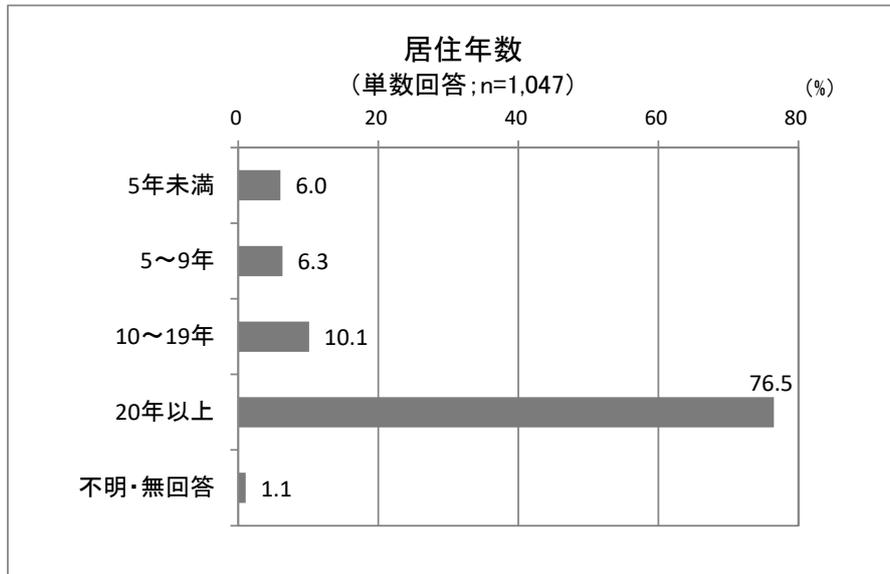
(3) 居住地区

「高浜地区」が最も多く 48.1%、次いで「青郷地区」が 22.6%、「和田地区」が 20.8%、「内浦地区」が 7.6%となっています。



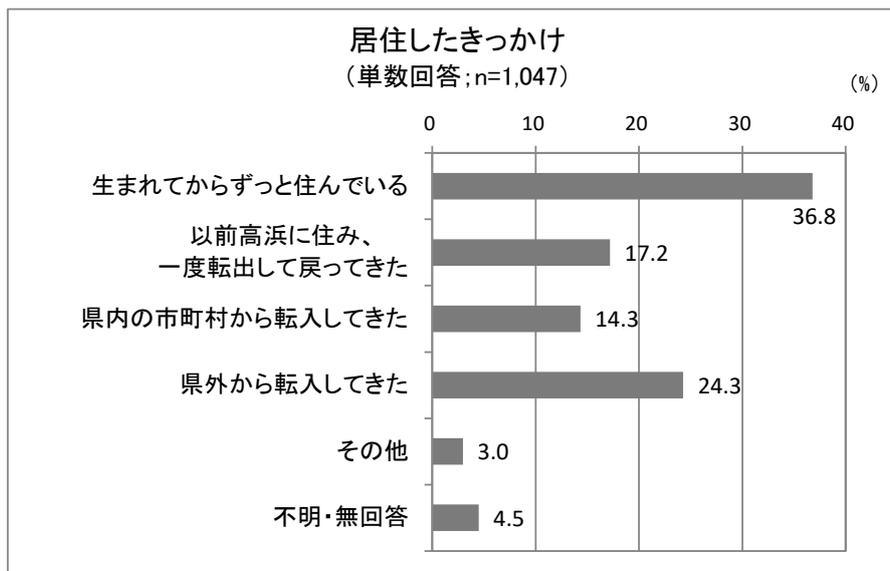
(4) 居住年数

「20年以上」が最も多く76.5%、次いで「10～19年」が10.1%、「5～9年」が6.3%などとなっています。



(5) 居住したきっかけ

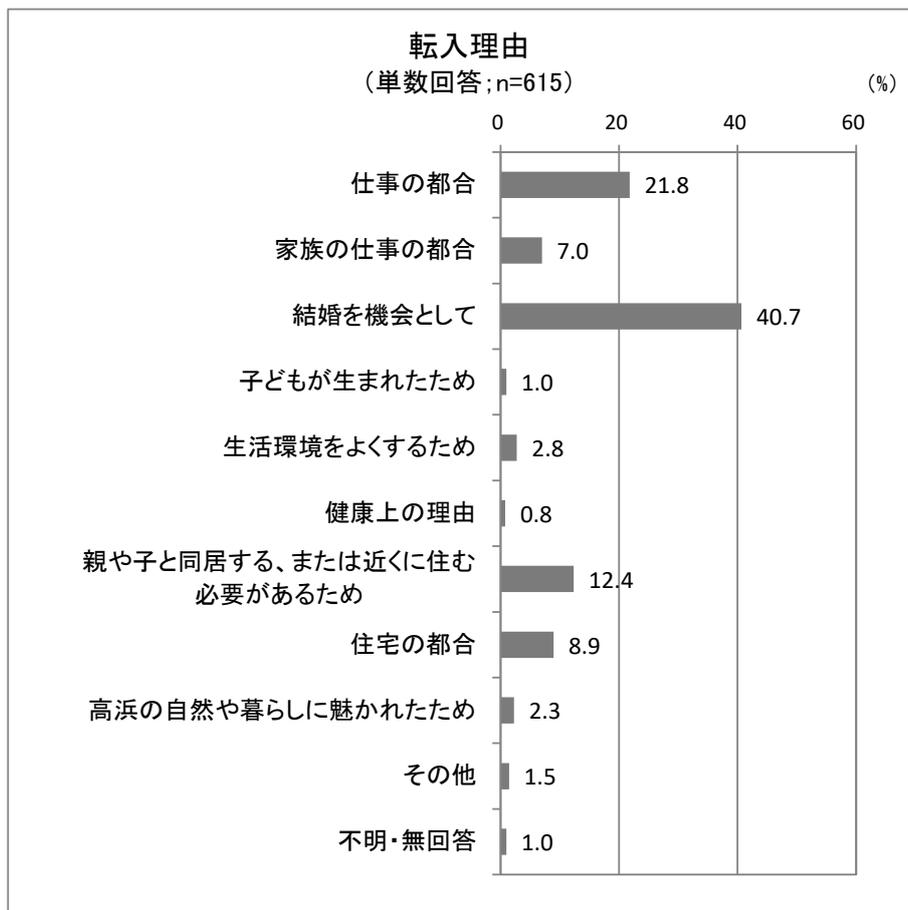
「生まれてからずっと住んでいる」が最も多く36.8%、次いで「県外から転入してきた」が24.3%、「以前高浜に住み、一度転出して戻ってきた」が17.2%などとなっています。



■ 転入理由

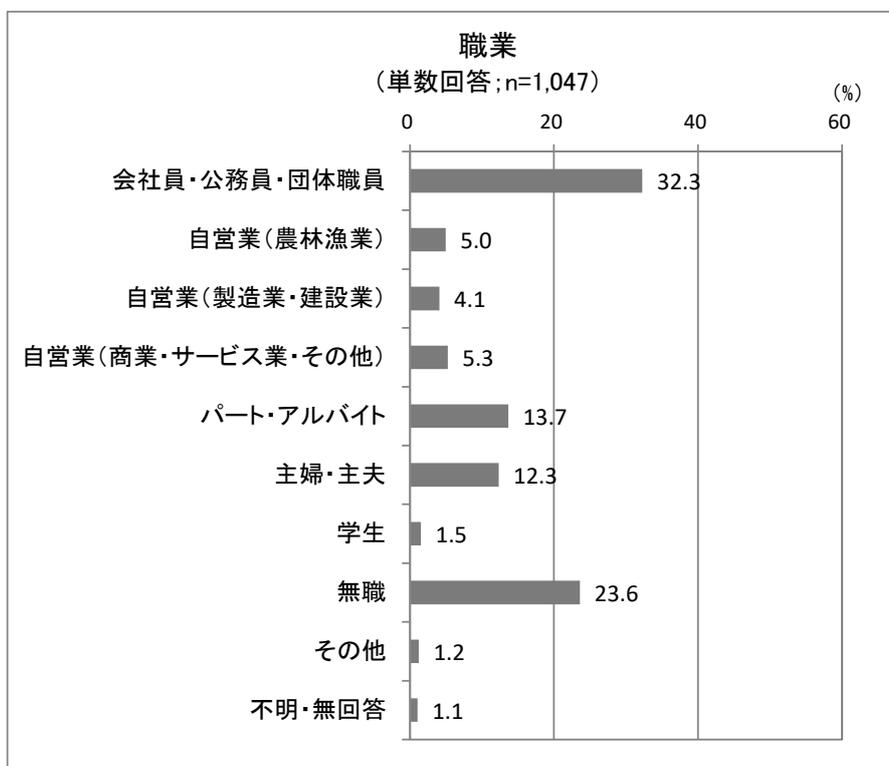
(「以前高浜に住み、一度転出して戻ってきた」「県内の市町村から転入してきた」「県外から転入してきた」の回答者)

「結婚を機会として」が最も多く 40.7%、次いで「仕事の都合」が 21.8%、「親や子と同居する、または近くに住む必要があるため」が 12.4%などとなっています。



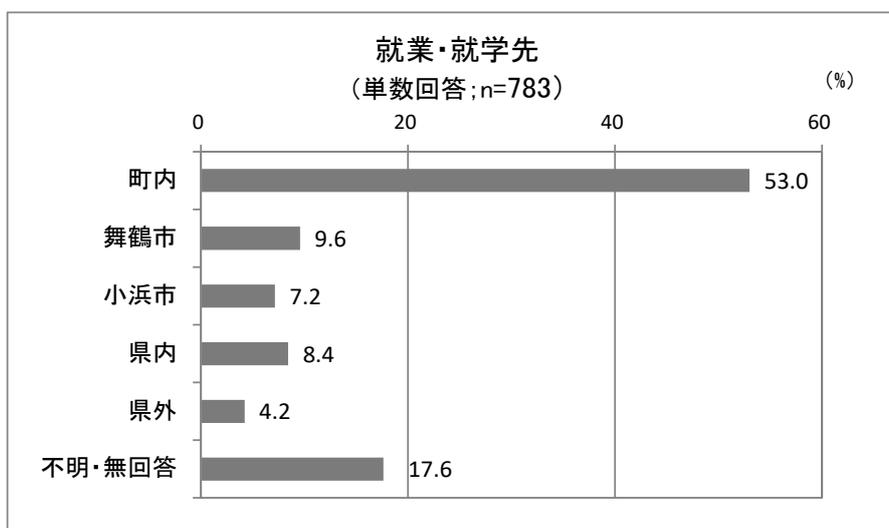
(6) 職業

「会社員・公務員・団体職員」が最も多く 32.3%、次いで「無職」が 23.6%、「パート・アルバイト」が 13.7%、「主婦・主夫」が 12.3%などとなっています。



(7) 就業・就学先

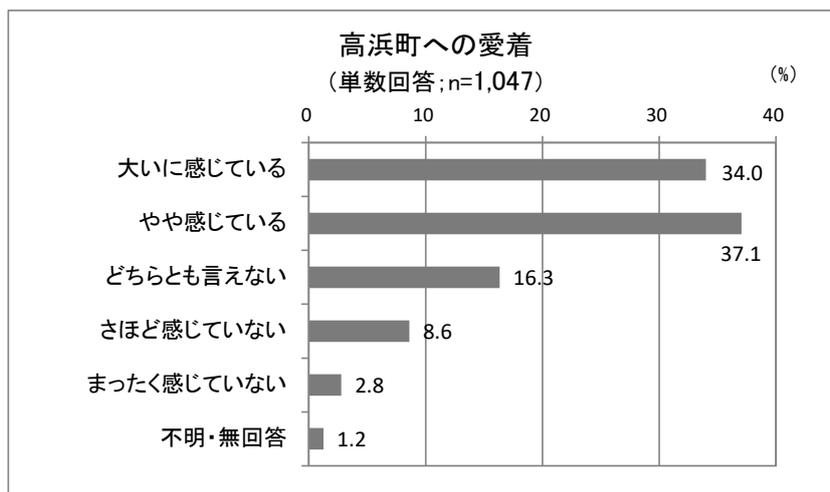
「町内」が最も多く 53.0%、次いで「舞鶴市」が 9.6%、「県内」が 8.4%などとなっています。



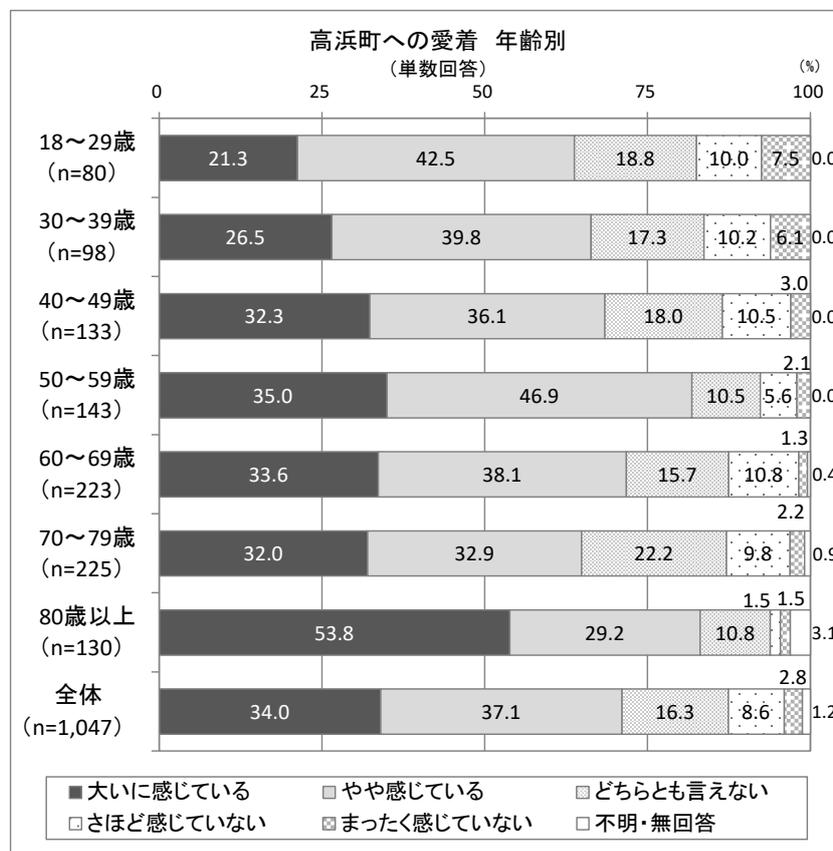
2. 暮らしや考え方について

(1) 高浜町への愛着

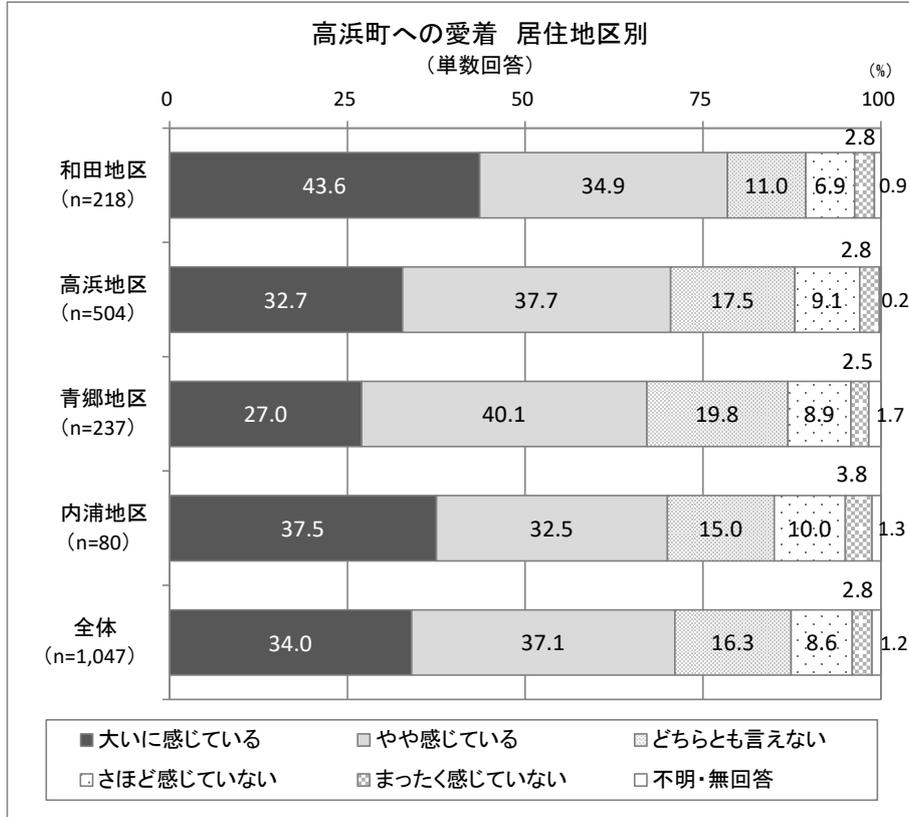
「やや感じている」が最も多く 37.1%、次いで「大いに感じている」が 34.0%となっています。一方、「さほど感じていない」が 8.6%、「まったく感じていない」が 2.8%などとなっています。



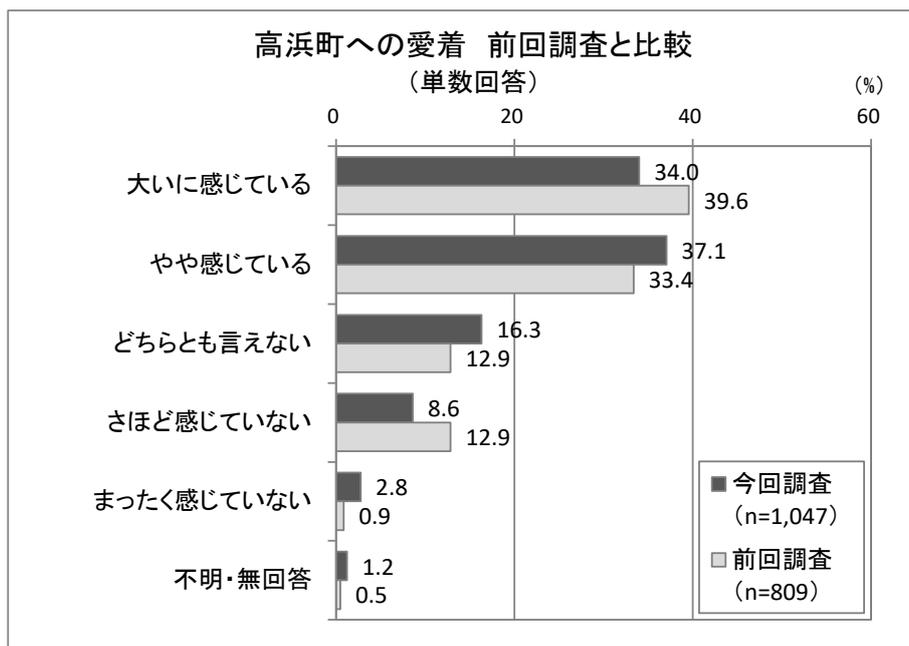
年齢別にみると、どの年代でも愛着を『感じている』（「大いに感じている」「やや感じている」の合計）が 60%を超えています。また、年齢別による有意な差はみられません。



居住地区別にみると、どの居住地区でも愛着を『感じている』（「大いに感じている」「やや感じている」の合計）が 65%を超えています。また、居住地区別による有意な差はみられません。

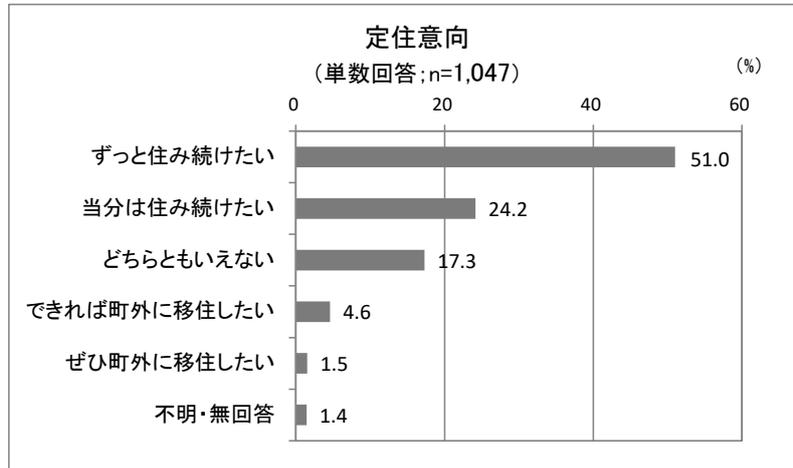


前回調査と比較すると、有意な差はみられません。



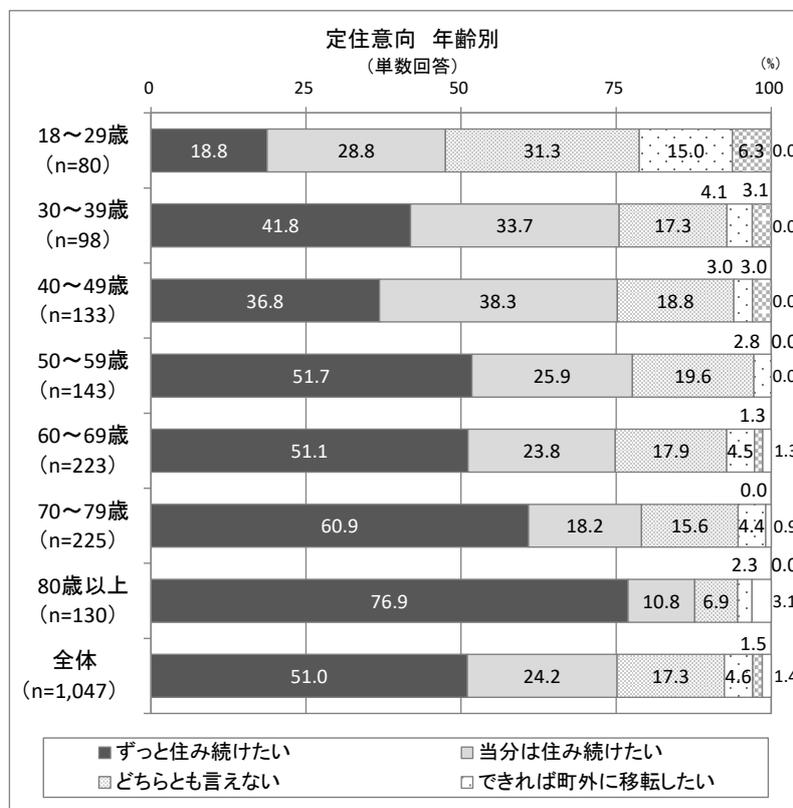
(2) 定住意向

「ずっと住み続けたい」が最も多く 51.0%、次いで「当分は住み続けたい」が 24.2%、「どちらともいえない」が 17.3%となっています。一方、「できれば町外に移住したい」が 4.6%、「ぜひ町外に移住したい」が 1.5%となっています。

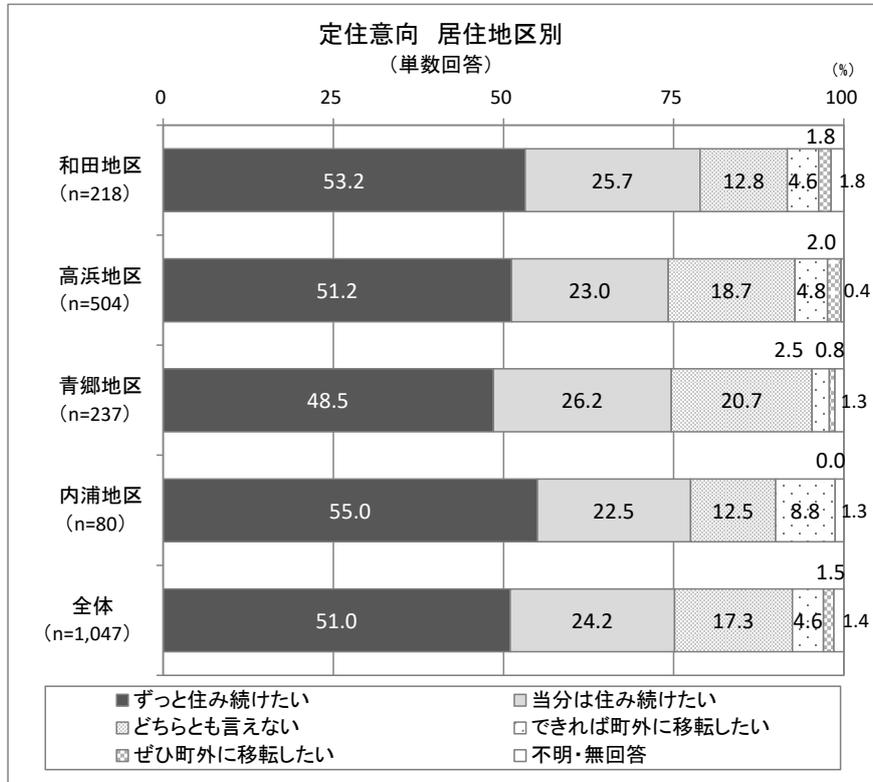


年齢別にみると、「18～29歳」以外の年代では『住み続けたい』（「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計）が 70%を超えています。

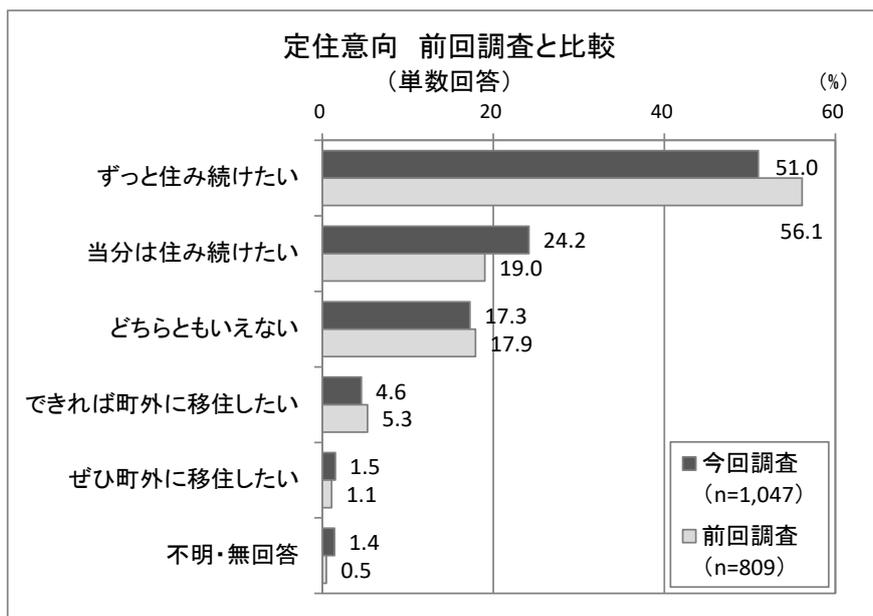
「18～29歳」では『住み続けたい』が少なく、50歳代から70歳代では多くなっています。



居住地区別にみると、どの居住地区でも『住み続けたい』（「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計）が70%を超えています。また、居住地区別による有意な差はみられません。

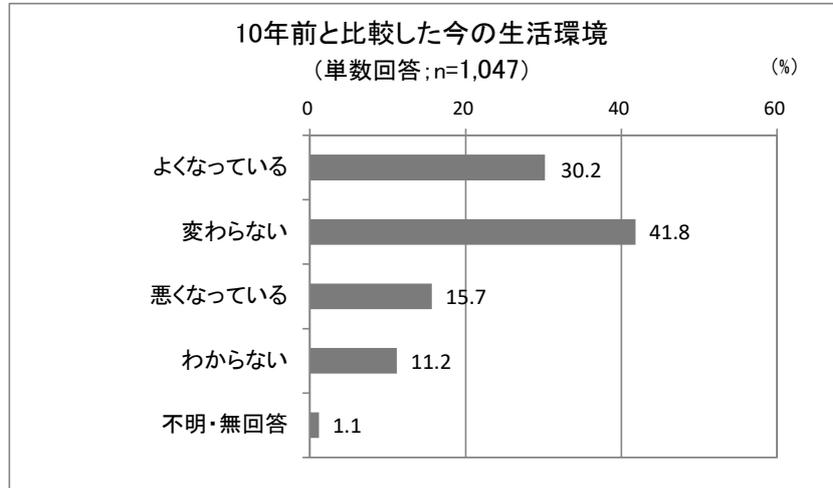


前回調査と比較すると、有意な差はみられません。

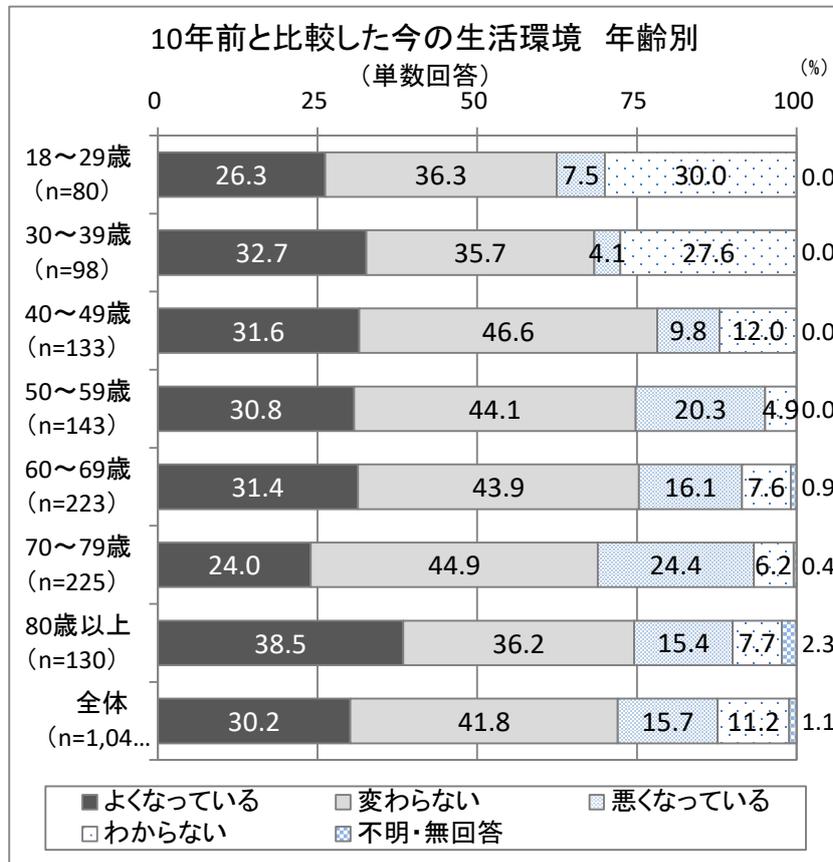


(3) 10年前と比較した今の生活環境

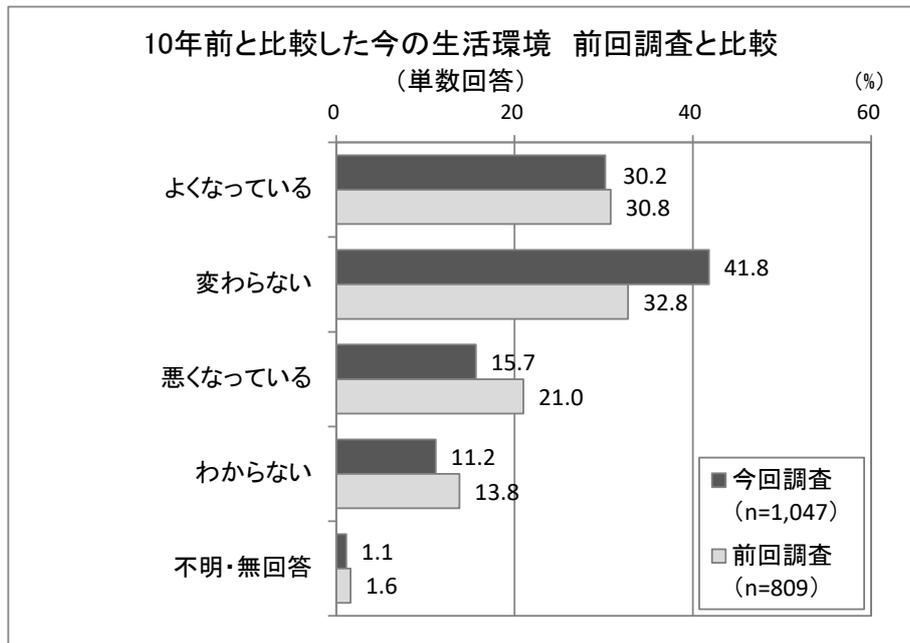
「変わらない」が最も多く41.8%、次いで「よくなっている」が30.2%となっています。一方、「悪くなっている」が15.7%などとなっています。



年齢別にみると、どの年代も「変わらない」が最も多く、「70～79歳」以外の年代では、「よくなっている」が「悪くなっている」を上回っています。また、年齢別による有意な差はみられません。

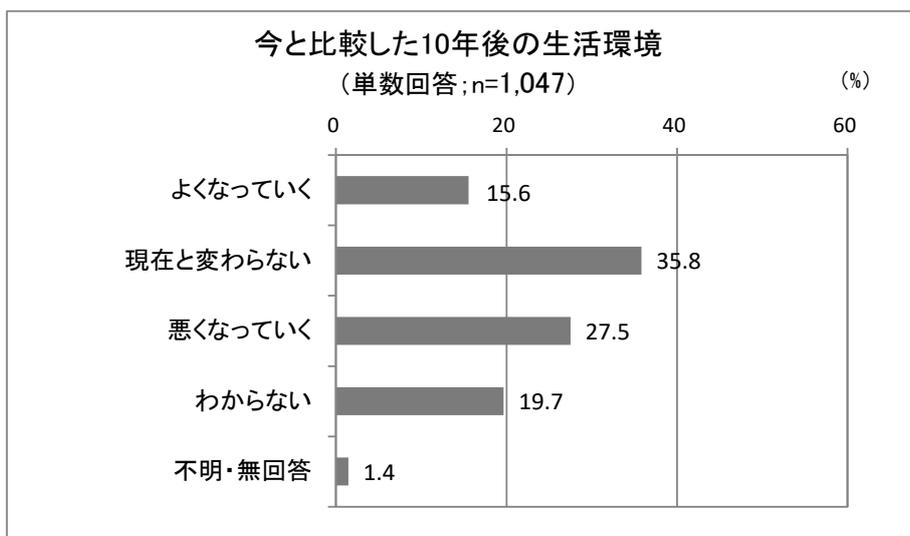


前回調査と比較すると、「変わらない」が増加しています。



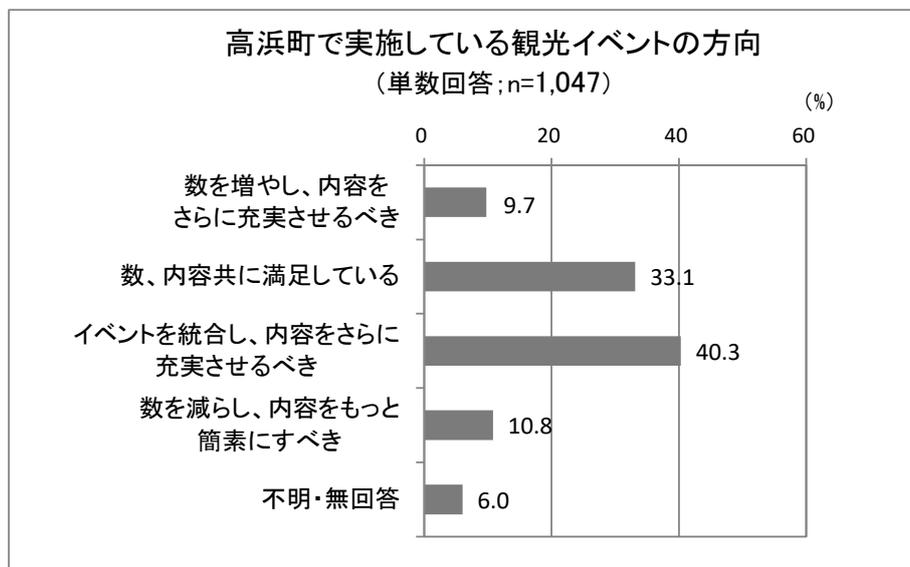
(4) 今と比較した10年後の生活環境

「現在と変わらない」が最も多く 35.8%、次いで「悪くなっていく」が 27.5%、「わからない」が 19.7%などとなっています。



(5) 高浜町で実施している観光イベントの方向

「イベントを統合し、内容をさらに充実させるべき」が最も多く 40.3%、次いで「数、内容共に満足している」が 33.1%、「数を減らし、内容をもっと簡素にすべき」が 10.8%などとなっています。

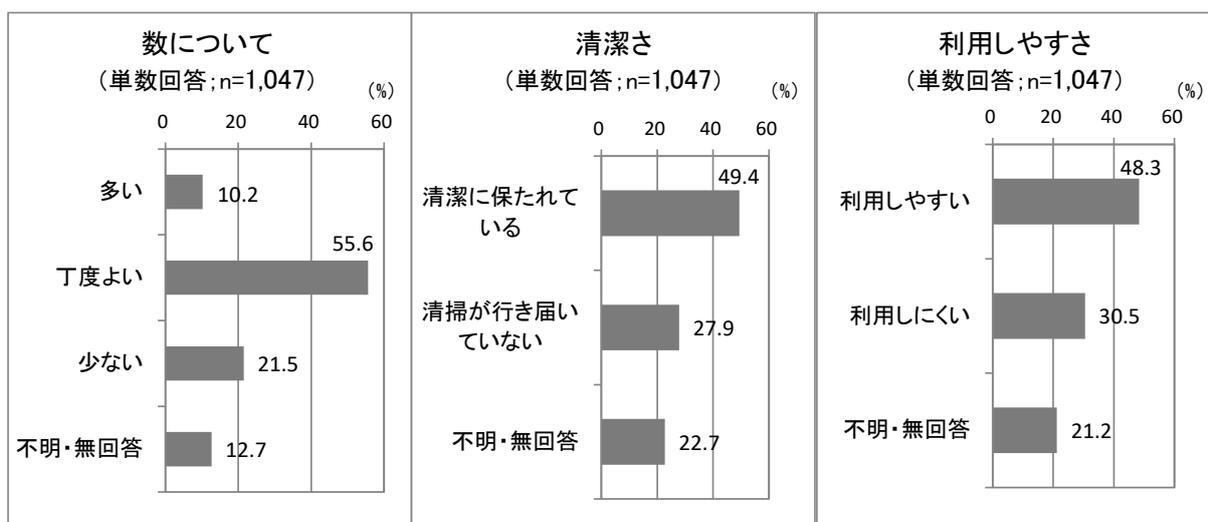


(6) 公衆トイレについて

数は「丁度よい」が 55.6%、「少ない」が 21.5%などとなっています。

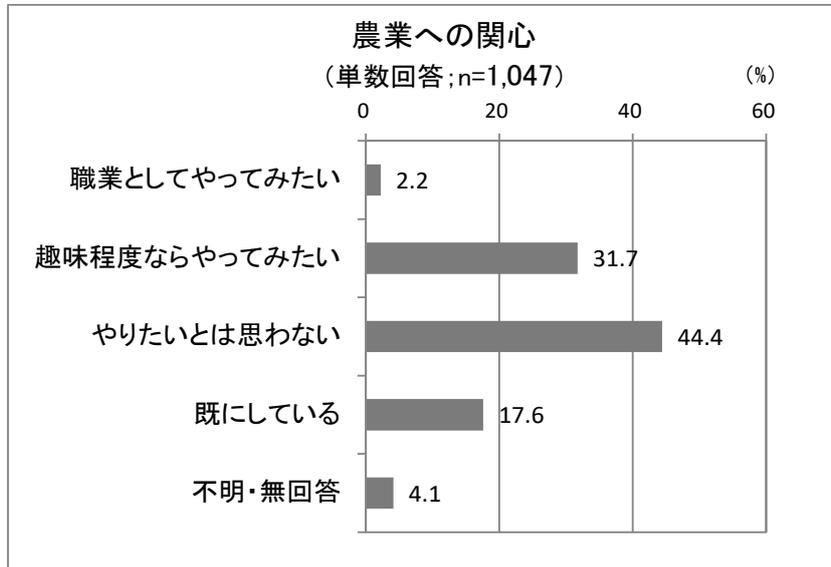
清潔さは「清潔に保たれている」が 49.4%、「清掃が行き届いていない」が 27.9%となっています。

利用しやすさは「利用しやすい」が 48.3%、「利用しにくい」が 30.5%となっています。

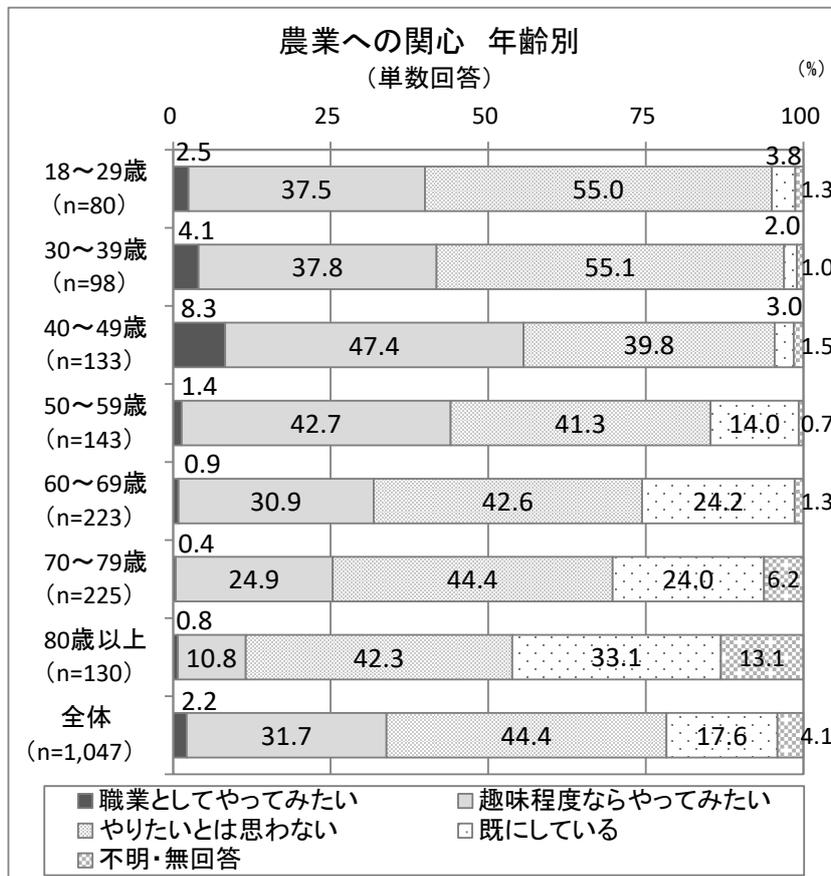


(7) 農業への関心

「やりたいとは思わない」が最も多く 44.4%、次いで「趣味程度ならやってみたい」が 31.7%、「既になっている」が 17.6%などとなっています。

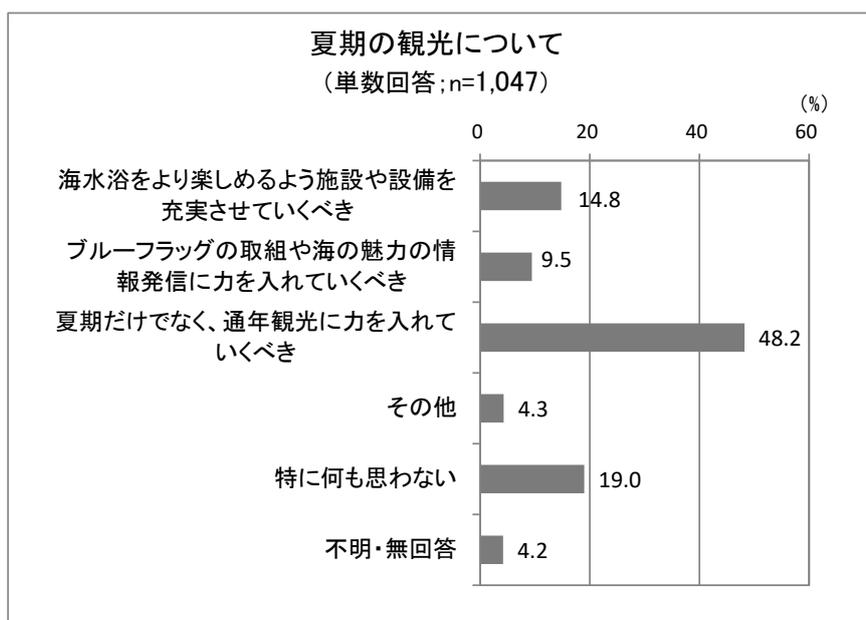


年齢別にみると、どの年代でも「やりたいとは思わない」が最も多く、40%を超えています。また、年齢別による有意な差はみられません。



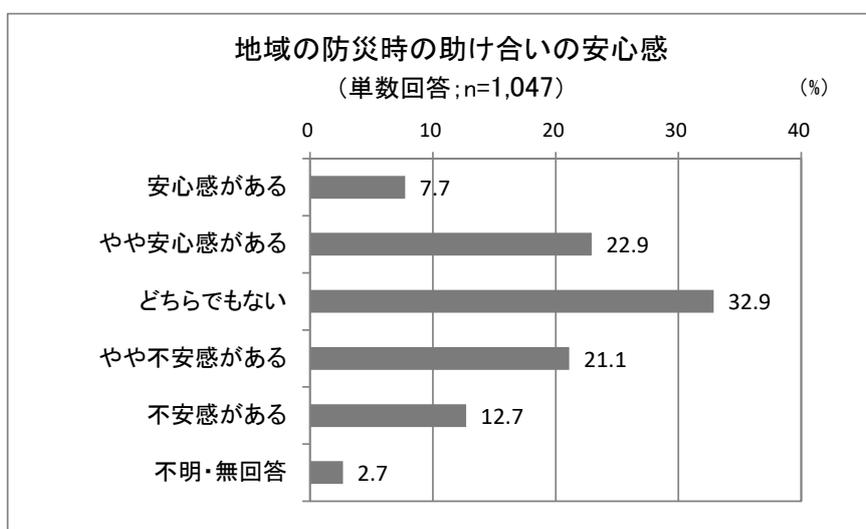
(8) 夏季の観光について

「夏期だけでなく、通年観光に力を入れていくべき」が最も多く 48.2%、次いで「特に何も思わない」が 19.0%、「海水浴をより楽しめるよう施設や設備を充実させていくべき」が 14.8%、「ブルーフラッグの取組や海の魅力の情報発信に力を入れていくべき」が 9.5%などとなっています。

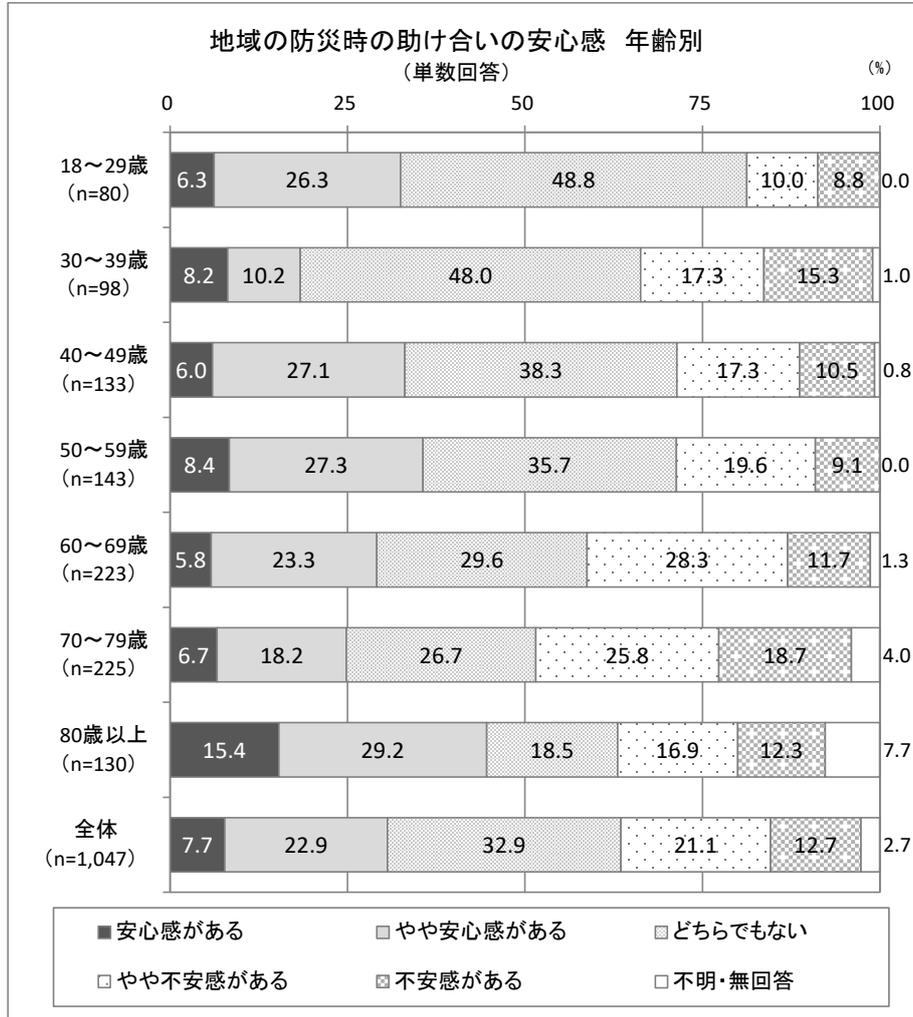


(9) 地域の防災時の助け合いの安心感

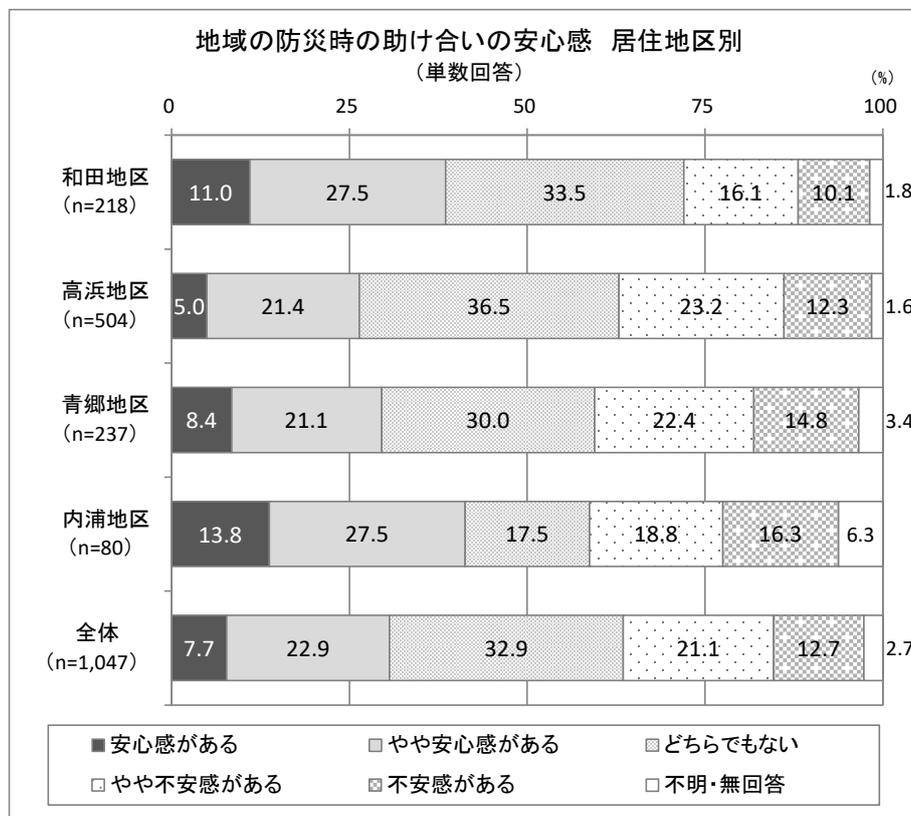
「どちらでもない」が最も多く 32.9%、次いで「やや安心感がある」が 22.9%、「やや不安感がある」が 21.1%となっています。



年齢別にみると、「18～29歳」以外の年代では『不安感がある』（「やや不安感がある」「不安感がある」の合計）が20%を超えています。また、年齢別による有意な差はみられません。

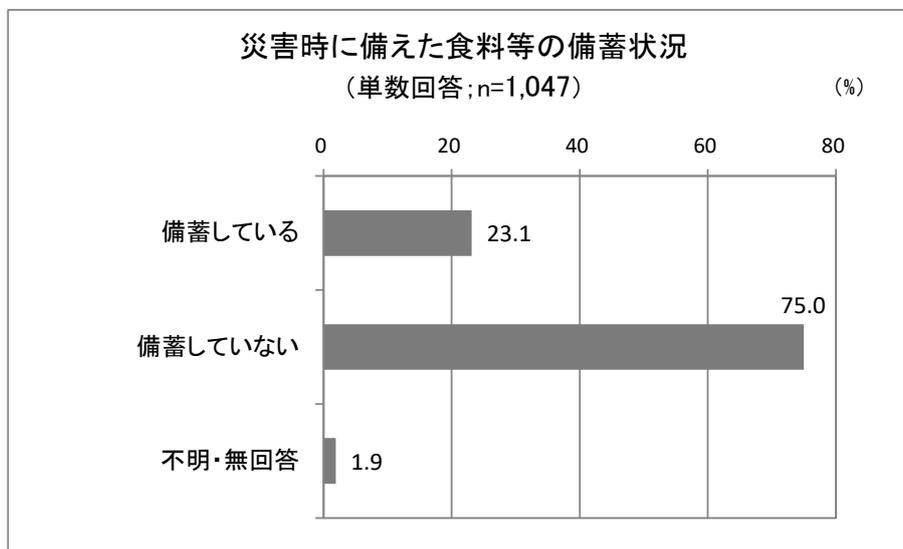


居住地区別にみると、どの居住地区でも『不安感がある』（「やや不安感がある」「不安感がある」の合計）が25%を超えています。また、居住地区別による有意な差はみられません。



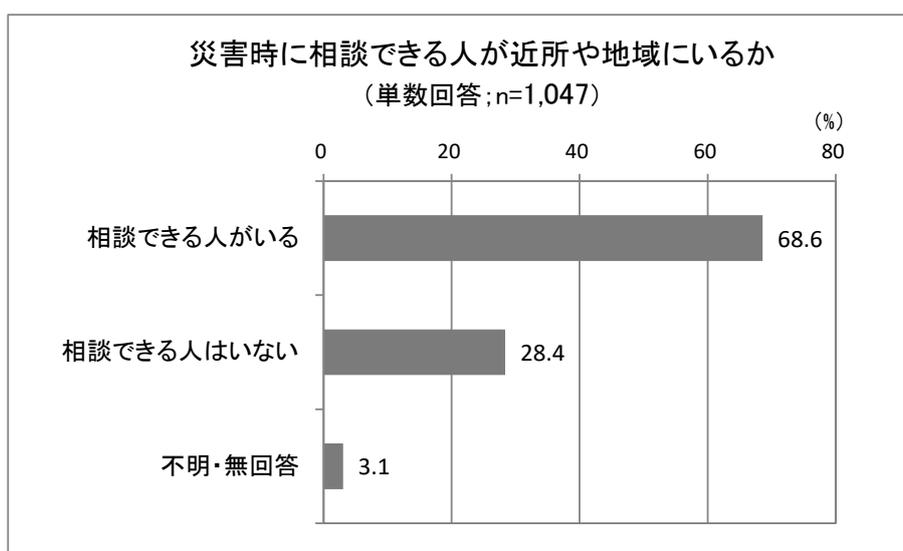
(10) 災害時に備えた食料等の備蓄状況

「備蓄していない」が75.0%、「備蓄している」が23.1%となっています。

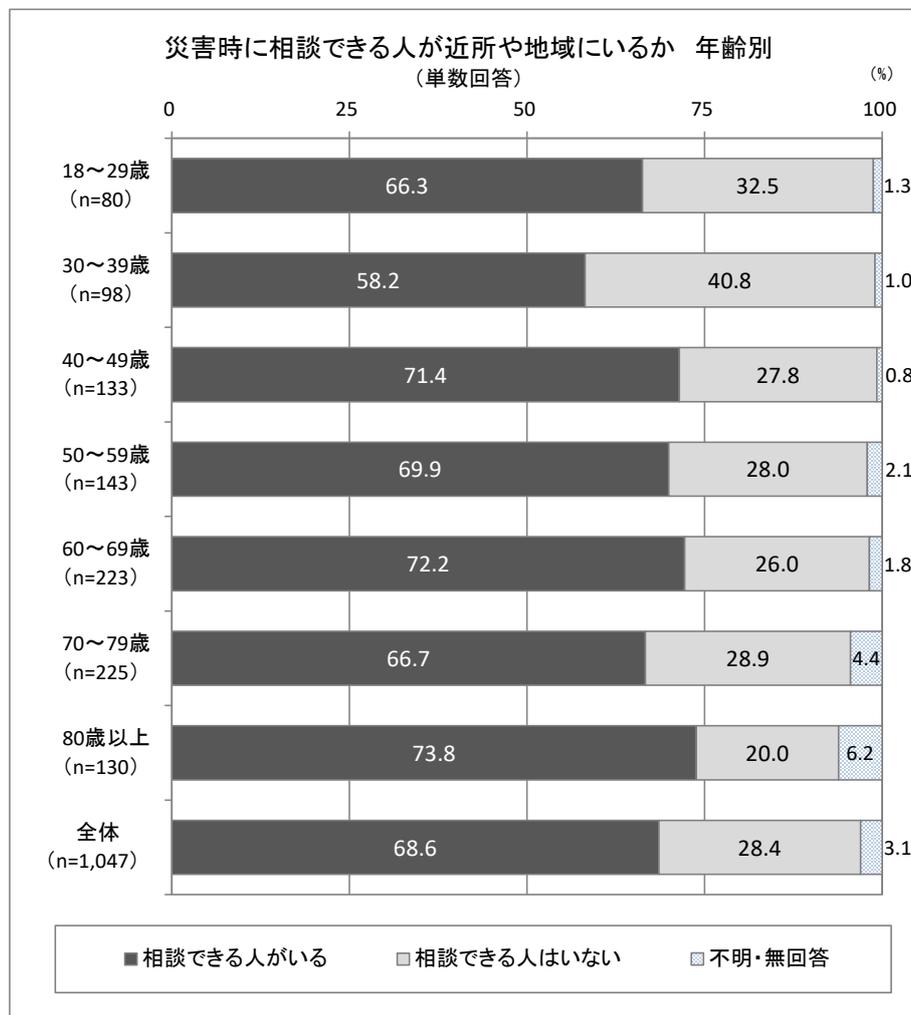


(11) 災害時に相談できる人が近所や地域にいるか

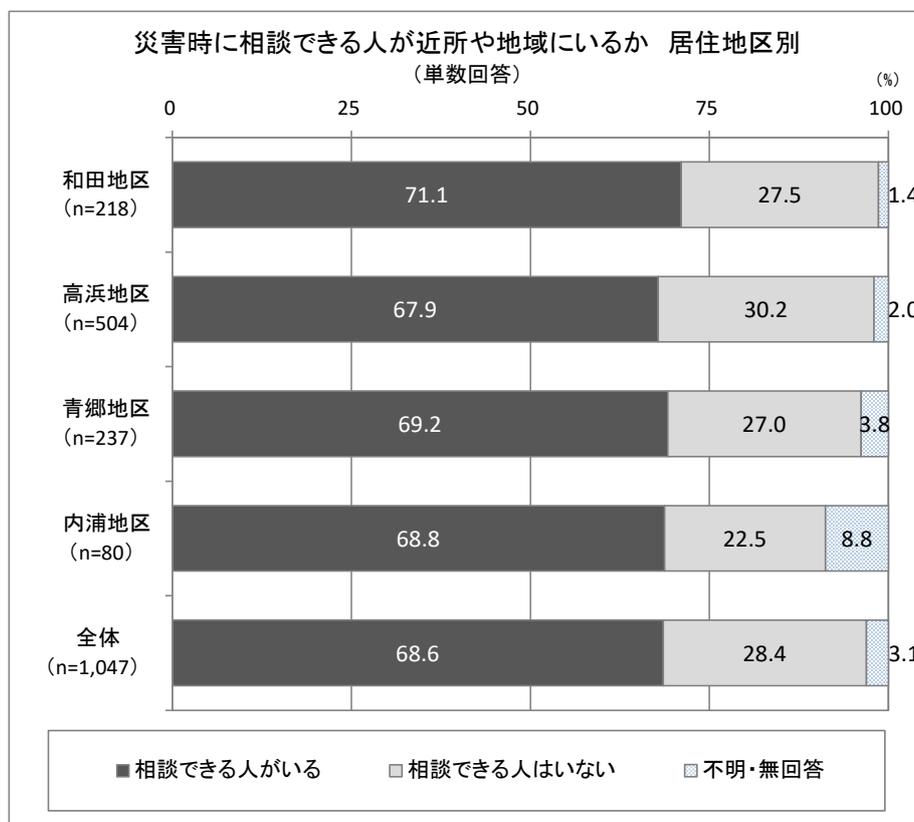
「相談できる人がいる」が68.6%、「相談できる人はいない」が28.4%となっています。



年齢別にみると、どの年代でも「相談できる人はいない」が 20%を超えています。また、年齢別による有意な差はみられません。

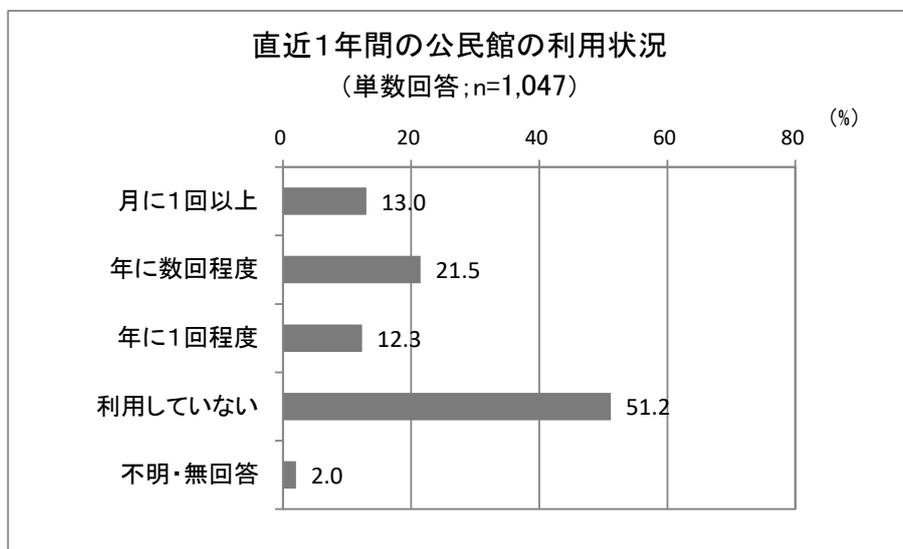


居住地区別にみると、どの居住地区でも「相談できる人がいない」が20%を超えています。また、居住地区別による有意な差はみられません。



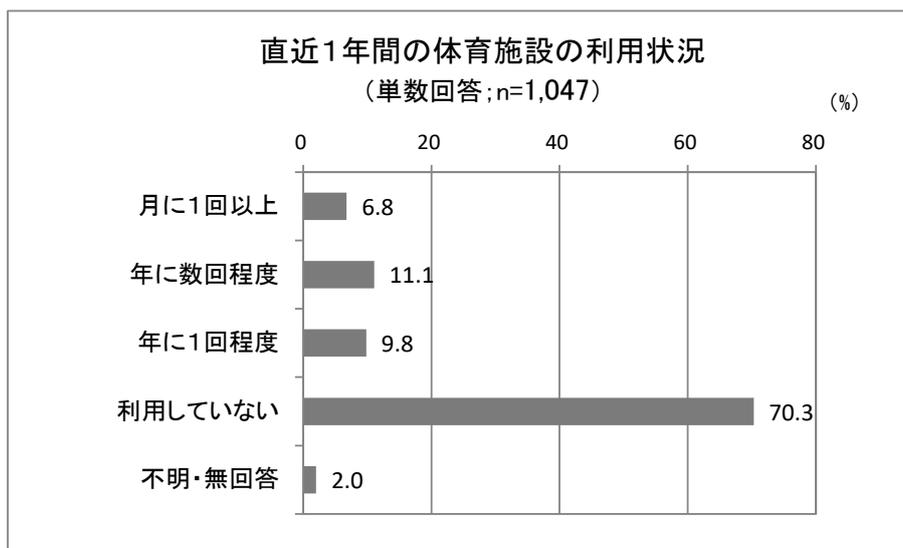
(12) 直近1年間の公民館の利用状況

「利用していない」が最も多く51.2%、次いで「年に数回程度」が21.5%、「月に1回以上」が13.0%、「年に1回程度」が12.3%となっています。



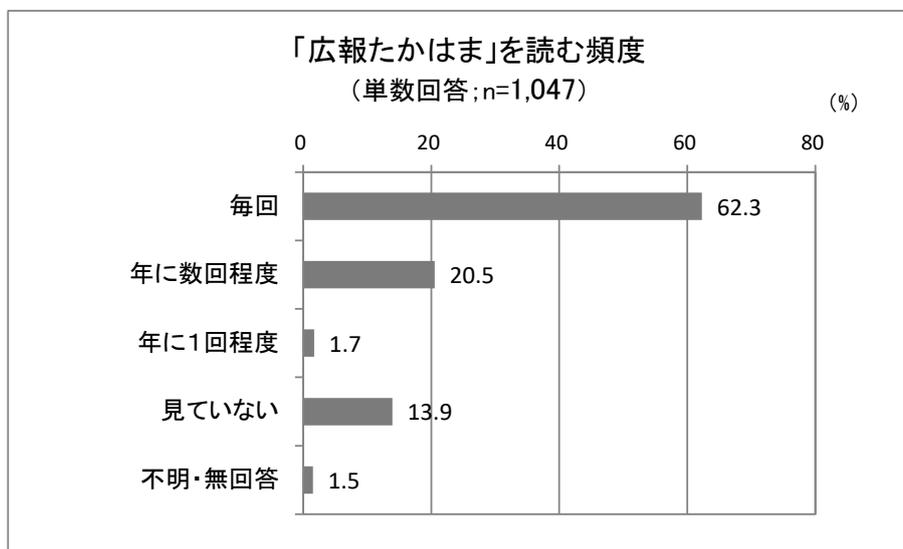
(13) 直近1年間の体育施設の利用状況

「利用していない」が最も多く70.3%、次いで「年に数回程度」が11.1%、「年に1回程度」が9.8%、「月に1回以上」が6.8%となっています。



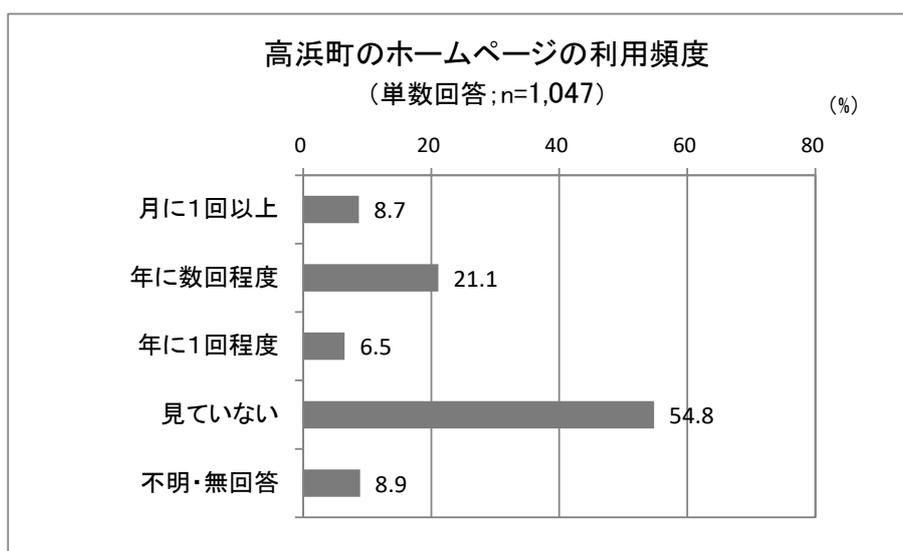
(14) 「広報たかはま」を読む頻度

「毎回」が最も多く 62.3%、次いで「年に数回程度」が 20.5%となっています。一方、「見ていない」が 13.9%、「年に1回程度」が 1.7%となっています。



(15) 高浜町のホームページの利用頻度

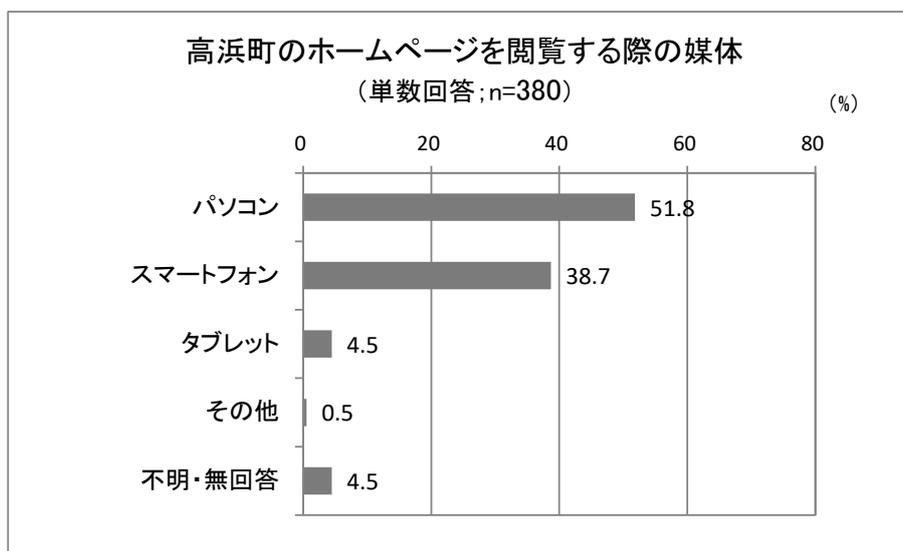
「見ていない」が最も多く 54.8%、次いで「年に数回程度」が 21.1%、「月に1回以上」が 8.7%などとなっています。



■ 高浜町のホームページを閲覧する際の媒体

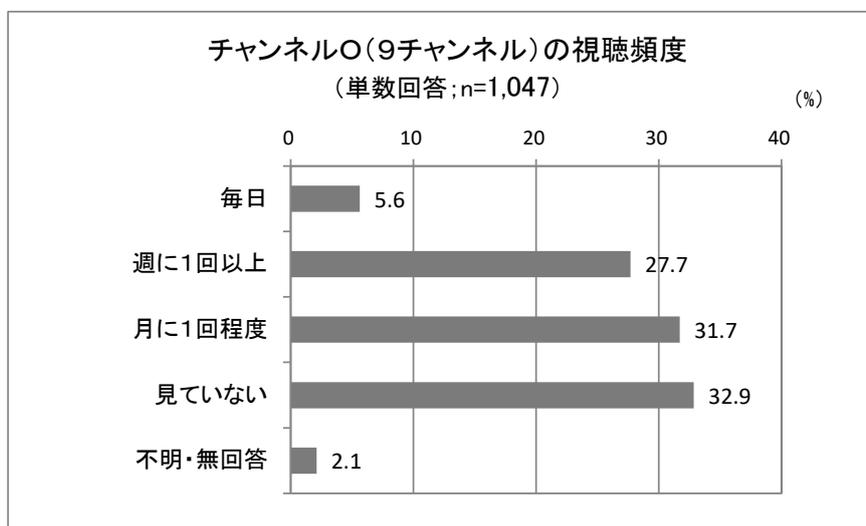
(「月に1回以上」「年に数回程度」「年に1回程度」の回答者)

「パソコン」が最も多く 51.8%、次いで「スマートフォン」が 38.7%、「タブレット」が 4.5% などとなっています。

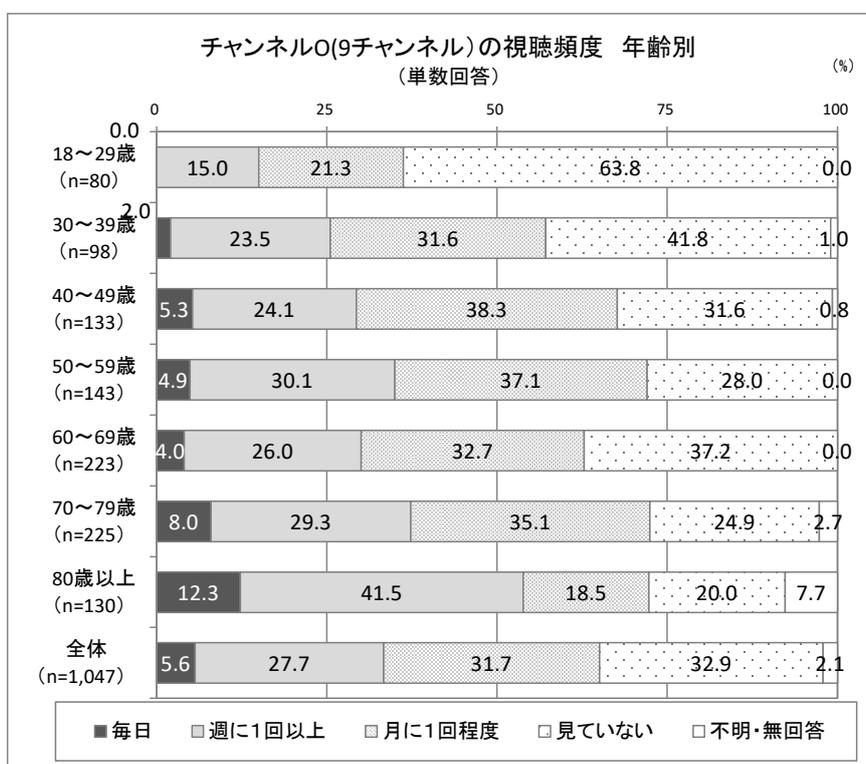


(16) チャンネルO（9チャンネル）の視聴頻度

「見ていない」が最も多く 32.9%、次いで「月に1回程度」が 31.7%、「週に1回以上」が 27.7%、「毎日」が 5.6%となっています。

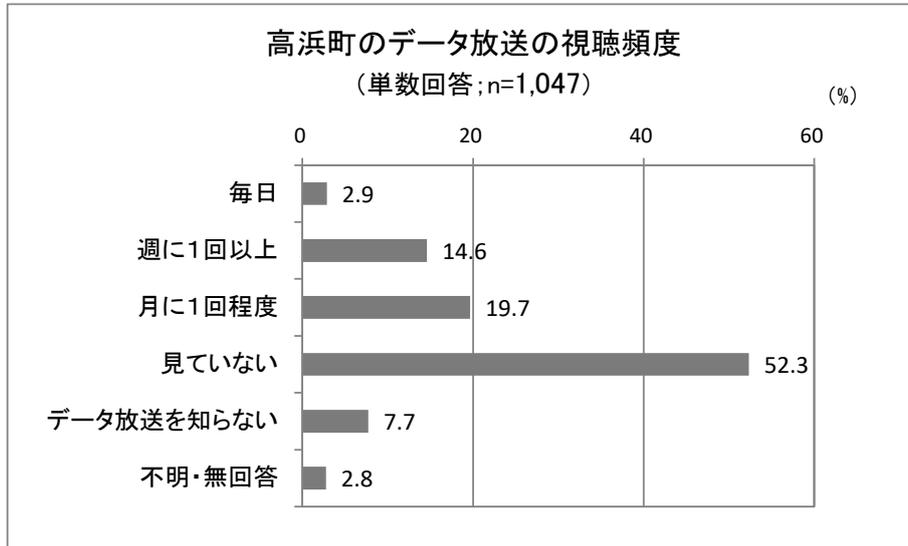


年齢別みると、「18～29歳」「30～39歳」「60～69歳」において、「見ていない」が最も多くなっています。

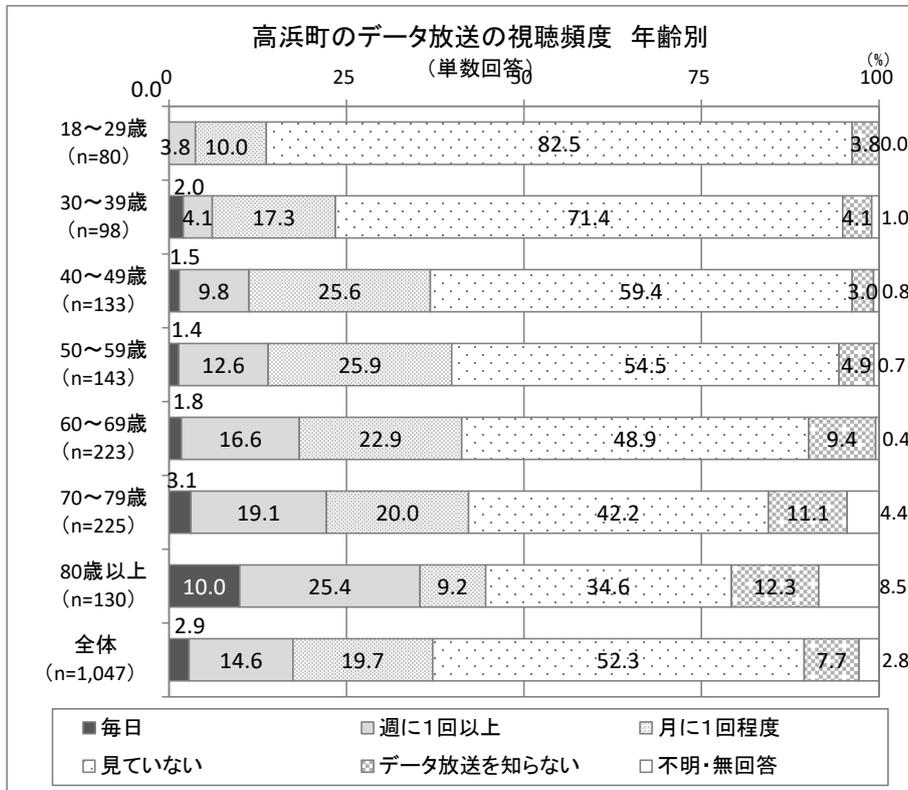


(17) 高浜町のデータ放送の視聴頻度

「見ていない」が最も多く 52.3%、次いで「月に1回程度」が 19.7%、「週に1回以上」が 14.6%などとなっています。

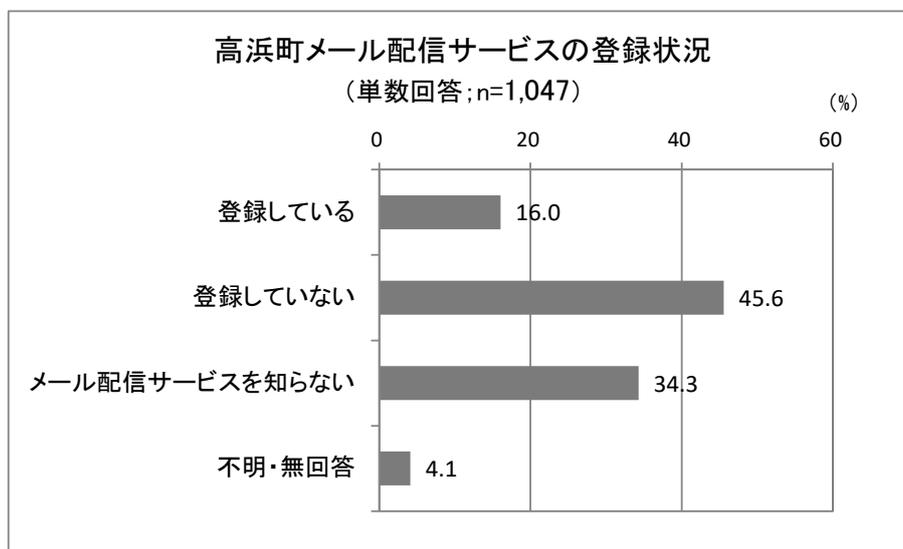


年齢別にみると、すべての年代で「見ていない」が最も多くなっています。

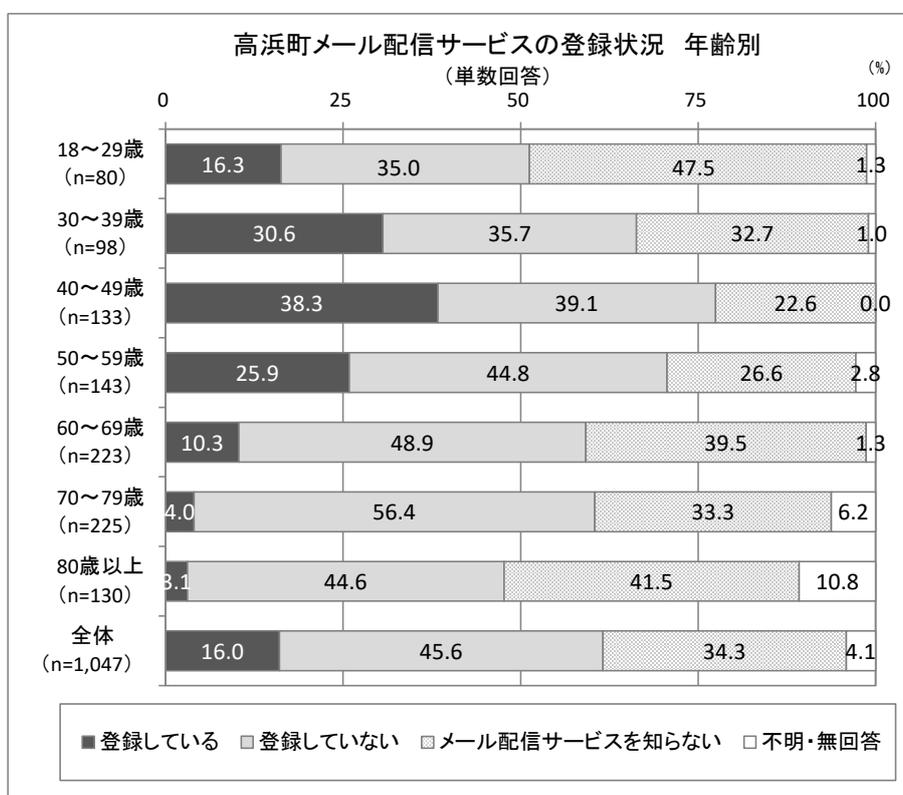


(18) 高浜町メール配信サービスの登録状況

「登録していない」が最も多く 45.6%、次いで「メール配信サービスを知らない」が 34.3%、「登録している」が 16.0%となっています。

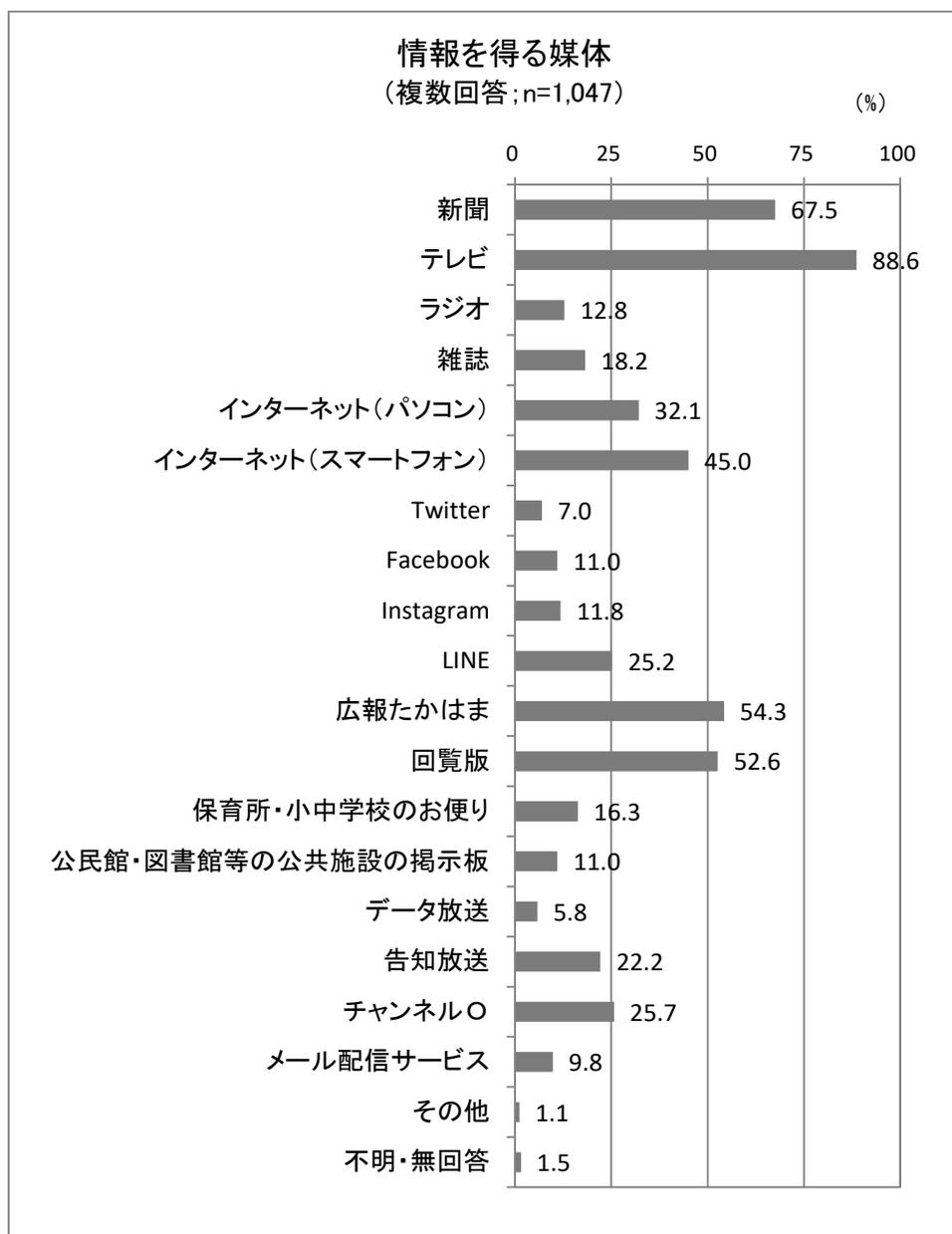


年齢別にみると、「18～29 歳」では「メール配信サービスを知らない」が、その他の年代では「登録していない」が最も多くなっています。



(19) 情報を得る媒体

「テレビ」が最も多く 88.6%、次いで「新聞」が 67.5%、「広報たかはま」が 54.3%、「回覧板」が 52.6%、「インターネット（スマートフォン）」が 45.0%などとなっています。



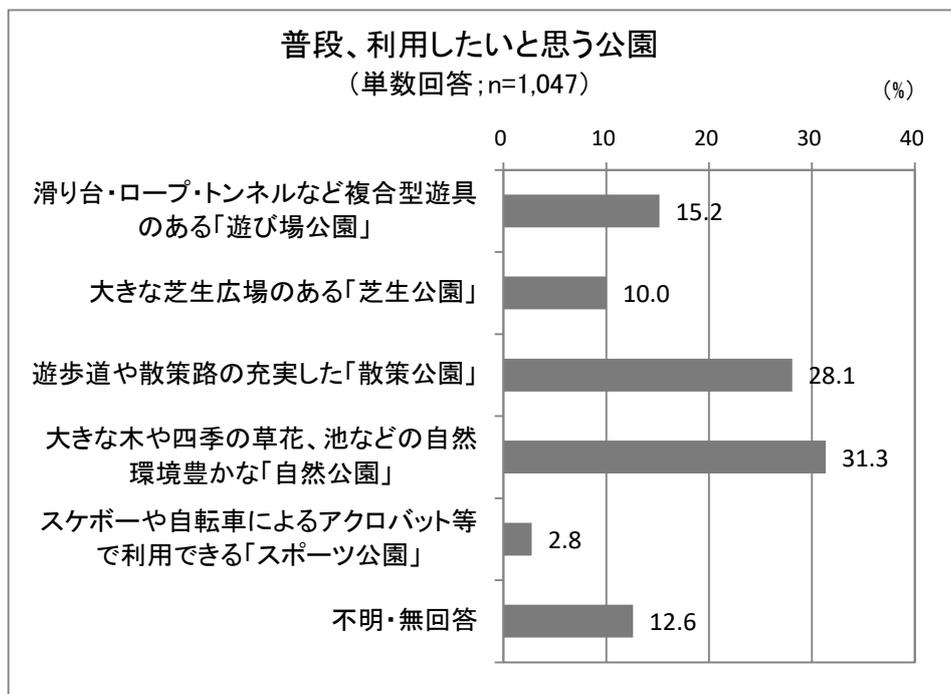
■ 情報を得る媒体（上位5項目、年齢別）

年代別の上位5項目は以下のとおりとなっています。「18~29歳」以外の年代において「テレビ」が最も多くなっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18~29歳 (n=80)	インターネット (スマートフォン) 81.3%	テレビ 77.5%	LINE 48.8%	Instagram 43.8%	インターネット (パソコン) 35.0%
30歳代 (n=98)	テレビ 84.7%	インターネット (スマートフォン) 82.7	LINE 55.1%	広報たかはま 44.9%	インターネット (パソコン) 39.8%
40歳代 (n=133)	テレビ 86.5%	インターネット (スマートフォン) 80.5%	新聞 57.1%	インターネット (パソコン) 49.6%	広報たかはま 46.6%
50歳代 (n=143)	テレビ 95.1%	新聞 77.6%	インターネット (スマートフォン) 62.9%	回覧板 61.5%	広報たかはま 58.7%
60歳代 (n=223)	テレビ 88.8%	新聞 78.9%	回覧板 61.9%	広報たかはま 57.0%	インターネット (スマートフォン) 41.7%
70歳代 (n=225)	テレビ 96.0%	新聞 88.0%	広報たかはま 70.7%	回覧板 67.6%	チャンネルO 32.0%
80歳以上 (n=130)	テレビ 84.6%	新聞 76.2%	回覧板 58.5%	広報たかはま 56.2%	チャンネルO 32.3%
全体 (n=1,047)	テレビ 88.6%	新聞 67.5%	広報たかはま 54.3%	回覧板 52.6%	インターネット (スマートフォン) 45.0%

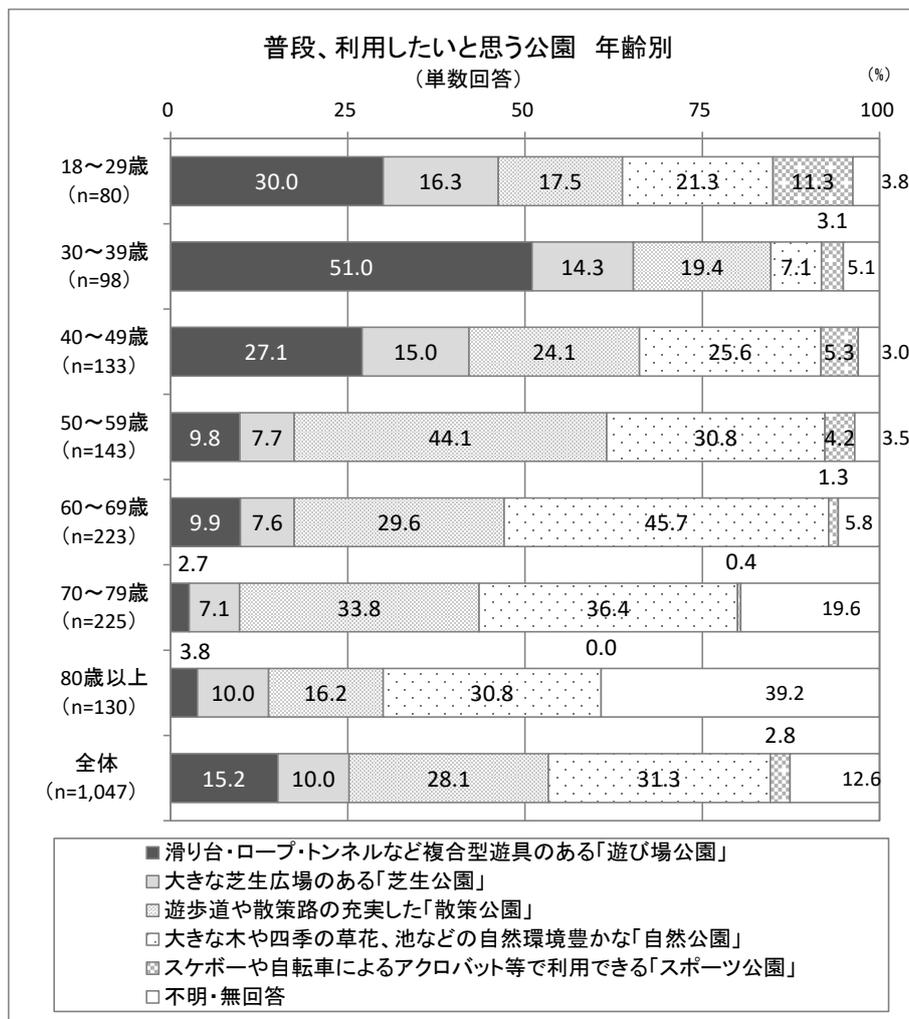
(20) 普段、利用したいと思う公園

「大きな木や四季の草花、池などの自然環境豊かな『自然公園』」が最も多く 31.3%、次いで「遊歩道や散策路の充実した『散策公園』」が 28.1%、「滑り台・ロープ・トンネルなど複合型遊具のある『遊び場公園』」が 15.2%などとなっています。



年齢別にみると、40歳代以下では「滑り台・ロープ・トンネルなど複合型遊具のある『遊び場公園』」が最も多くなっています。「大きな木や四季の草花、池などの自然環境豊かな『自然公園』」が「40歳代以上」では上位となっています。

また、年齢別による有意な差はみられません。



(21) 自慢できる高浜の地域資源

自慢できる高浜の地域資源として 280 人、延べ 513 件の回答があり、下記のように整理しました。

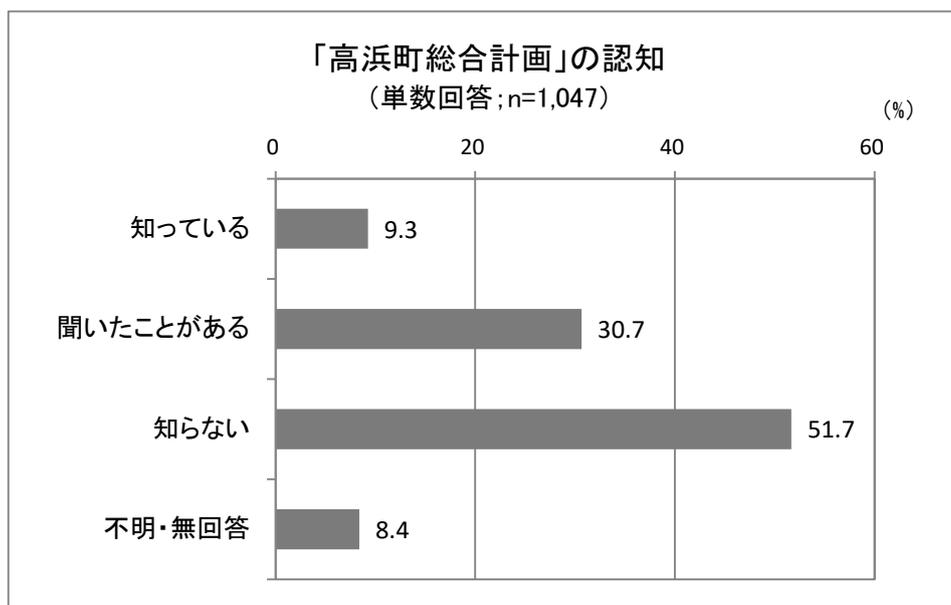
() は件数

分類		内容
自然環境に関するもの(396)	山について(187)	山(101)、青葉山(68)、ハーバルビレッジ(7)、登山道・遊歩道(6)、安土山(5)
	海について(196)	海(168)、和田浜(21)、ブルーフラッグ(7)
	その他(13)	城山公園について(10)、星空について(3)
景色・景観・まちなみに関するもの(22)		山の風景(6)、沿岸の風景(4)、昔ながらの町並み(5)、その他(7)
歴史文化に関するもの(7)		寺社仏閣(5)、町屋(1)、古民家(1)
食文化に関するもの(64)		海産物(22)、魚(14)、農産物(12)、米(4)、トマト(4)、その他(8)
その他(24)		町民の人柄(9)、薬草(6)、季節のイベントや祭(3)、その他(6)

3. 高浜町総合計画について

(1) 「高浜町総合計画」の認知

「知らない」が最も多く 51.7%、次いで「聞いたことがある」が 30.7%、「知っている」が 9.3%となっています。

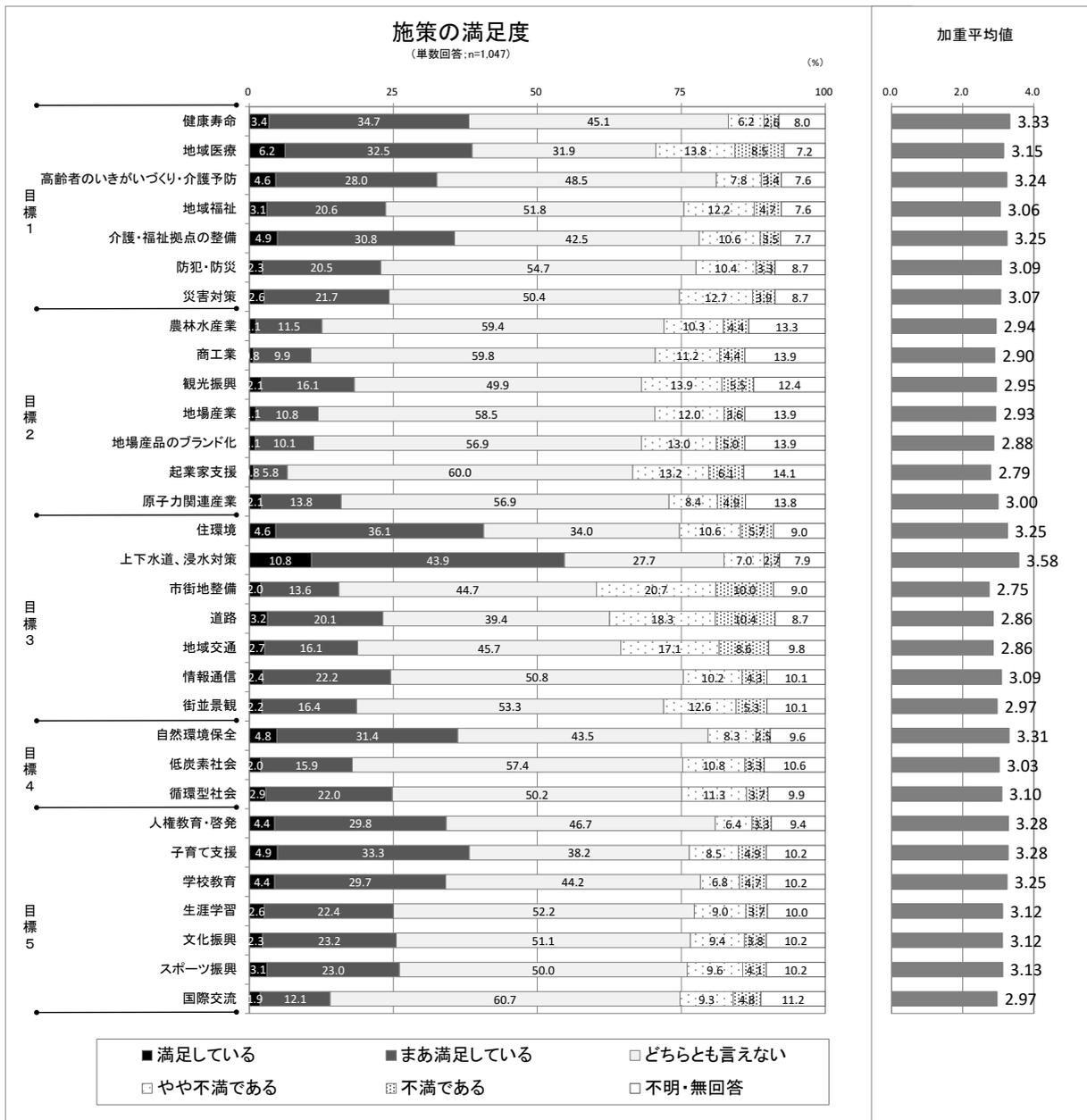


(2) 各政策の満足度

『満足』（「満足している」「まあ満足している」の合計）は「上下水道、浸水対策」が最も多く54.7%、次いで「住環境」が40.7%、「地域医療」が38.7%、「子育て支援」が38.2%、「健康寿命」が38.1%などとなっています。

一方、『不満』（「やや不満である」「不満である」の合計）は、「市街地整備」が最も多く30.7%、次いで「道路」が28.7%、「地域交通」が25.7%、「地域医療」が22.3%、「観光振興」が19.4%などとなっています。

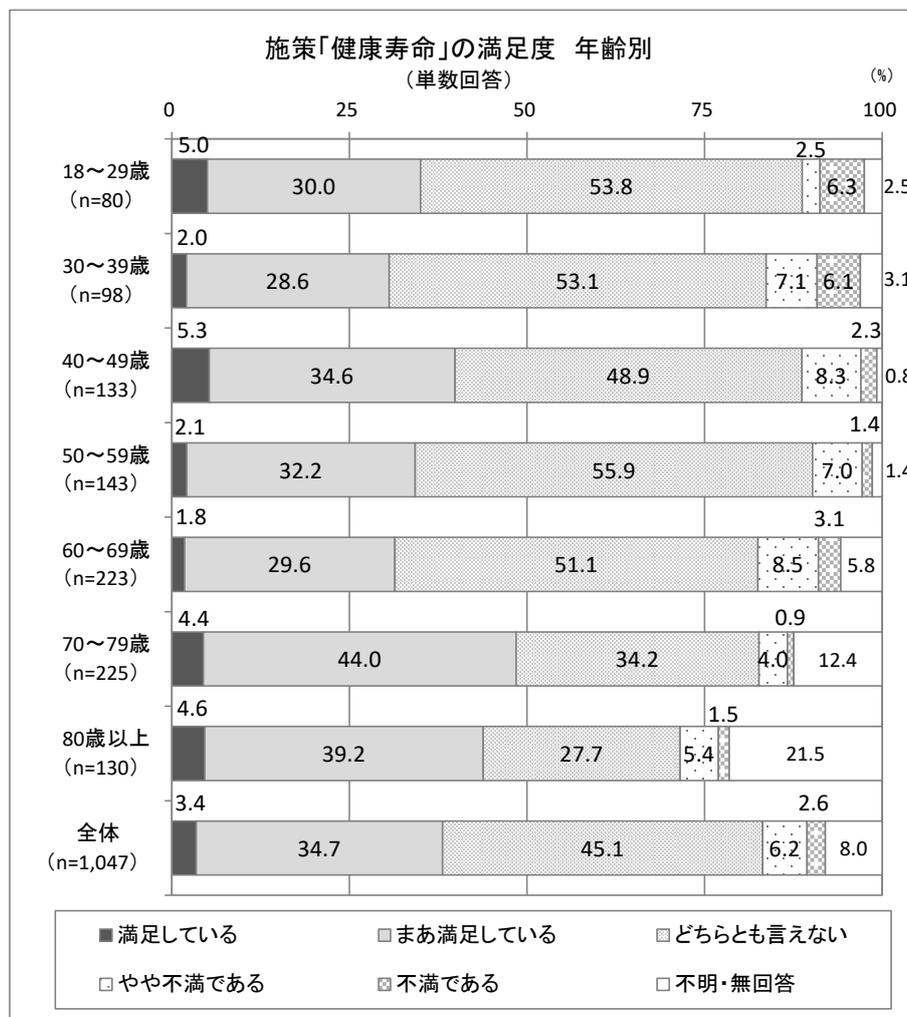
加重平均をみると、「上下水道」が最も高く3.58、次いで「健康寿命」が3.33、「自然環境保全」が3.31などとなっています。一方、「市街地整備」が最も低く2.75、次いで「起業家支援」が2.79、「道路」「地域交通」が2.86などとなっています。



■ 加重平均値が高い施策の属性別集計

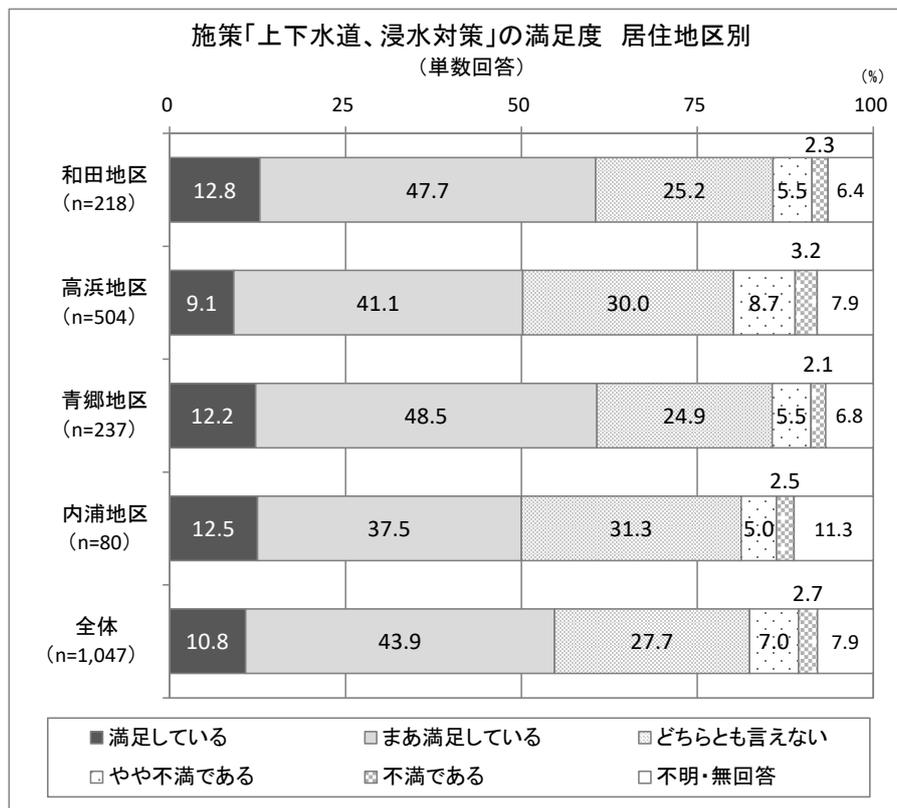
<健康寿命の年齢別満足度>

「健康寿命」について年齢別にみると、どの年代も『満足』（「満足している」「まあ満足している」の合計）は30%を超えています。また、年齢別による有意な差はみられません。



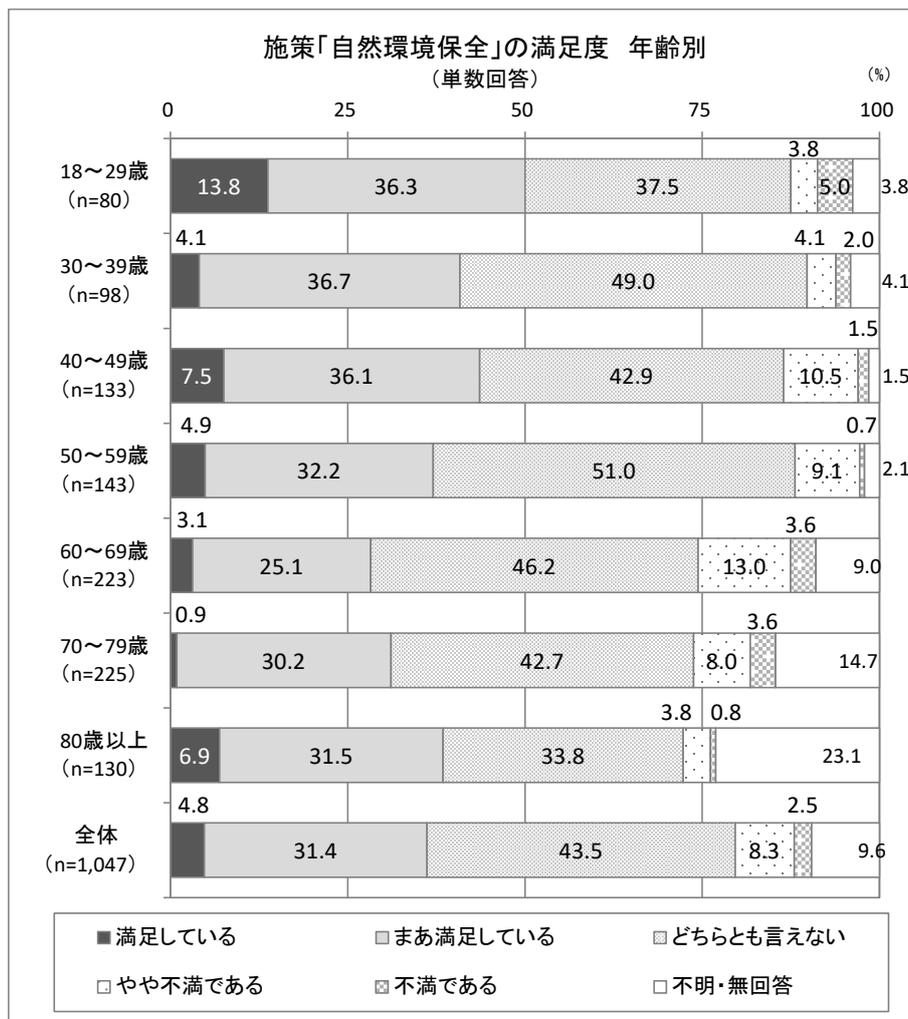
<上下水道、浸水対策の居住地区別満足度>

「上下水道、浸水対策」について居住地区別にみると、どの居住地区も『満足』（「満足している」「まあ満足している」の合計）は50%を超えています。また、居住地区別による有意な差はみられません。



<自然環境保全の年齢別満足度>

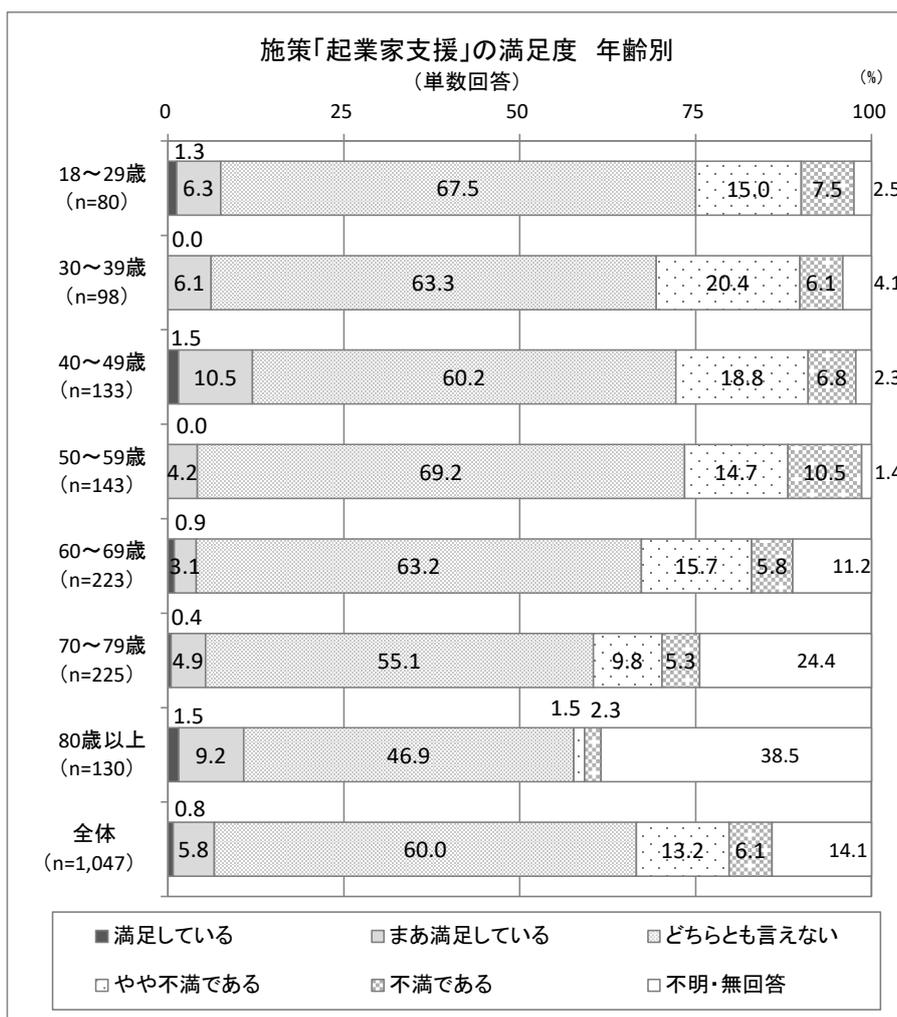
「自然環境保全」について年齢別にみると、どの年代も『満足』（「満足している」「まあ満足している」の合計）は30%を超えています。また、年齢別による有意な差はみられません。



■ 加重平均値が低い施策の属性別集計について

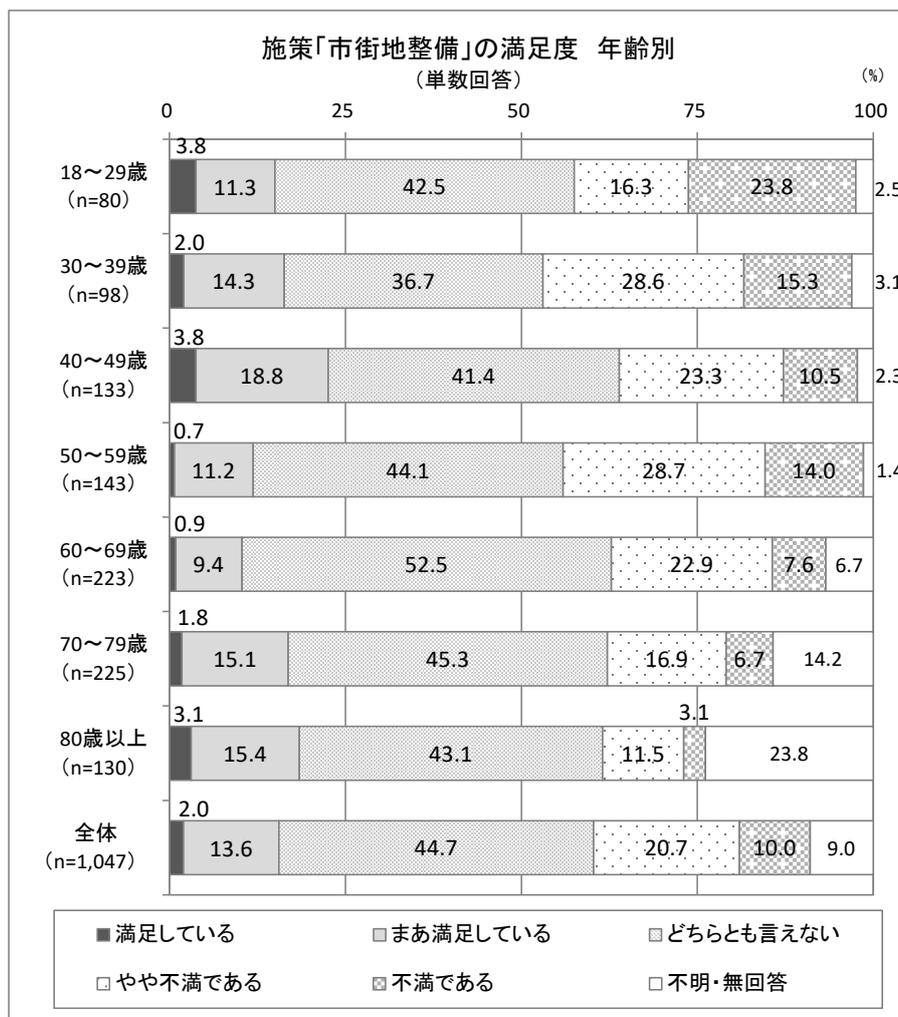
<起業家支援の年齢別満足度>

「起業家支援」について年齢別にみると、70歳以下の年代では、『満足』（「満足している」「まあ満足している」の合計）よりも『不満』（「不満である」「やや不満である」の合計）が多くなっています。また、年齢別による有意な差はみられません。



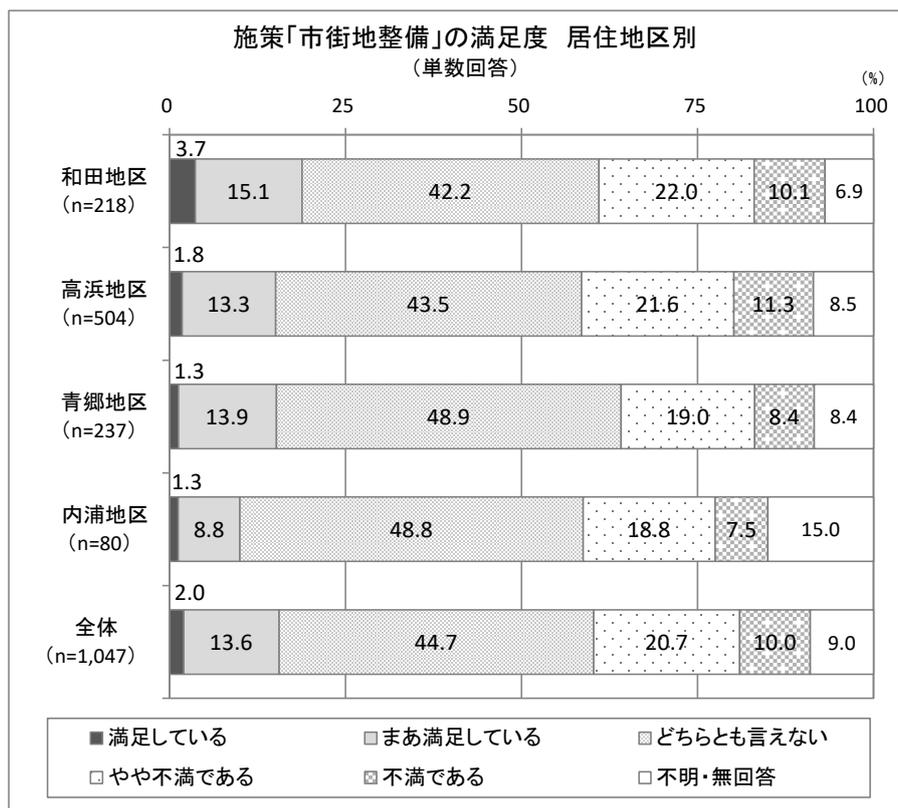
<市街地整備の年齢別満足度>

「市街地整備」について年齢別にみると、70歳以下の年代では、『不満』（「やや不満である」「不満である」の合計）が『満足』（「満足している」「やや満足している」の合計）を上回っています。また、年齢別による有意な差はみられません。



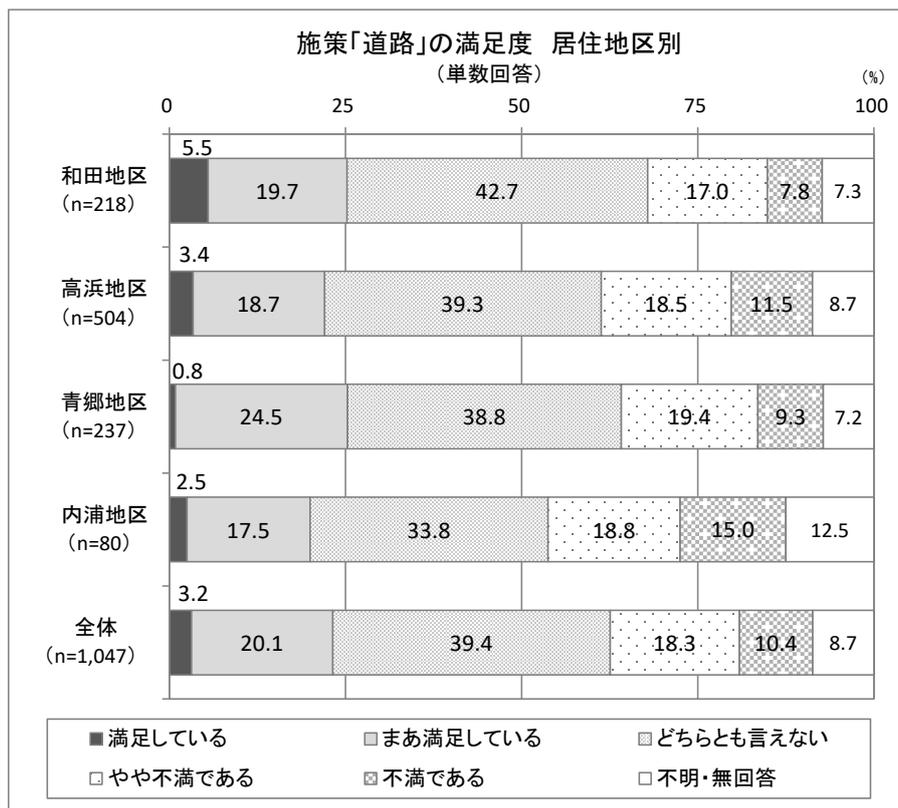
<市街地整備の居住地区別満足度>

「市街地整備」について居住地区別にみると、どの居住地区も『不満』（「やや不満である」「不満である」の合計）は 25%を超えており、『不満』（「やや不満である」「不満である」の合計）が『満足』（「やや不満である」「不満である」の合計）を上回っています。また、居住地区別による有意な差はみられません。



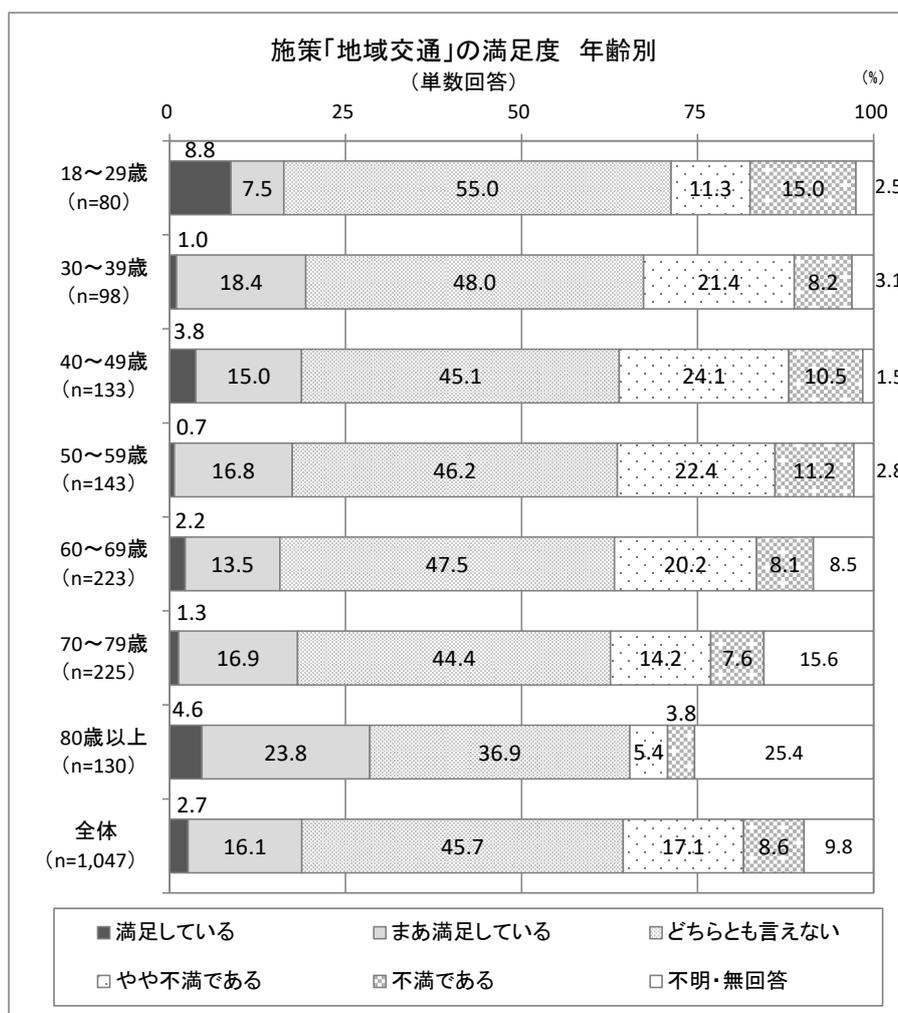
<道路の居住地区別満足度>

「道路」について居住別にみると「和田地区」以外の地区には、『不満』（「やや不満である」「不満である」の合計）が『満足』（「満足している」「やや満足している」の合計）を上回っています。また、「和田地区」で「満足している」が多くなっています。



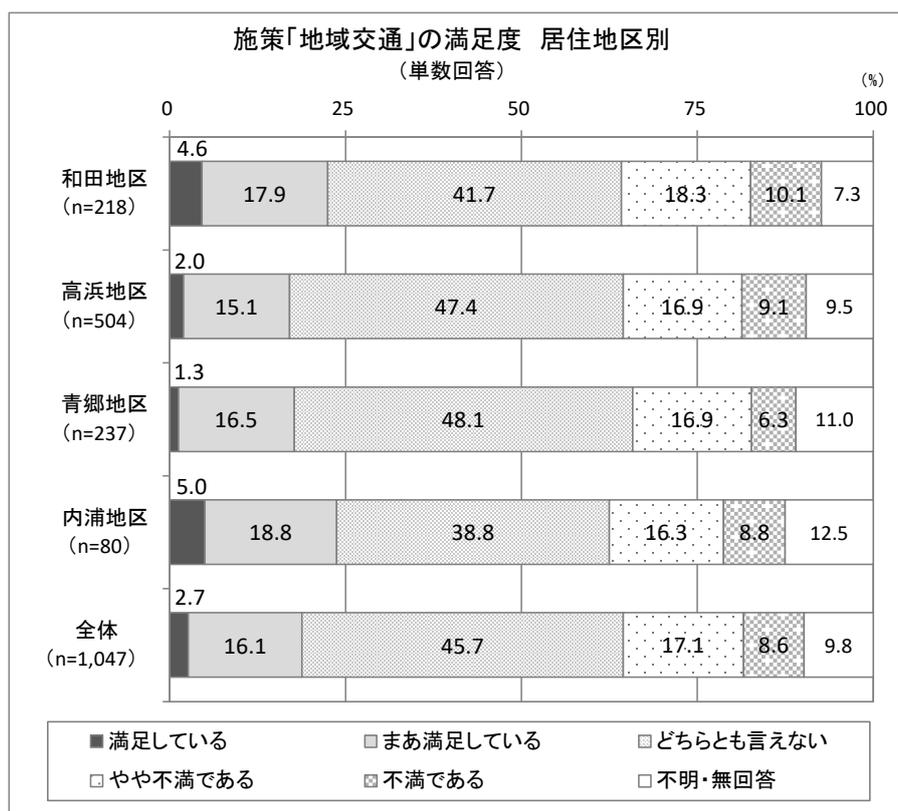
<地域交通の年齢別満足度>

「地域交通」について年齢別にみると、70歳代以下の年代では、『不満』（「やや不満である」「不満である」の合計）が『満足』（「満足している」「やや満足している」の合計）を上回っています。また、年齢別による有意な差はみられません。



<地域交通の居住地区別満足度>

「地域交通」について居住地区別にみると、どの居住地区も『不満』（「やや不満である」「不満である」の合計）が 20%を超えており、『不満』（「やや不満である」「不満である」の合計）が『満足』（「満足している」「やや満足している」の合計）を上回っています。また、「内浦地区」で「満足している」が多くなっています。

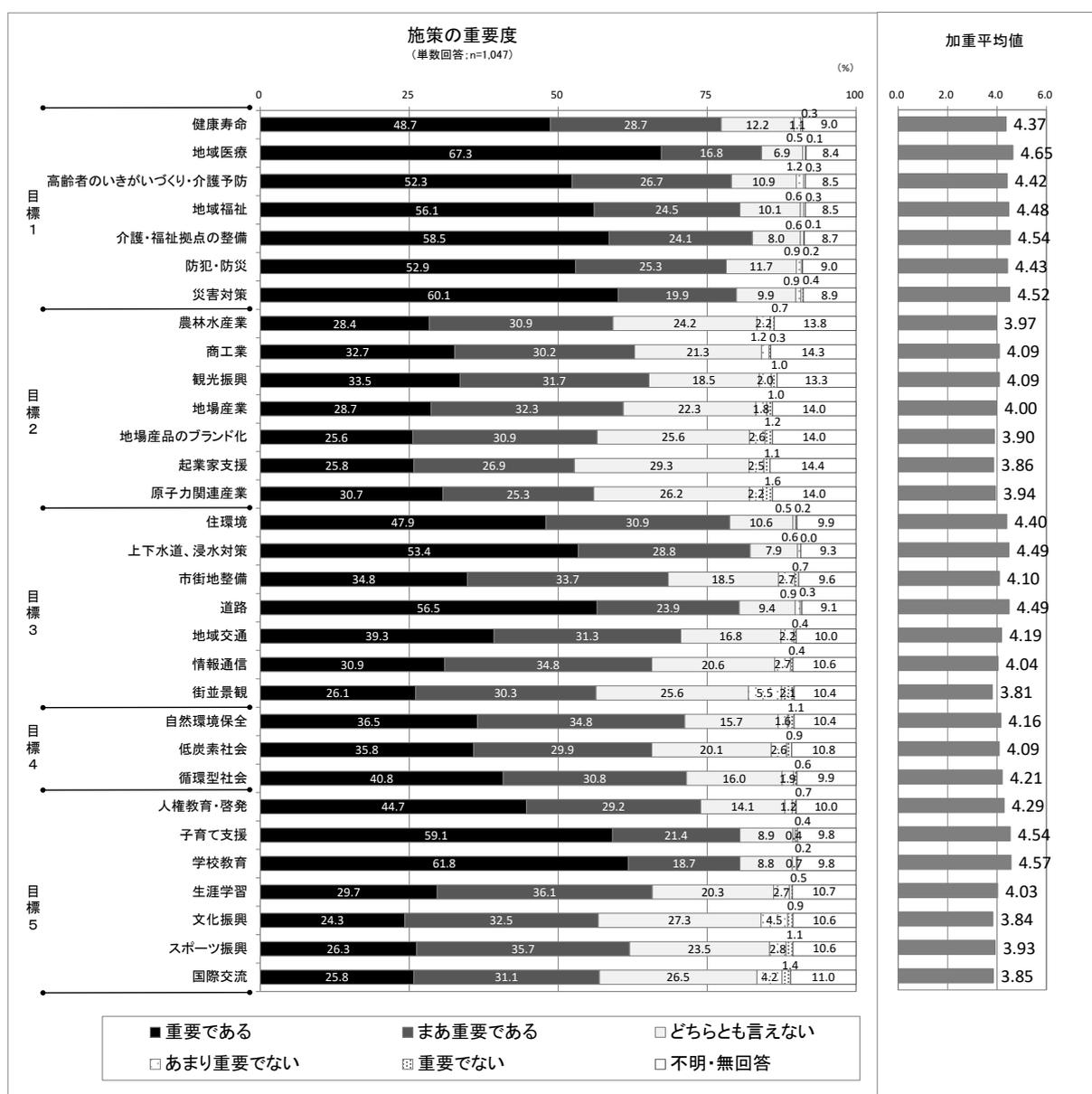


(3) 各政策の重要度

『重要』（「重要である」「まあ重要である」の合計）は、「地域医療」が最も多く 84.1%、次いで「介護・福祉拠点の整備」が 82.6%、「上下水道、浸水対策」が 82.2%、「地域福祉」が 80.6%、「子育て支援」「学校教育」が 80.5%などとなっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」「重要でない」の合計）は、「街並景観」が最も多く 7.6%、次いで「国際交流」が 5.6%、「文化振興」が 5.4%、「スポーツ振興」が 3.9%などとなっています。

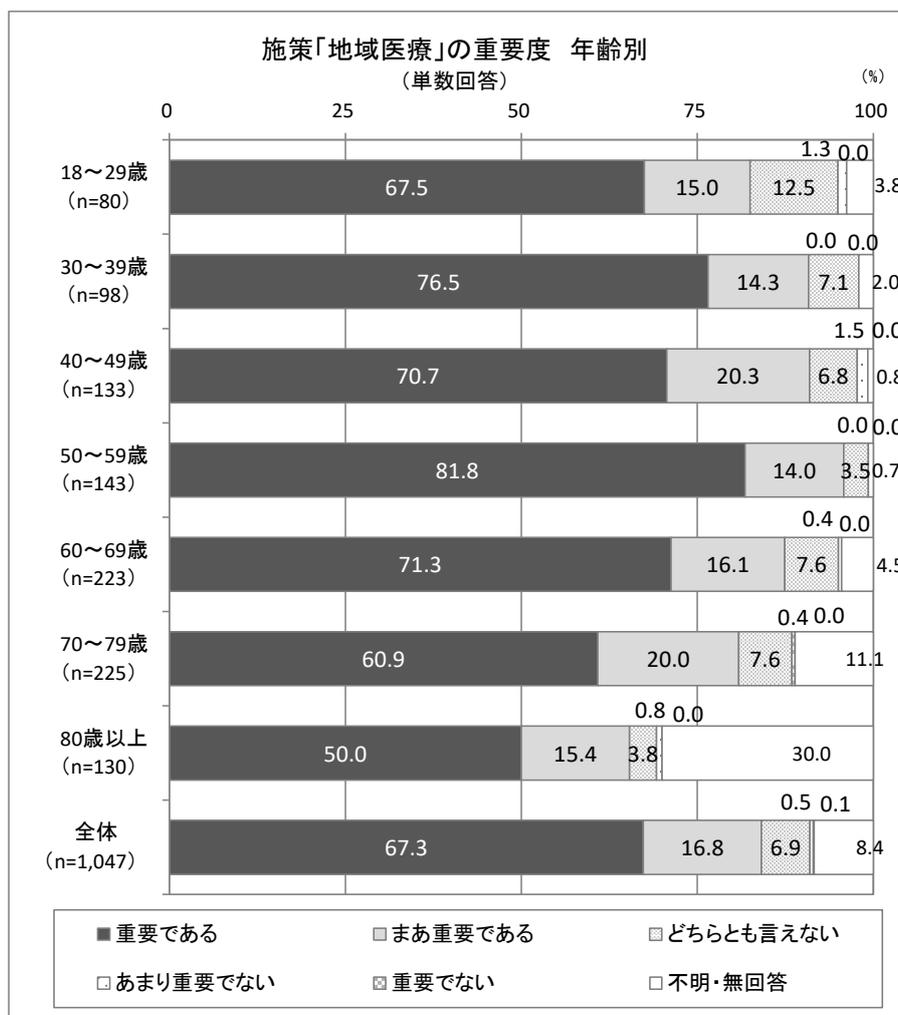
加重平均をみると、「地域医療」が最も高く 4.65、次いで「学校教育」が 4.57、「子育て支援」「介護・福祉拠点の整備」が 4.54 などとなっています。



■ 加重平均値が高い施策の属性別集計

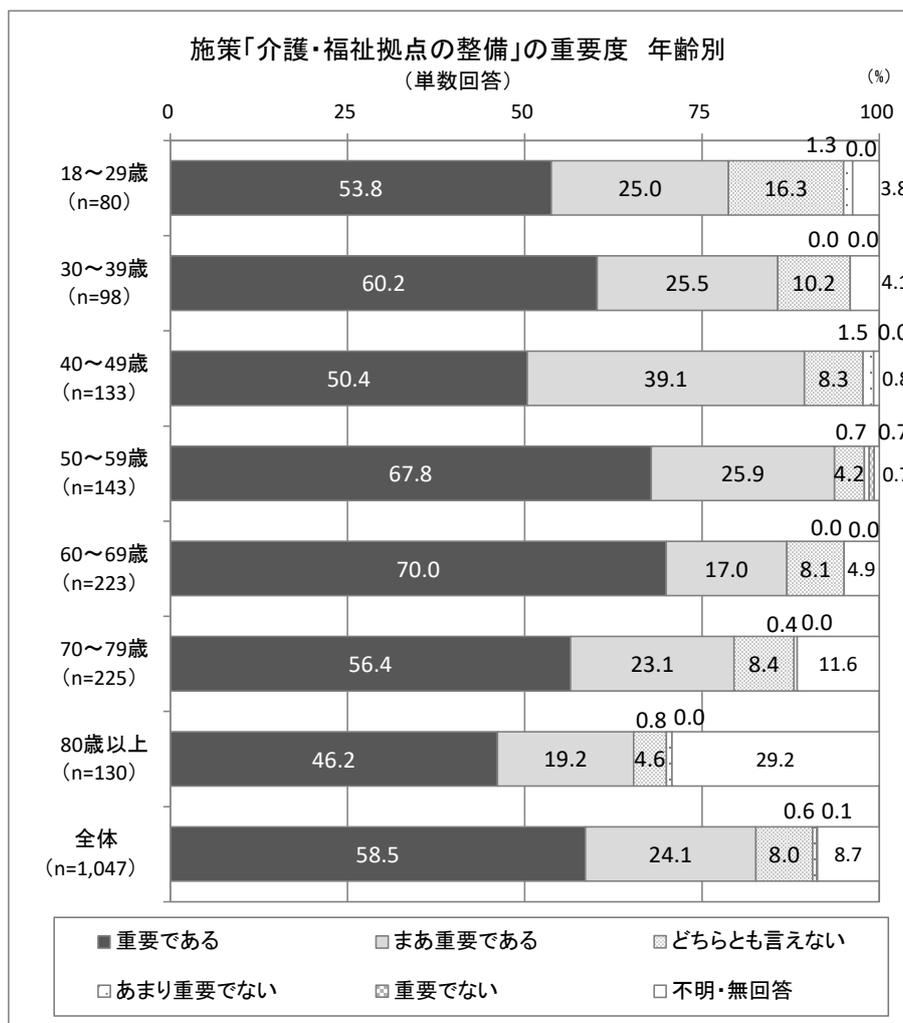
<地域医療の年齢別重要度>

「地域医療」について年齢別にみると、どの年代も『重要』（「重要である」「まあ重要である」の合計）は65%を超えています。また、年齢別による有意な差はみられません。



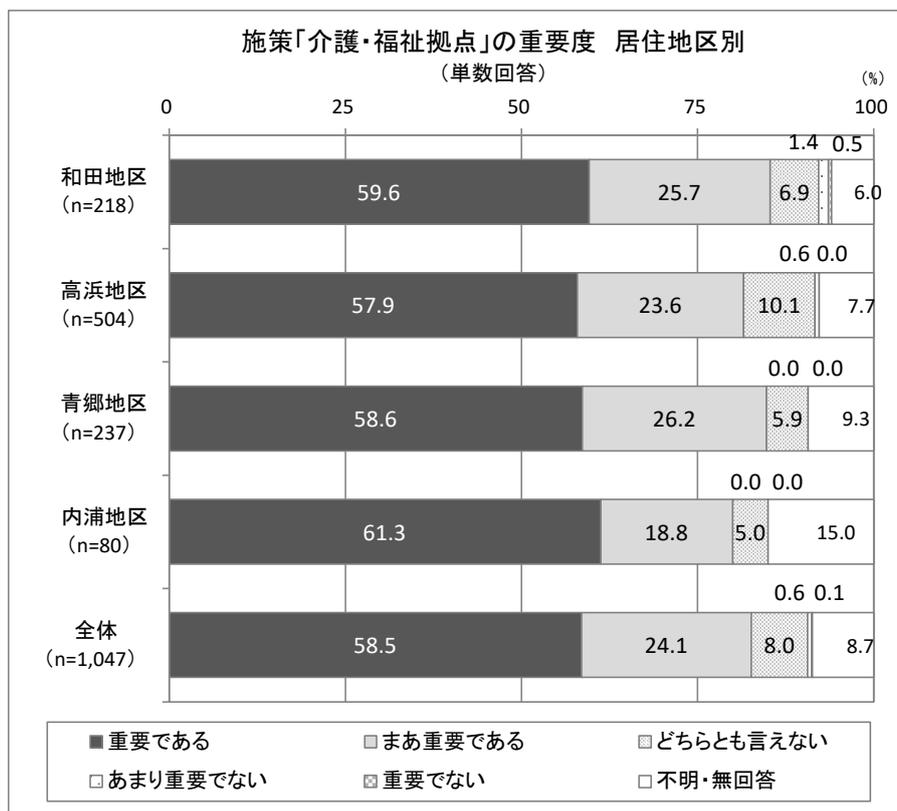
<介護・福祉拠点の整備の年齢別重要度>

「介護・福祉拠点の整備」について年齢別にみると、どの年代も『重要』（「重要である」「まあ重要である」の合計）は 65%を超えています。また、年齢別による有意な差はみられません。



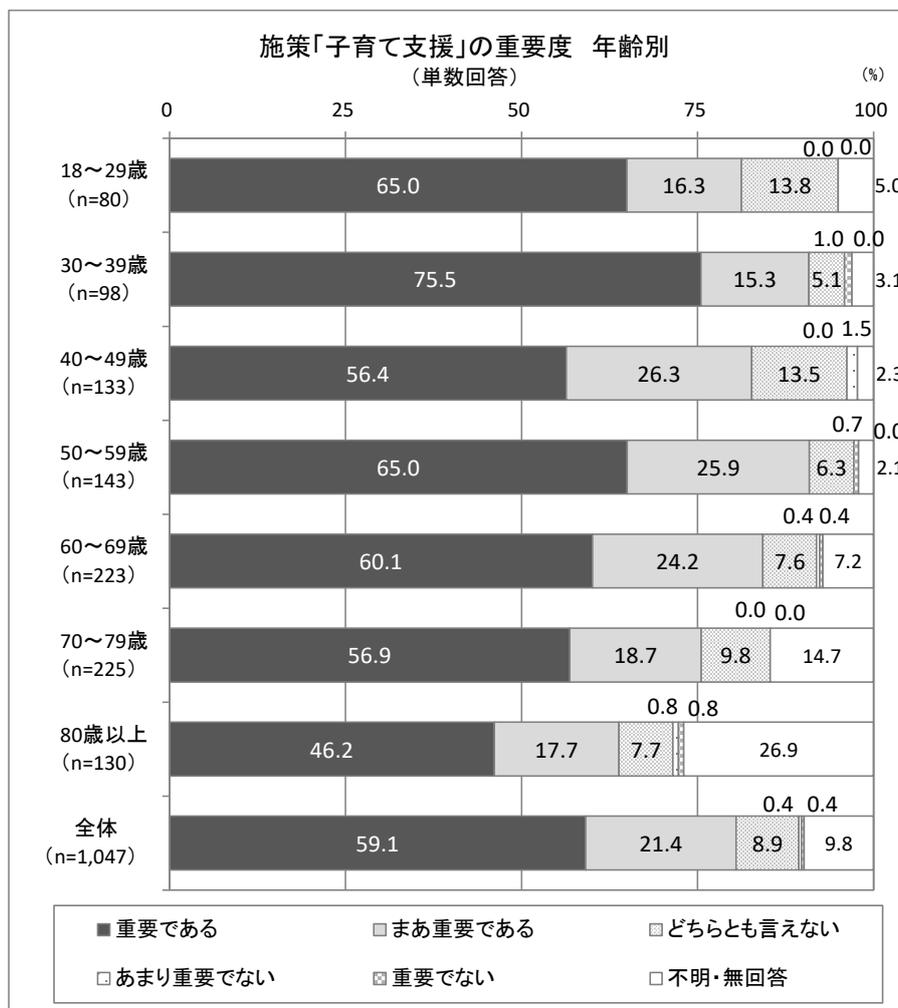
<介護・福祉拠点の整備の居住地区別重要度>

「介護・福祉拠点の整備」について居住地区別にみると、どの居住地区も『重要』（「重要である」「まあ重要である」の合計）は80%を超えています。また、居住地区別による有意な差はみられません。



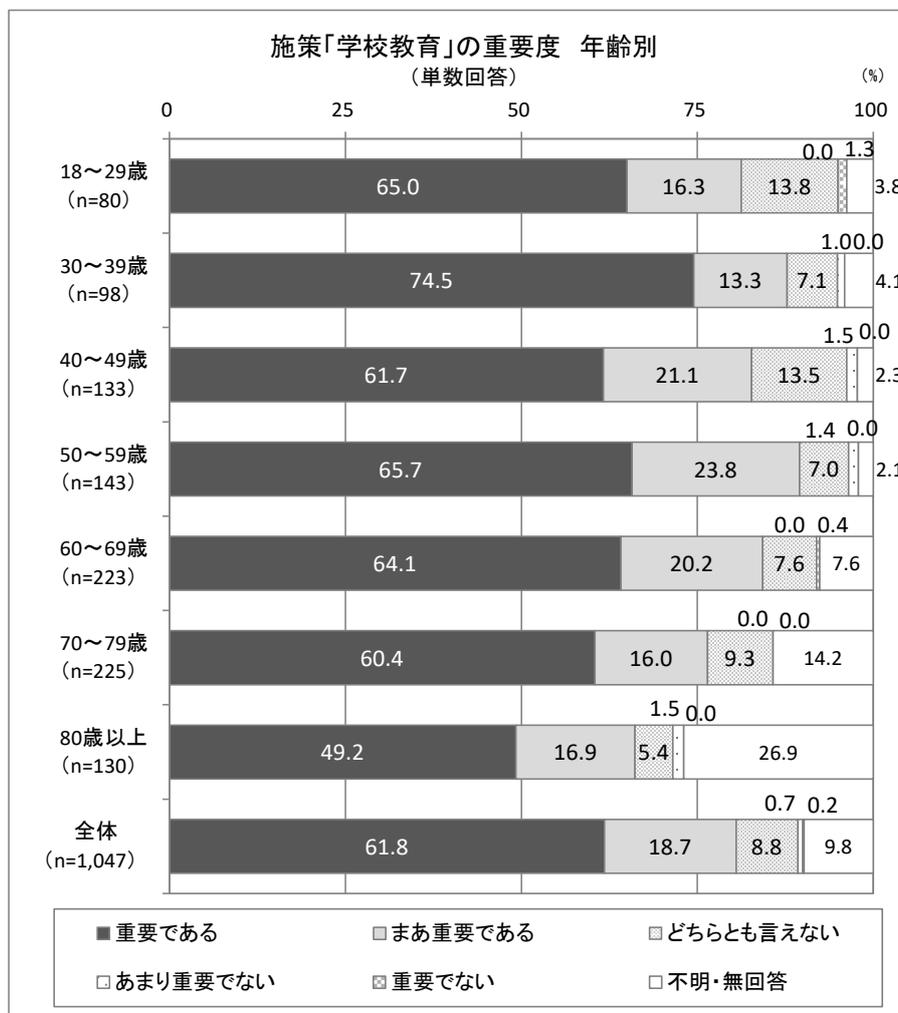
<子育て支援の年齢別重要度>

「子育て支援」について年齢別にみると、どの年代も『重要』（「重要である」「まあ重要である」の合計）は65%を超えています。また、年齢別による有意な差はみられません。



<学校教育の年齢別重要度>

「学校教育」について年齢別にみると、どの年代も『重要』（「重要である」「まあ重要である」の合計）は65%を超えています。また、年齢別による有意な差はみられません。



(4) 各政策の満足度と重要度

■ 全体

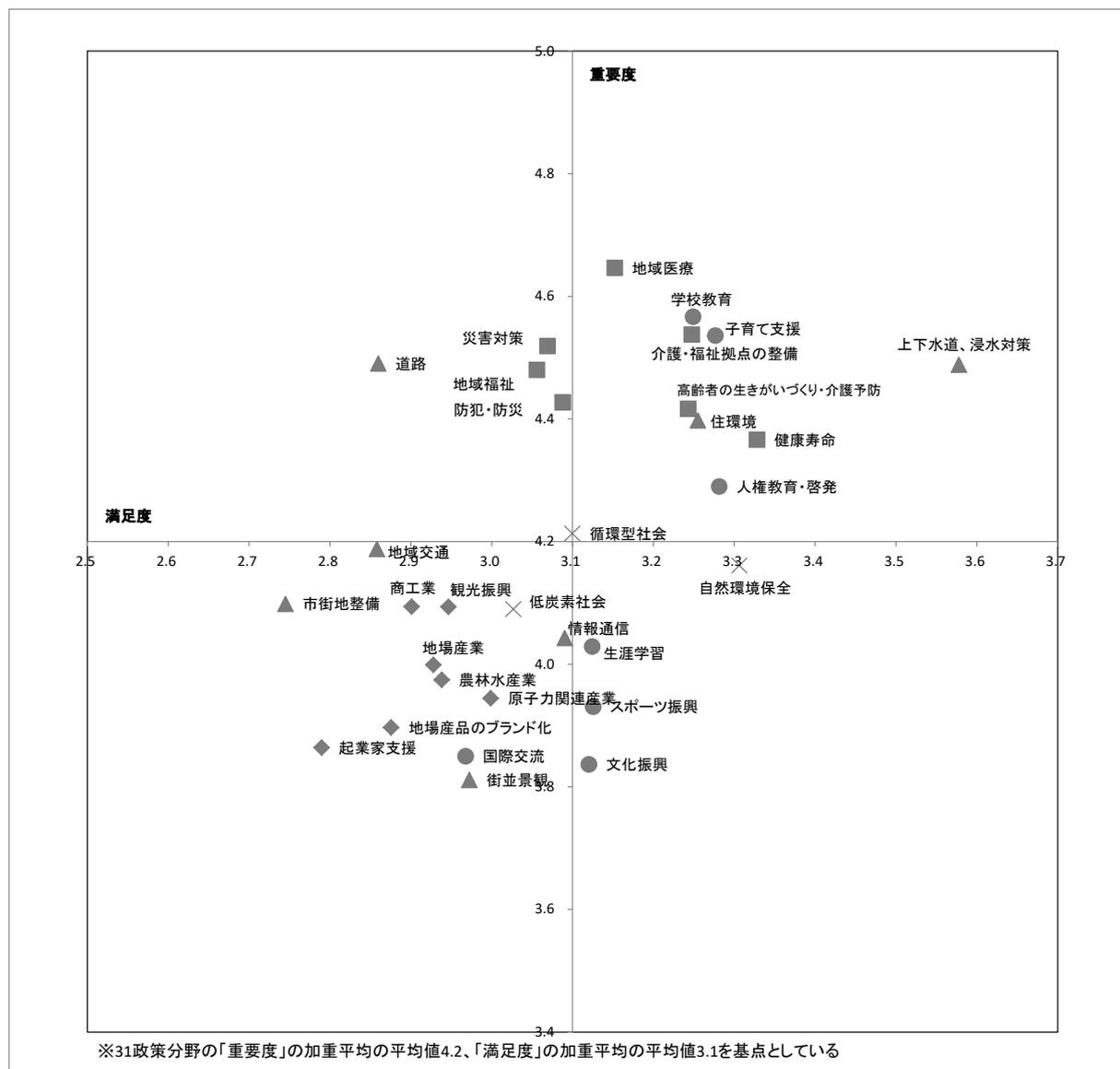
それぞれの設問において、結果の加重平均を求め、2軸4象限にプロットすることで、各政策について、満足度と重要度を評価しました。

なお加重平均は、満足度については、「満足している」+5、「まあ満足している」+4、「どちらともいえない」3、「やや不満である」2、「不満である」1、また、重要度については「重要である」+5、「まあ重要である」+4、「どちらともいえない」+3、「あまり重要でない」+2、「重要でない」+1の加重評点を与えて平均点を算出しています。

<分野：カッコ内は図中の記号>

<p>【目標1『誰もが安心して暮らせるまち』政策分野1～7】(■)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康寿命 2. 地域医療 3. 高齢者のいきがづくり・介護予防 4. 地域福祉 5. 介護・福祉拠点の整備 6. 防犯・防災 7. 災害対策 	<p>【目標4『豊かな自然を守り、地球環境に貢献するまち』政策分野22～24】(×)</p> <ol style="list-style-type: none"> 22. 自然環境保全 23. 低炭素社会 24. 循環型社会
<p>【目標2『いきいきと働くことができるまち』政策分野8～14】(◆)</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 農林水産業 9. 商工業 10. 観光振興 11. 地場産業 12. 地場産品のブランド化 13. 起業家支援 14. 原子力関連産業 	<p>【目標5『学びあい・教えあい、そして、人を育むまち』政策分野25～31】(●)</p> <ol style="list-style-type: none"> 25. 人権教育・啓発 26. 子育て支援 27. 学校教育 28. 生涯学習 29. 文化振興 30. スポーツ振興 31. 国際交流
<p>【目標3『安全快適で住みやすいまち』政策分野15～21】(▲)</p> <ol style="list-style-type: none"> 15. 住環境 16. 上下水道、浸水対策 17. 市街地整備 18. 道路 19. 地域交通 20. 情報通信 21. 街並景観 	

「地域福祉」「防犯・防災」「災害対策」「道路」は重要度が高く、満足度が低くなっています。

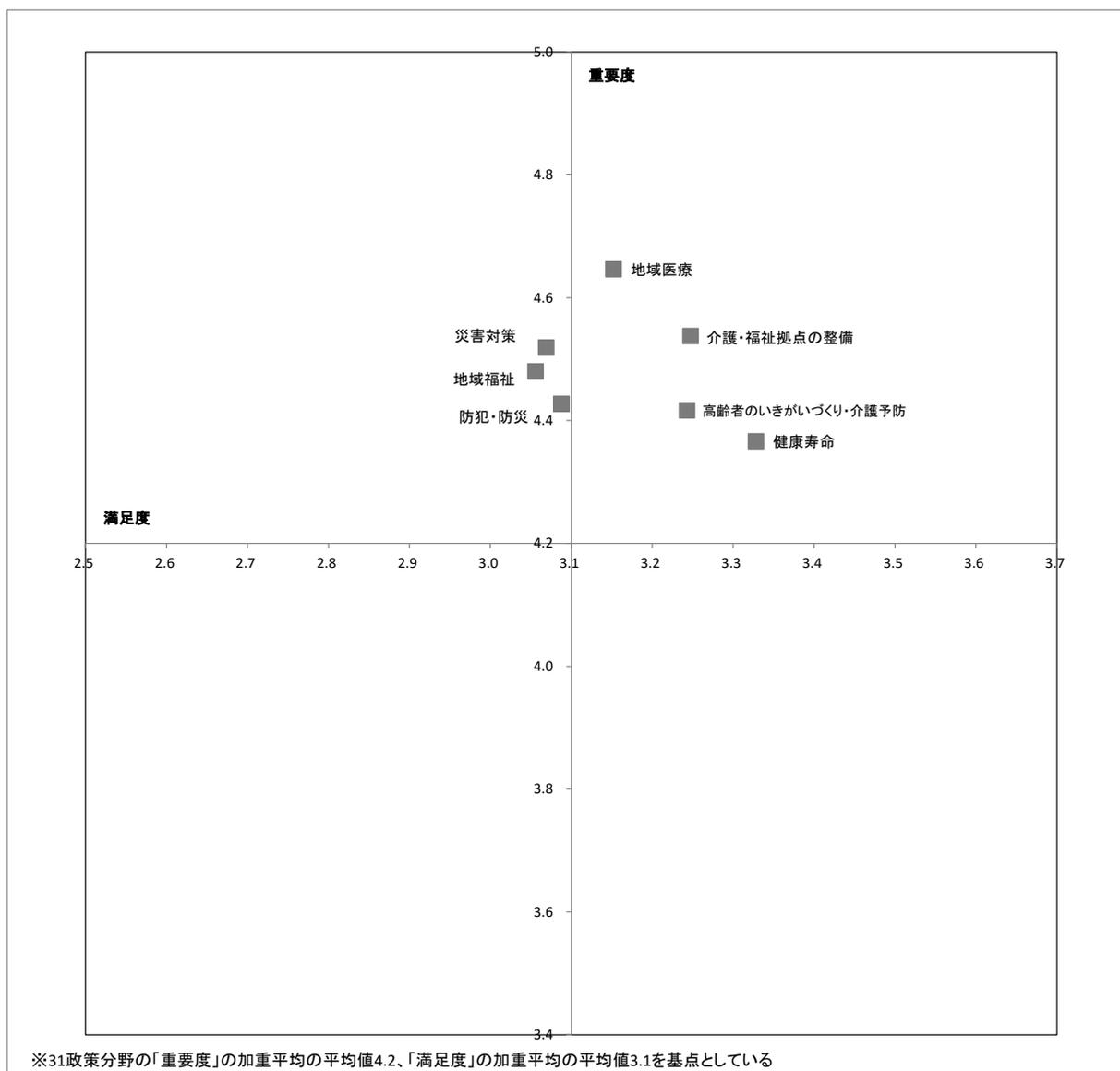


■ 目標別

【目標1 『誰もが安心して暮らせるまち』】

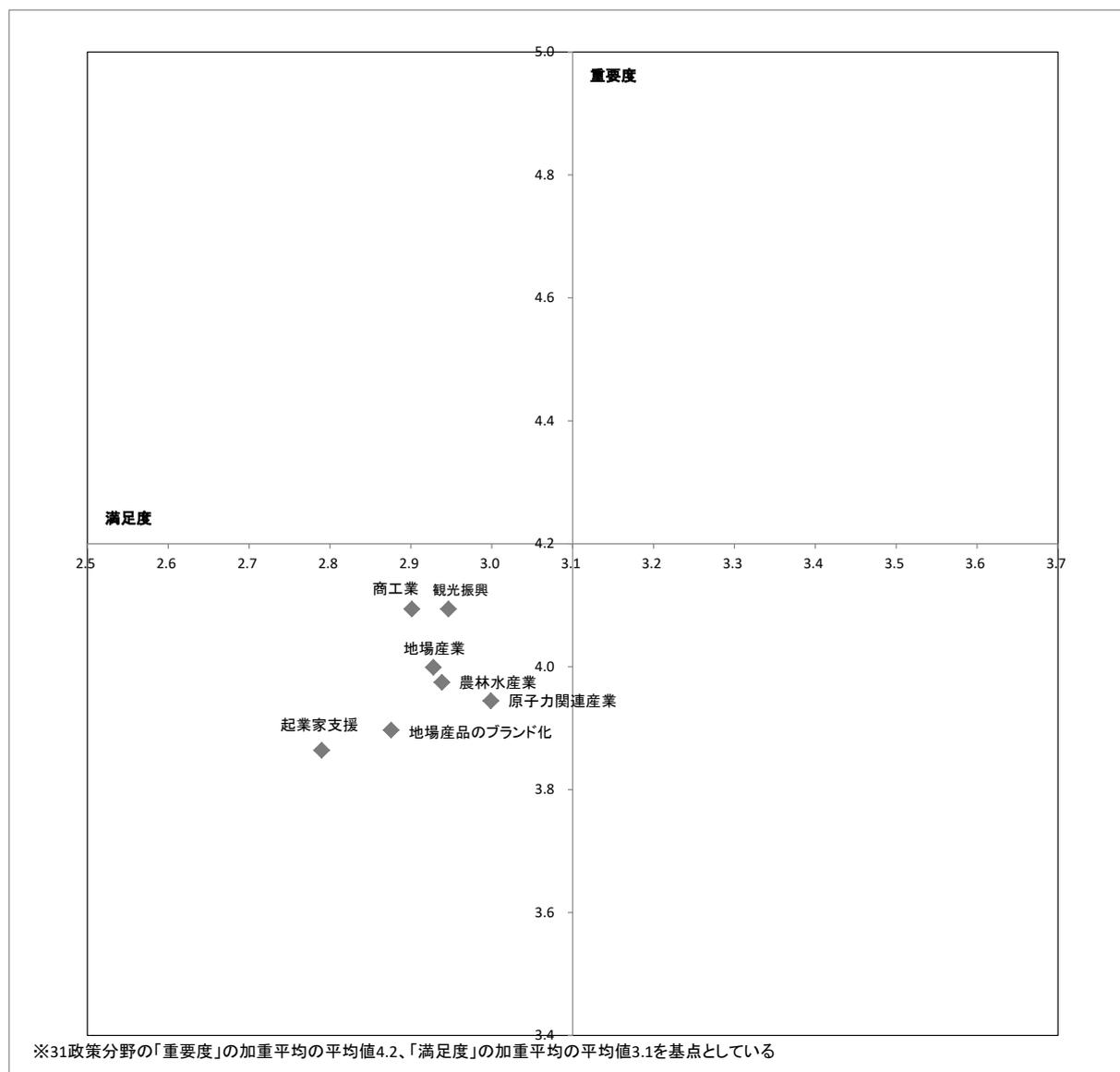
「地域福祉」「防犯・防災」「災害対策」は重要度が高く、満足度が低くなっています。

「健康寿命」「高齢者のいきがづくり・介護予防」「地域福祉」「介護・福祉拠点の整備」は満足度、重要度ともに高くなっています。



【目標2 『いきいきと働くことができるまち』】

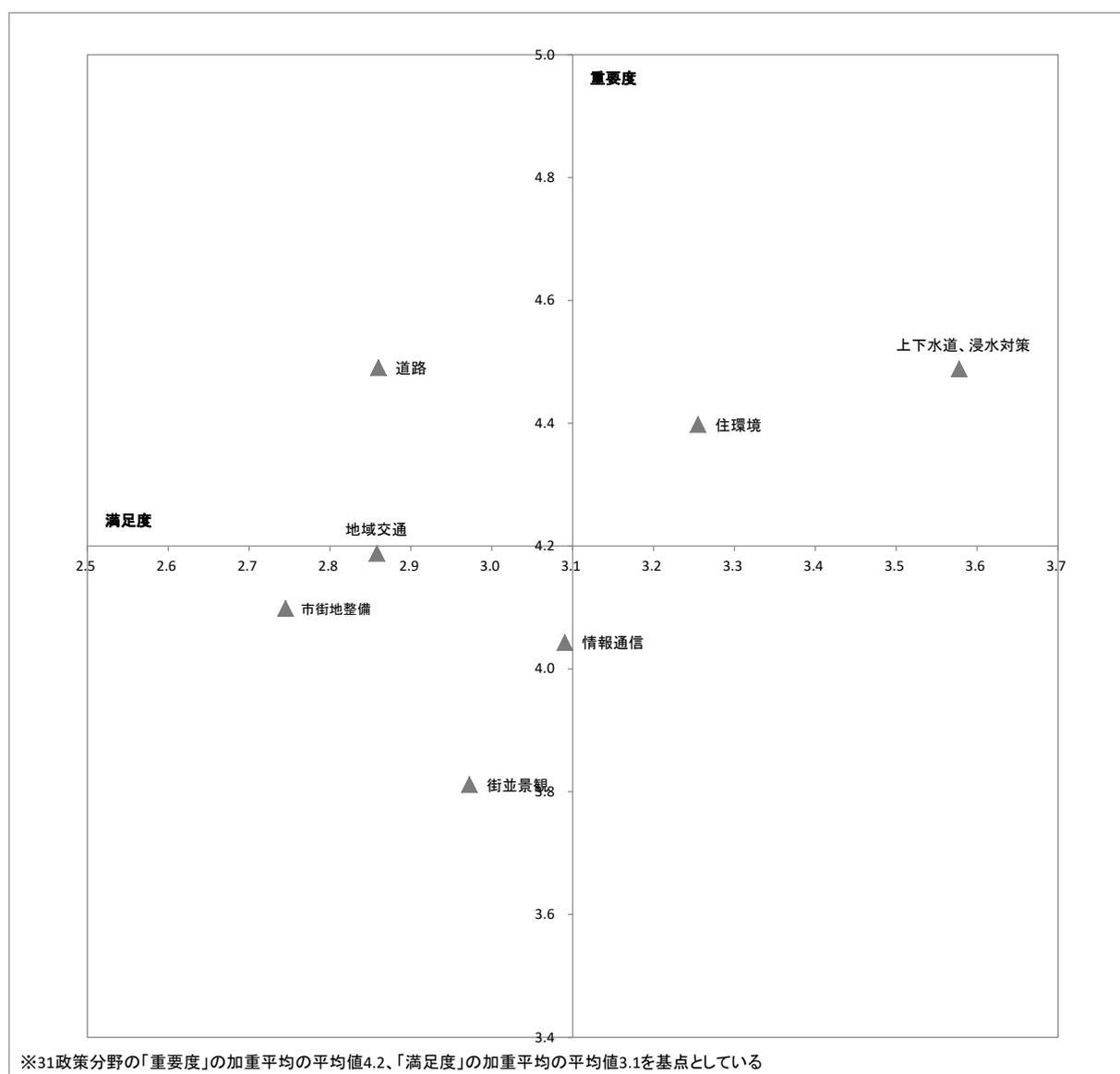
すべての分野において、満足度、重要度ともに平均を下回る位置にあります。



【目標3 『安全快適で住みやすいまち』】

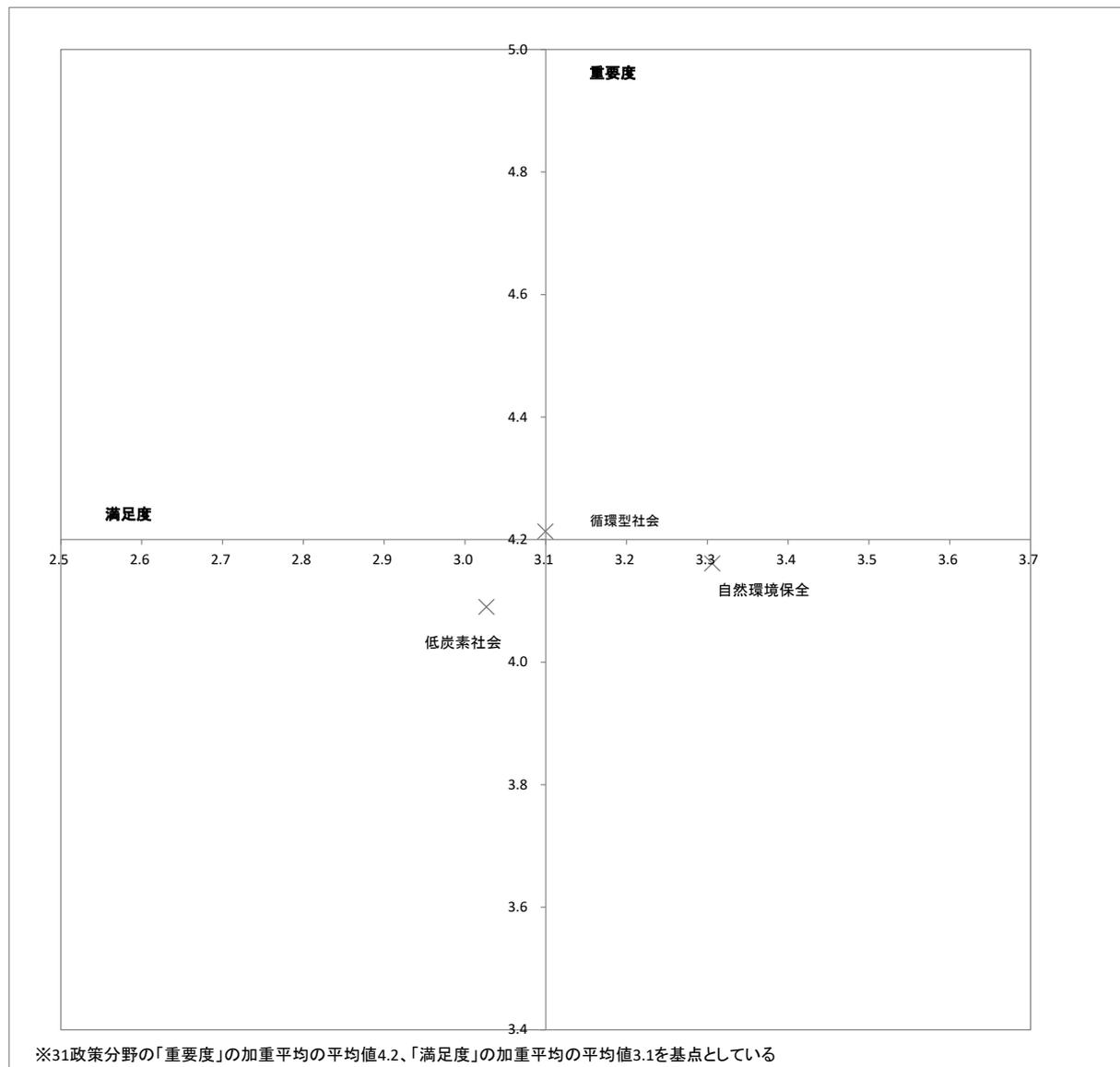
「道路」は重要度が高く、満足度が低くなっています。

満足度が平均を上回る位置にある分野が2分野、重要度が平均を下回る分野が4分野となっています。また、「上下水道、浸水対策」は全31分野の中で最も満足度が高くなっています。



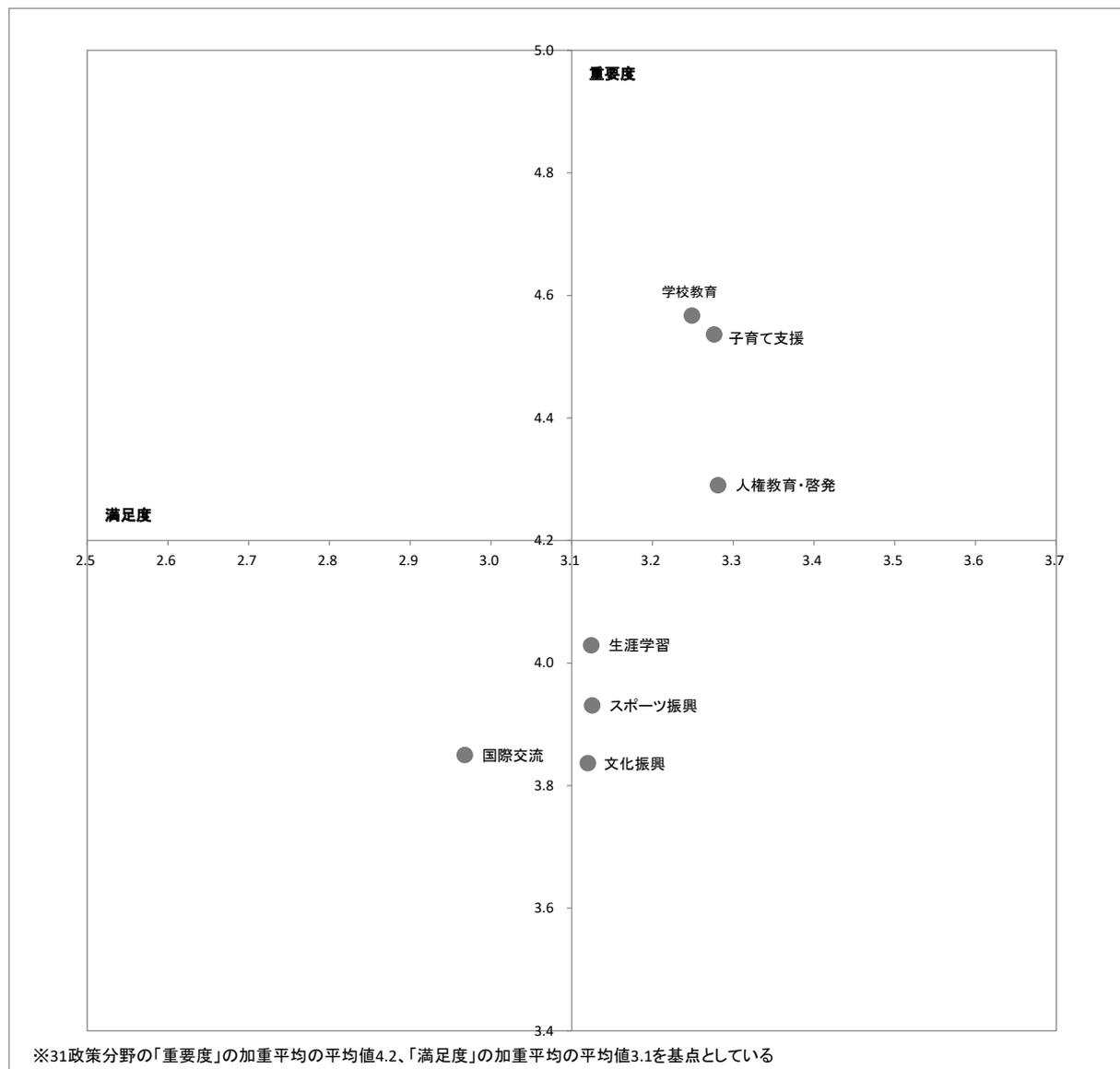
【目標4『豊かな自然を守り、地球環境に貢献するまち』】

「自然環境保全」「低炭素社会」で重要度が平均よりも低くなっています。



【目標5『学びあい・教えあい、そして、人を育むまち』】

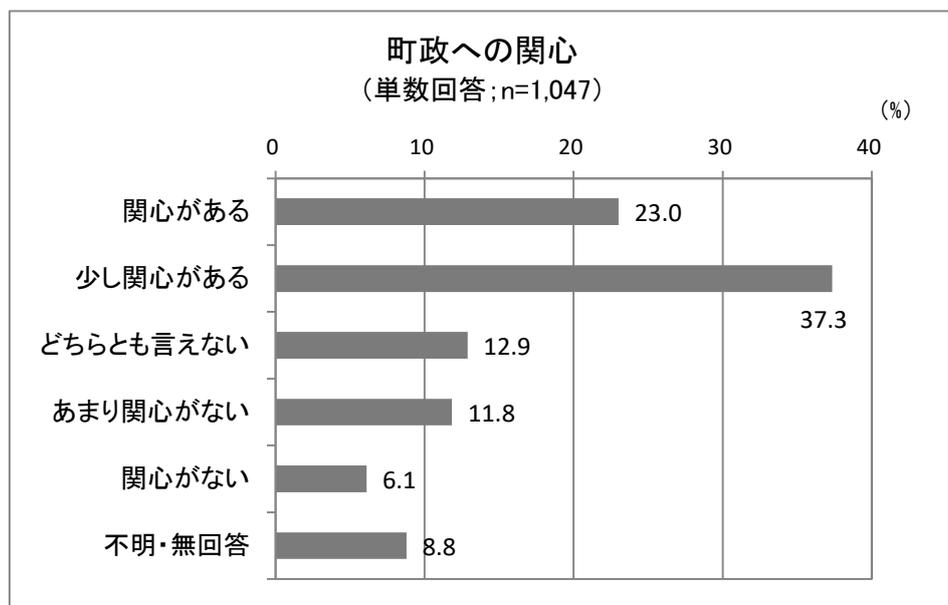
「国際交流」は満足度が平均よりも低くなっています。また、「子育て支援」「学校教育」「人権教育・啓発」は満足度、重要度ともに高くなっています。



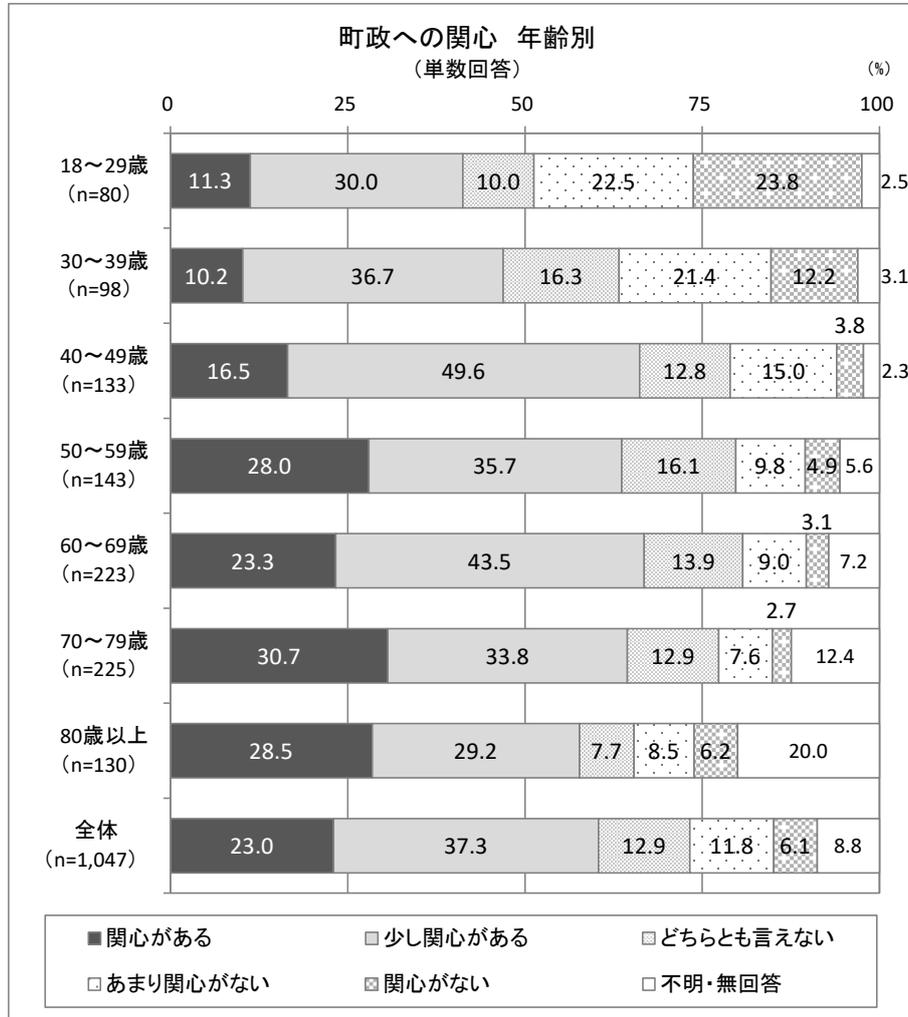
4. 町政について

(1) 町政への関心

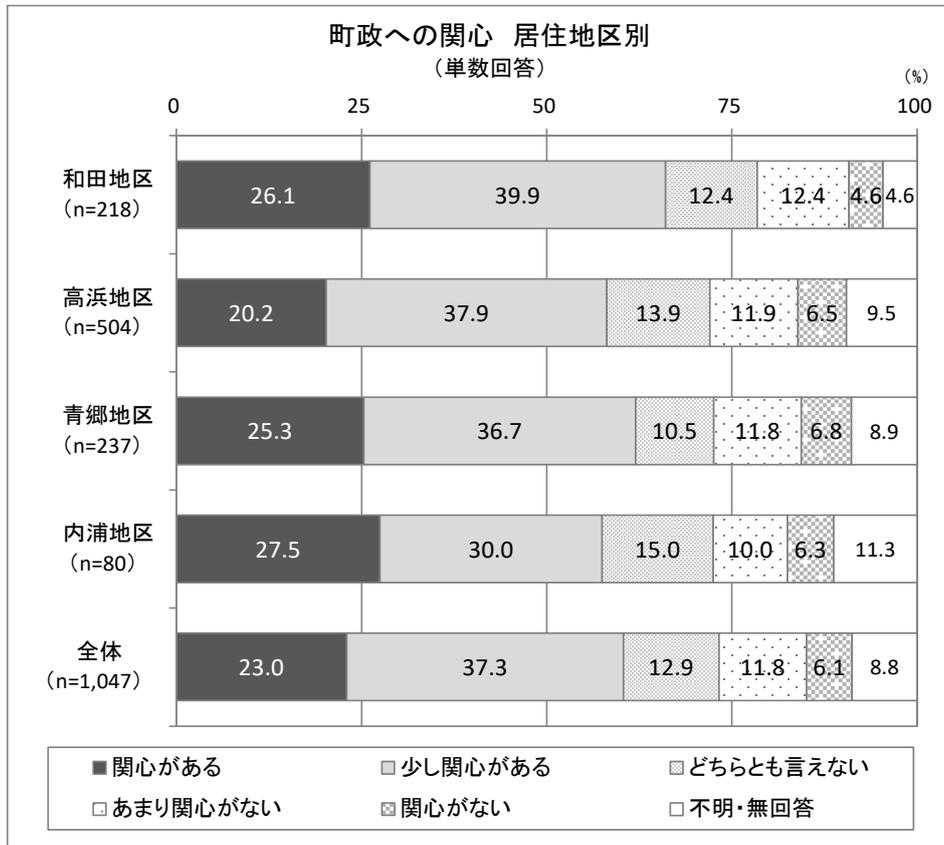
「少し関心がある」が最も多く 37.3%、次いで「関心がある」が 23.0%、「どちらとも言えない」が 12.9%、「あまり関心がない」が 11.8%などとなっています。



年齢別にみると、どの年代でも『関心がある』（「関心がある」「少し関心がある」の合計）が『関心がない』（「あまり関心がない」「関心がない」の合計）を上回っています。また、年齢別による有意な差はみられません。



居住地区別にみると、どの居住地区でも『関心がある』（「関心がある」「少し関心がある」の合計）が55%を超えています。また、居住地区別による有意な差はみられません。

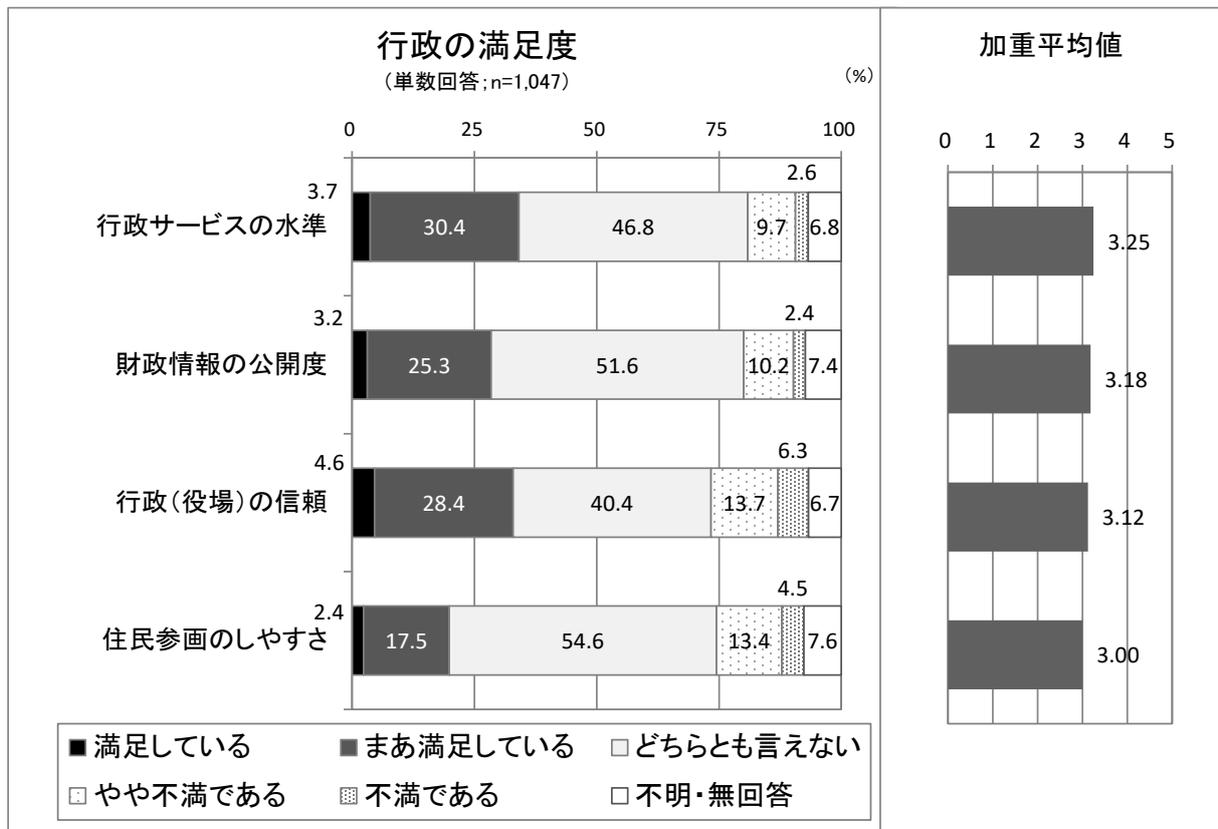


(2) 行政の満足度

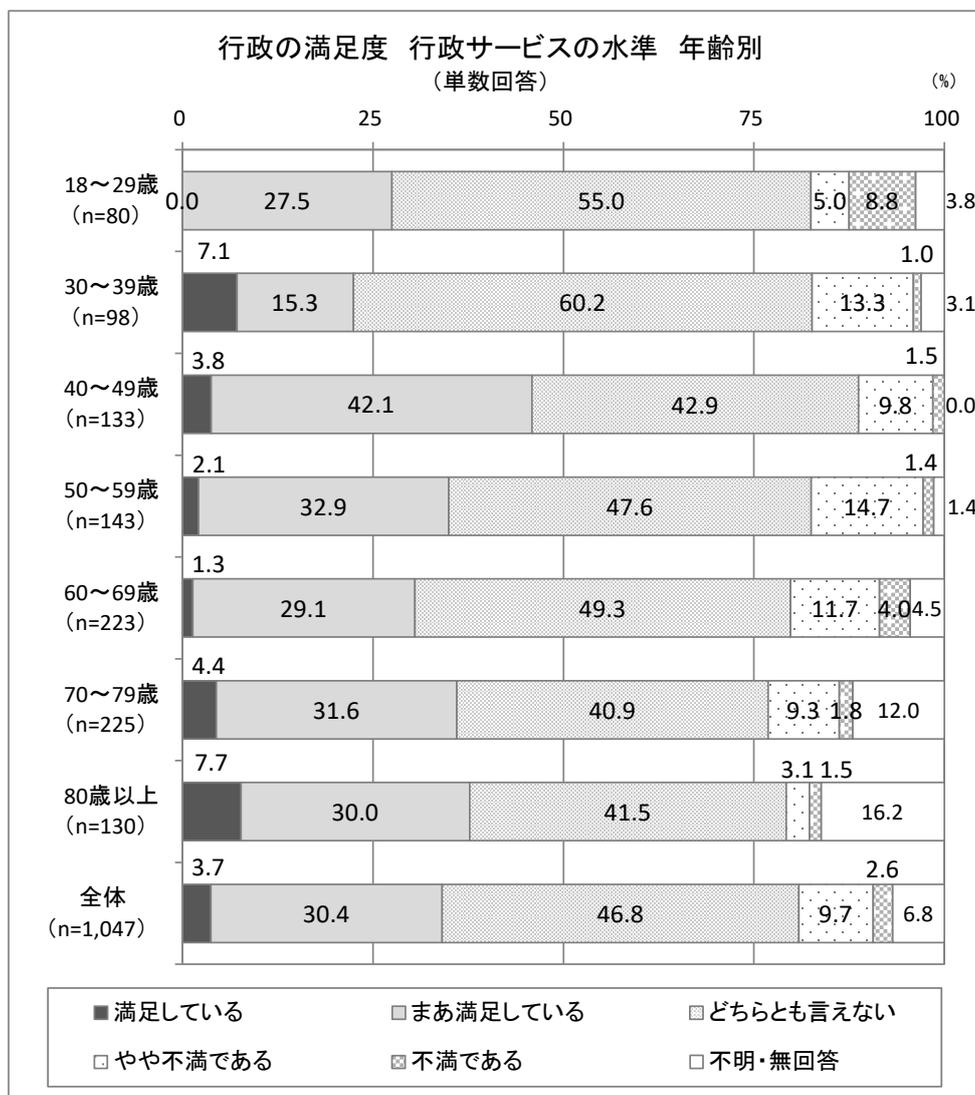
『満足』（「満足している」「まあ満足している」の合計）は「行政サービスの水準」が最も多く 34.1%、次いで「行政（役場）の信頼」が 33.0%、「財政情報の公開度」が 28.5%などとなっています。

加重平均をみると、「行政サービスの水準」が最も高く 3.25、次いで「財政情報の公開度」が 3.18、「行政（役場）の信頼度」が 3.12、「住民参画のしやすさ」が 3.00 となっています。

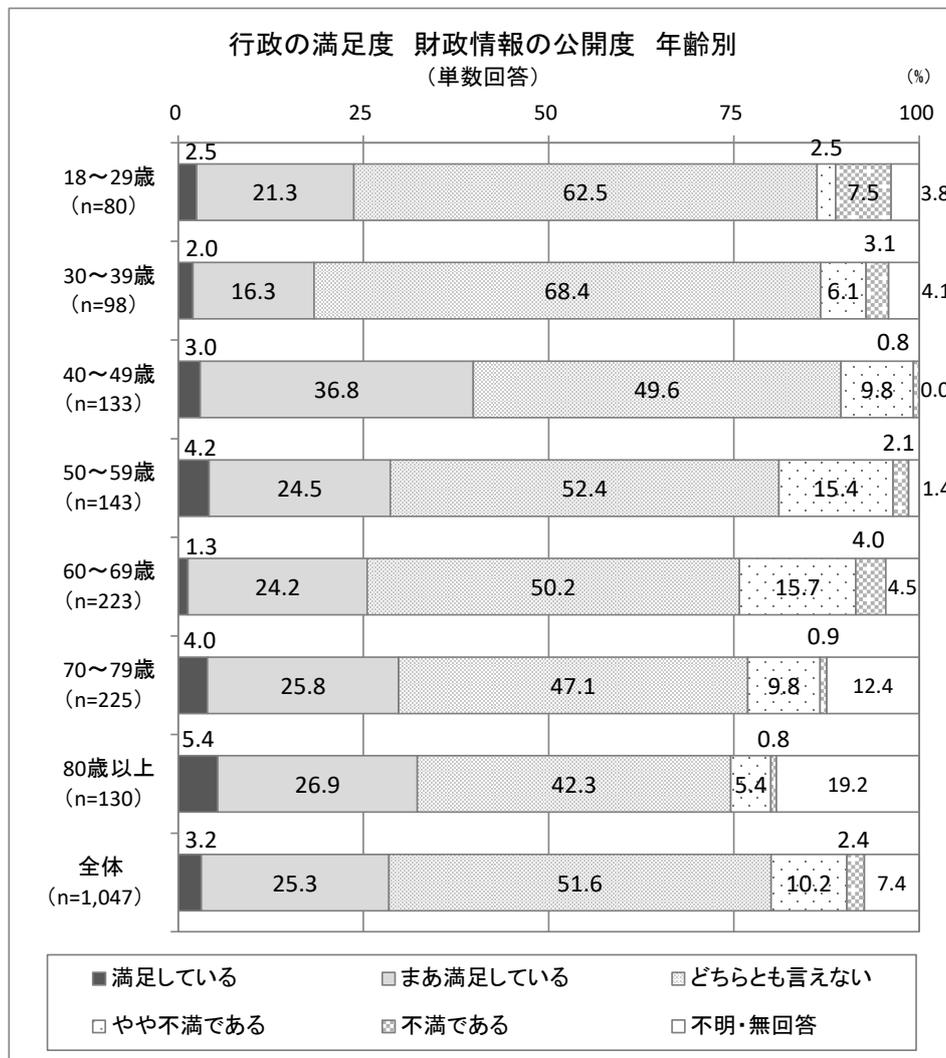
「行政（役場）の信頼」は「満足している」が最も多い一方で、「やや不満である」「不満である」も最も多くなっています。



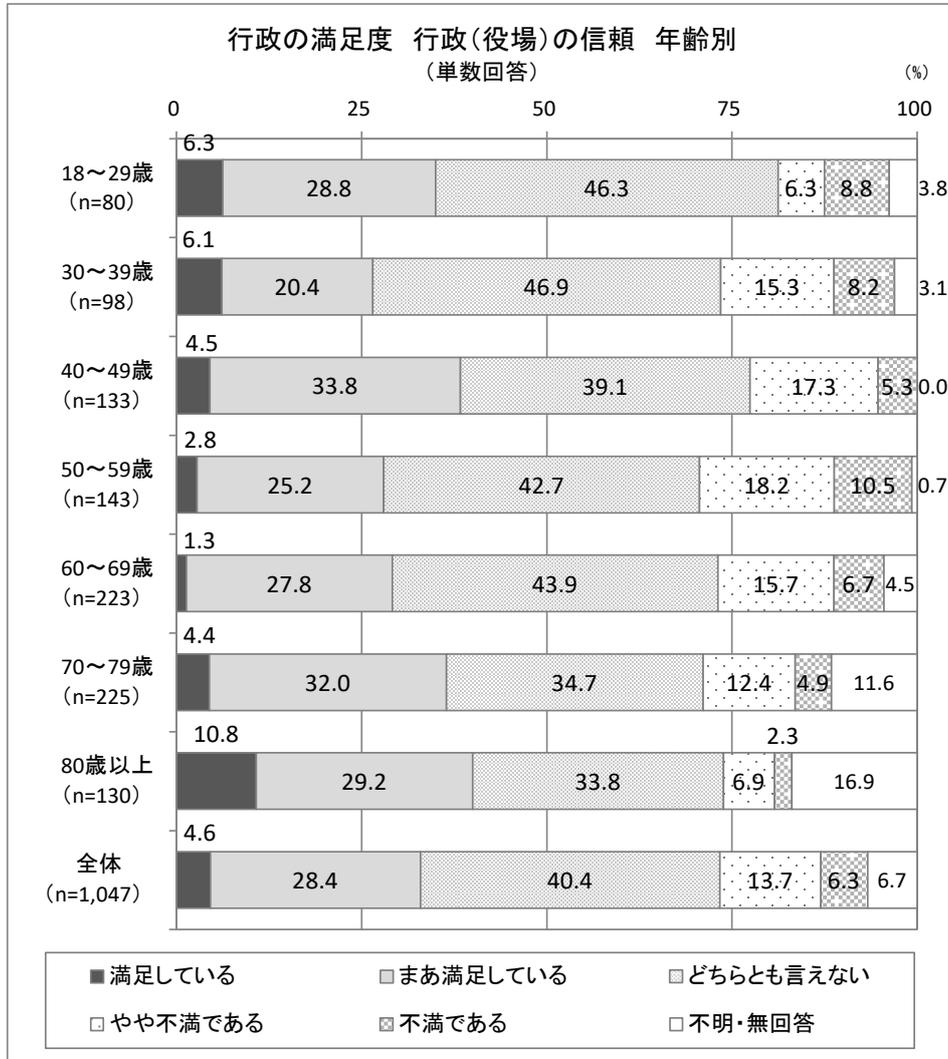
「行政サービスの水準」について年齢別にみると、どの年代も『満足』（「満足している」「まあ満足している」の合計）が『不満』（「やや不満である」「不満である」の合計）を上回っています。また、年齢別による有意な差はみられません。



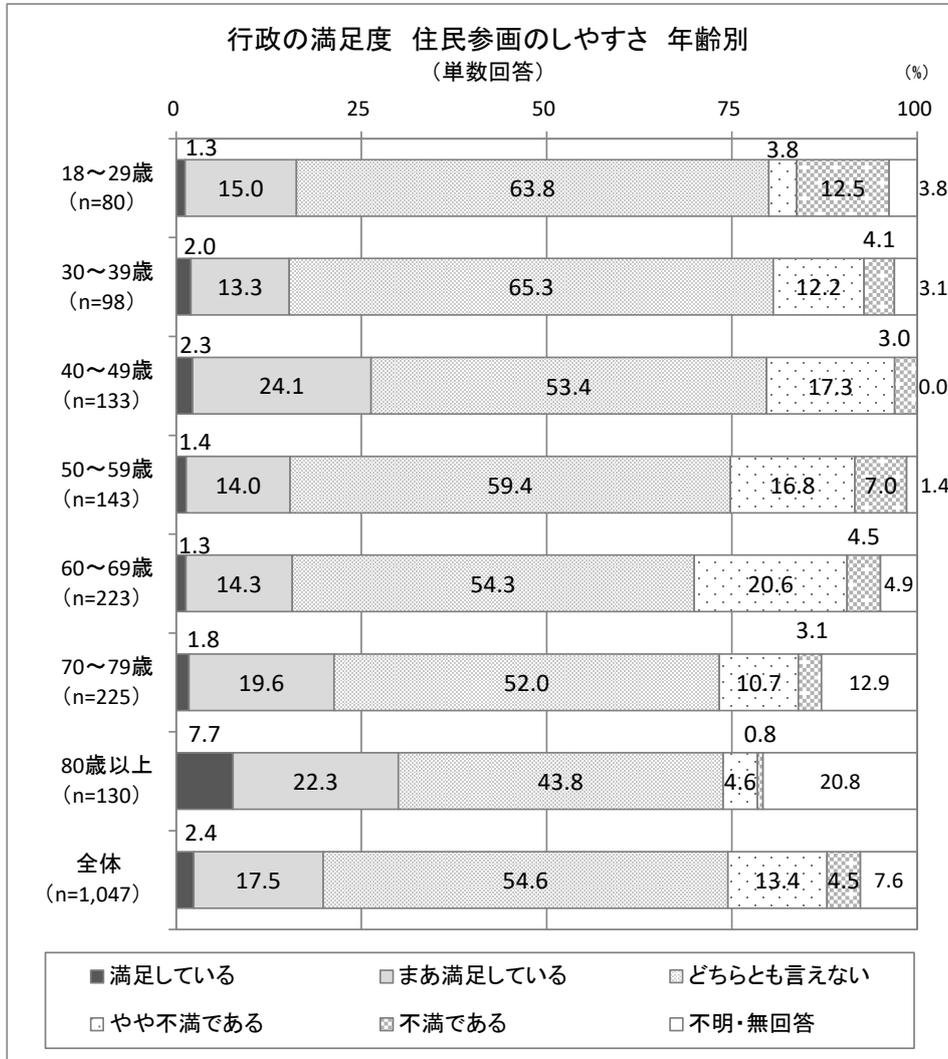
「財政情報の公開度」について年齢別にみると、「40～49歳」「80歳以上」では『満足』（「満足している」「まあ満足している」の合計）が30%を超えています。また、それ以外の年代で下回っています。また、年齢別による有意な差はみられません。



「行政（役場）の信頼」について年齢別にみると、「40～49歳」「70～79歳」「80歳以上」では『満足』（「満足している」「まあ満足している」の合計）が30%を上回っていますが、それ以外の年代で下回っています。また、年齢別による有意な差はみられません。



「住民参画のしやすさ」について年齢別にみると、「30～39歳」「50～59歳」「60～69歳」では、『不満』（「やや不満である」「不満である」の合計）が『満足』（「満足している」「まあ満足している」の合計）を上回っています。



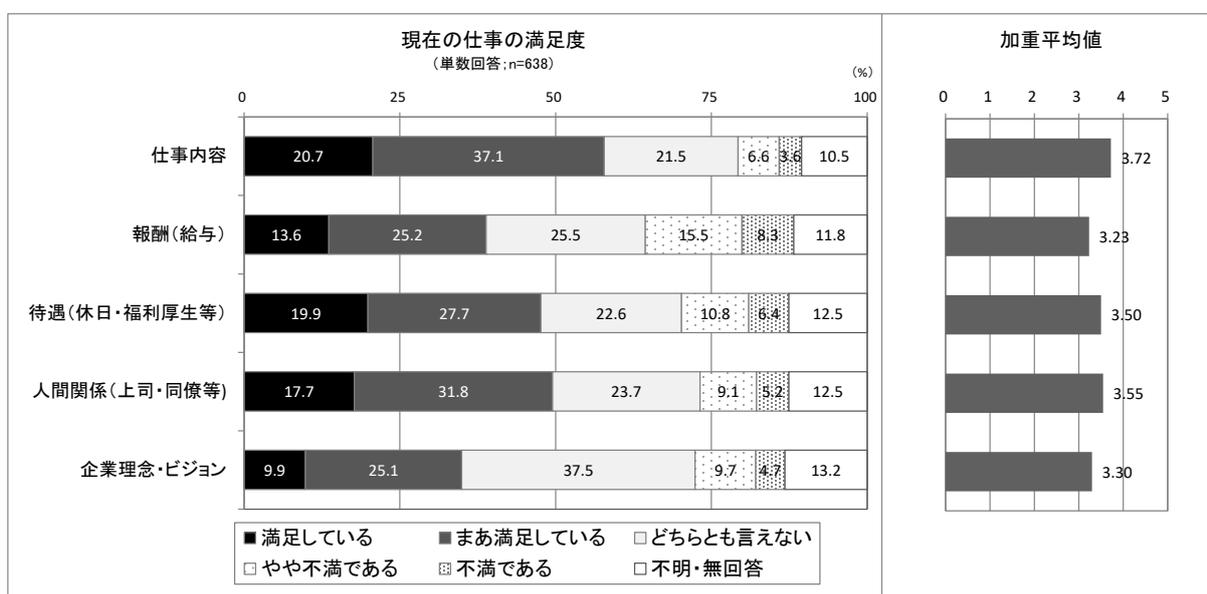
5. 就職状況と雇用について

(1) 現在の仕事の満足度（現在、仕事をしている人のみ回答）

『満足』（「満足している」「まあ満足している」の合計）は「仕事内容」が最も多く 57.8%、次いで「人間関係（上司・同僚等）」が 49.5%、「待遇（休日・福利厚生等）」が 47.6%などとなっています。

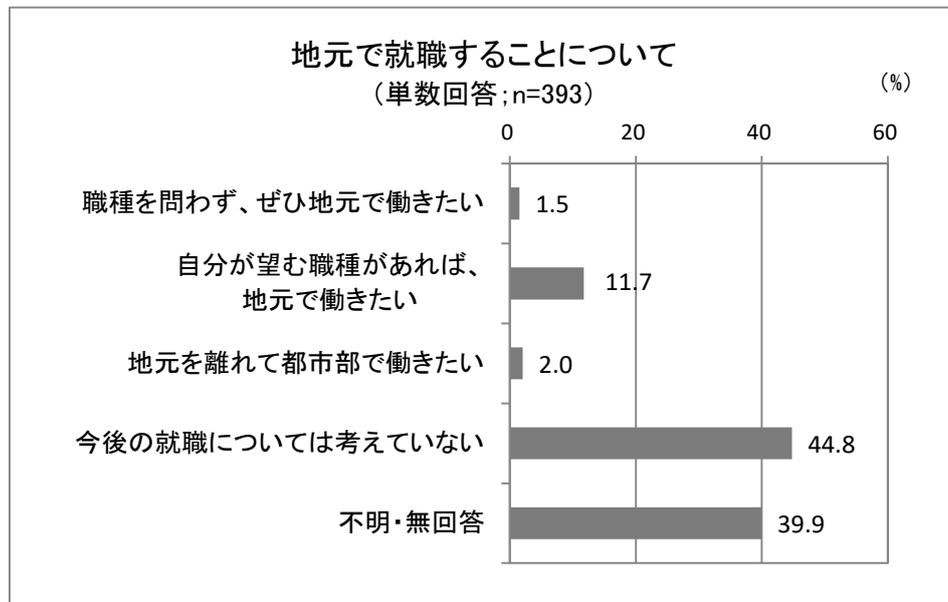
加重平均をみると、「仕事内容」が最も高く 3.72、次いで「人間関係（上司・同僚等）」が 3.55、「待遇（休日・福利厚生等）」が 3.50、「企業理念・ビジョン」が 3.30 となっています。

「報酬（給与）」については、「不満である」が最も多く、加重平均も最も低くなっています。



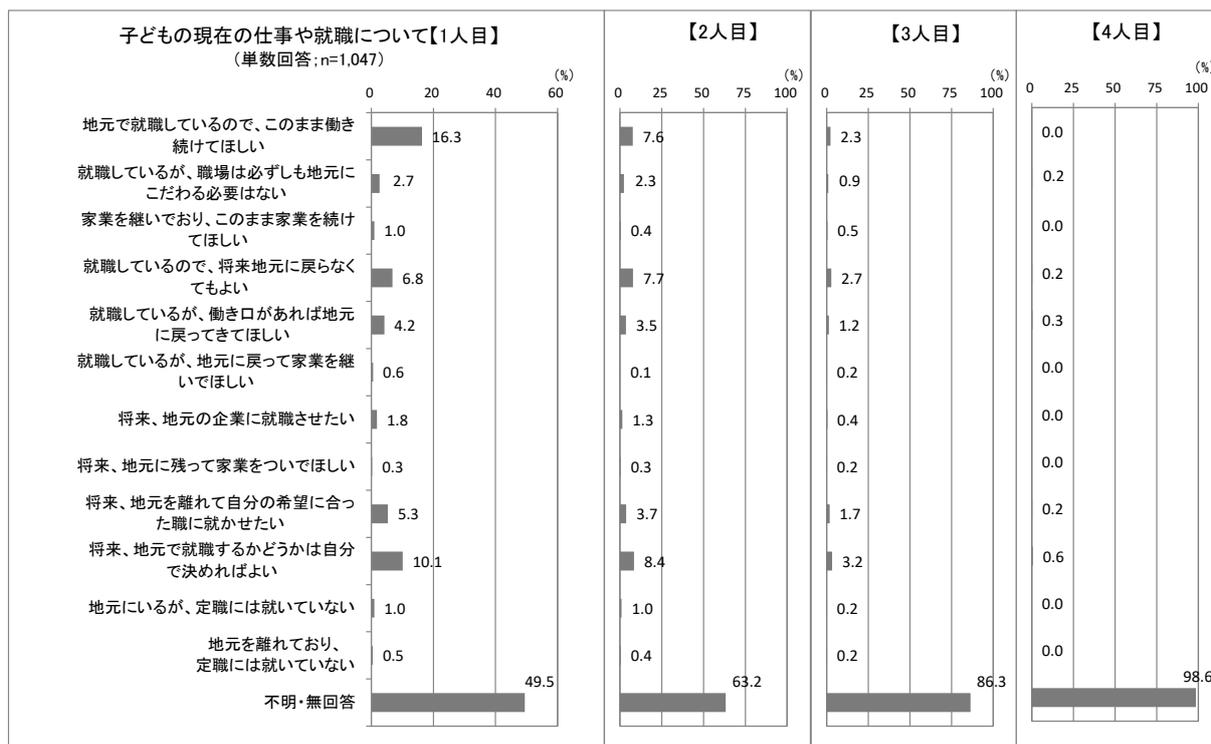
(2) 地元で就職することについて（現在、仕事をしていない人のみ回答）

「今後の就職については考えていない」が最も多く 44.8%、次いで「不明・無回答」が 39.9%、「自分が望む職種があれば、地元で働きたい」が 11.7%などとなっています。



(3) 子どもの現在の仕事や就職について

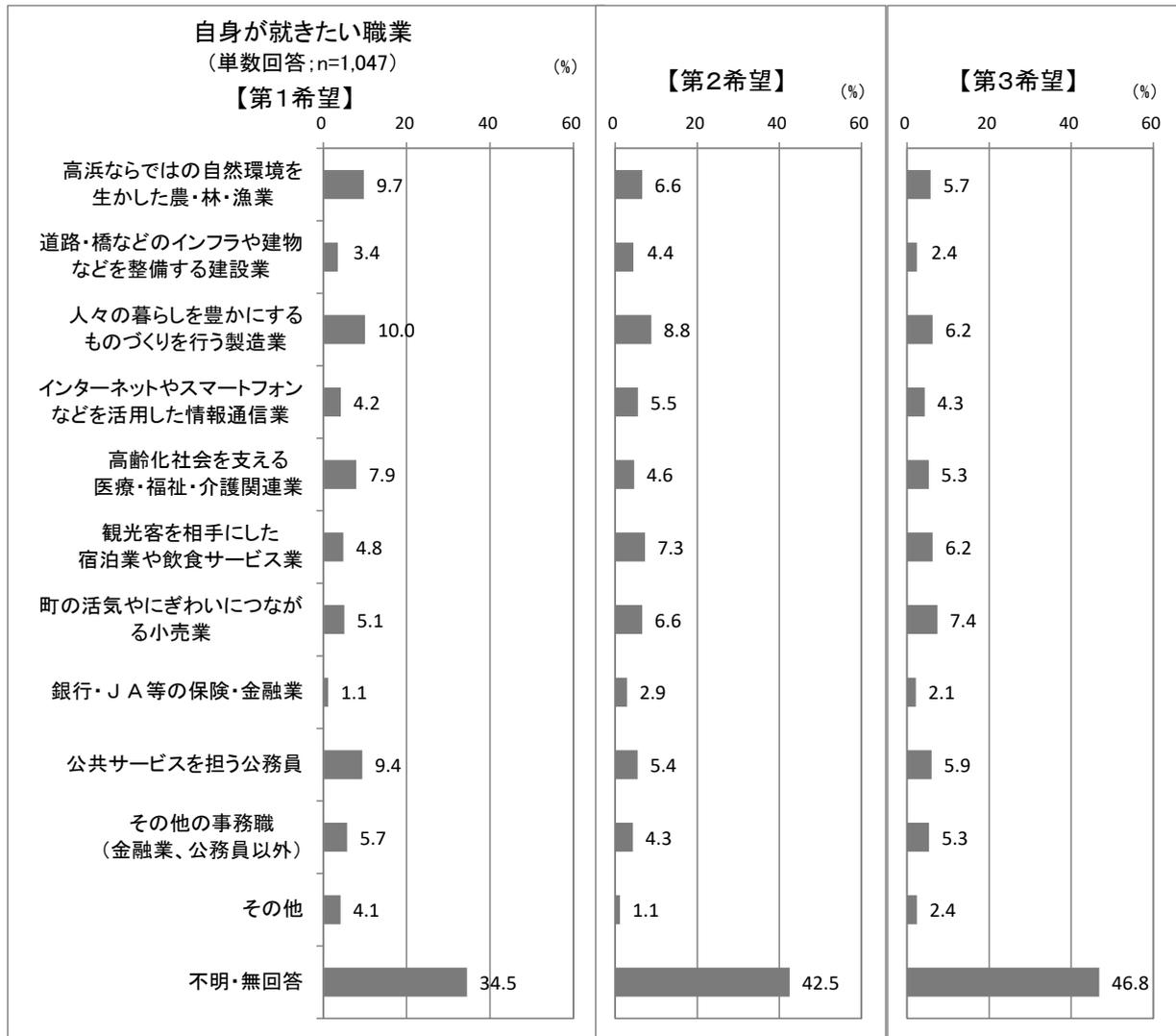
1人目は「地元で就職しているので、このまま働き続けてほしい」が16.3%、「将来、地元で就職するかどうかは自分で決めればよい」が10.1%、「就職しているので、地元に戻らなくてもよい」が6.8%などとなっています。なお、「不明・無回答」が多くなっていますが、回答者のうち70歳以上が30%を超えていることが関係していると推察されます。



(4) 自身が就きたい、子どもに就かせたい職業

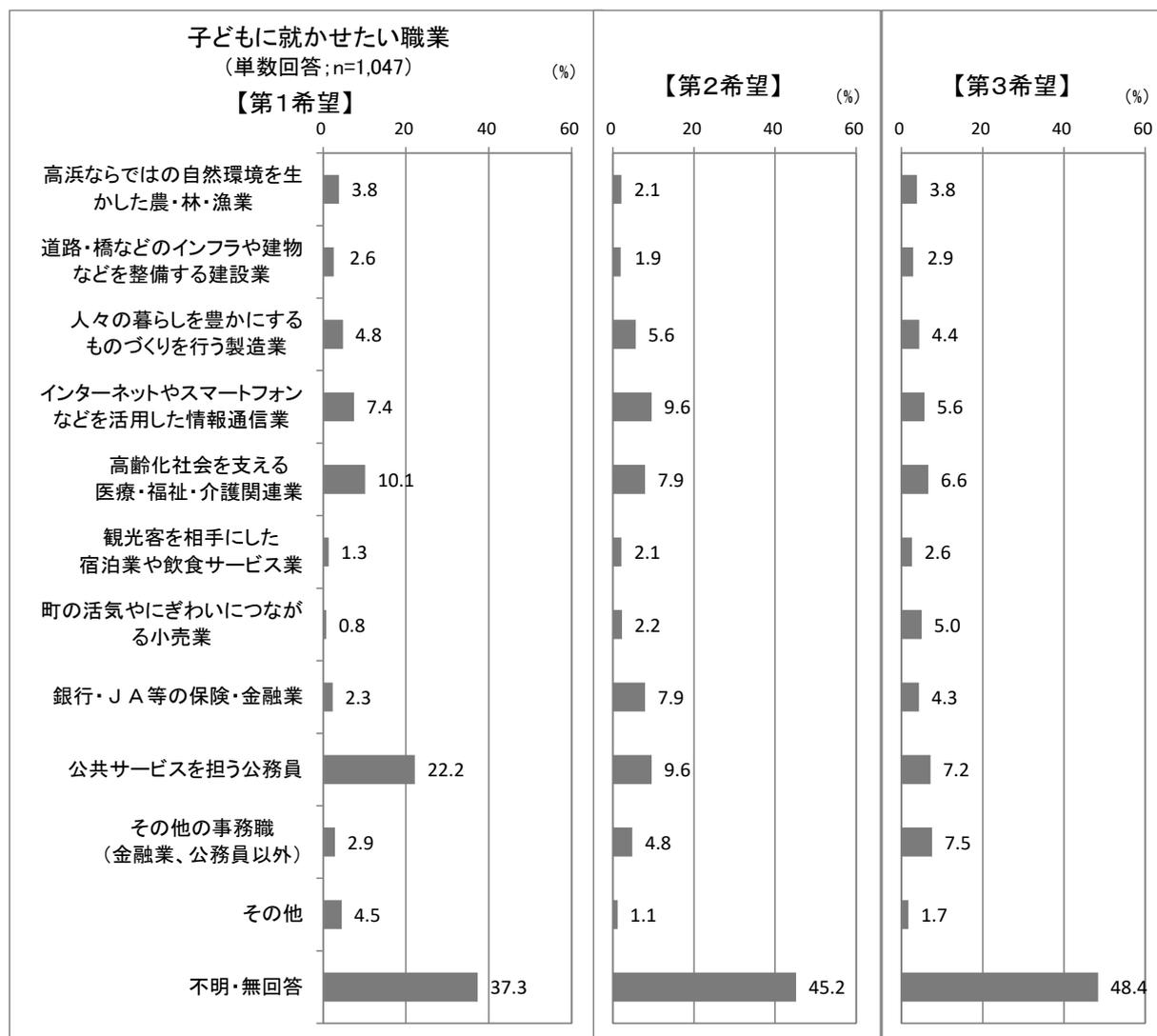
(自身が就きたい職業)

第1希望は「人々の暮らしを豊かにするものづくりを行う製造業」が最も多く 10.0%、次いで「高浜ならではの自然環境を生かした農・林・漁業」が 9.7%、「公共サービスを担う公務員」が 9.4%などとなっています。なお、「不明・無回答」が多くなっていますが、回答者のうち 70 歳以上が 30%を超えていることが関係していると推察されます。



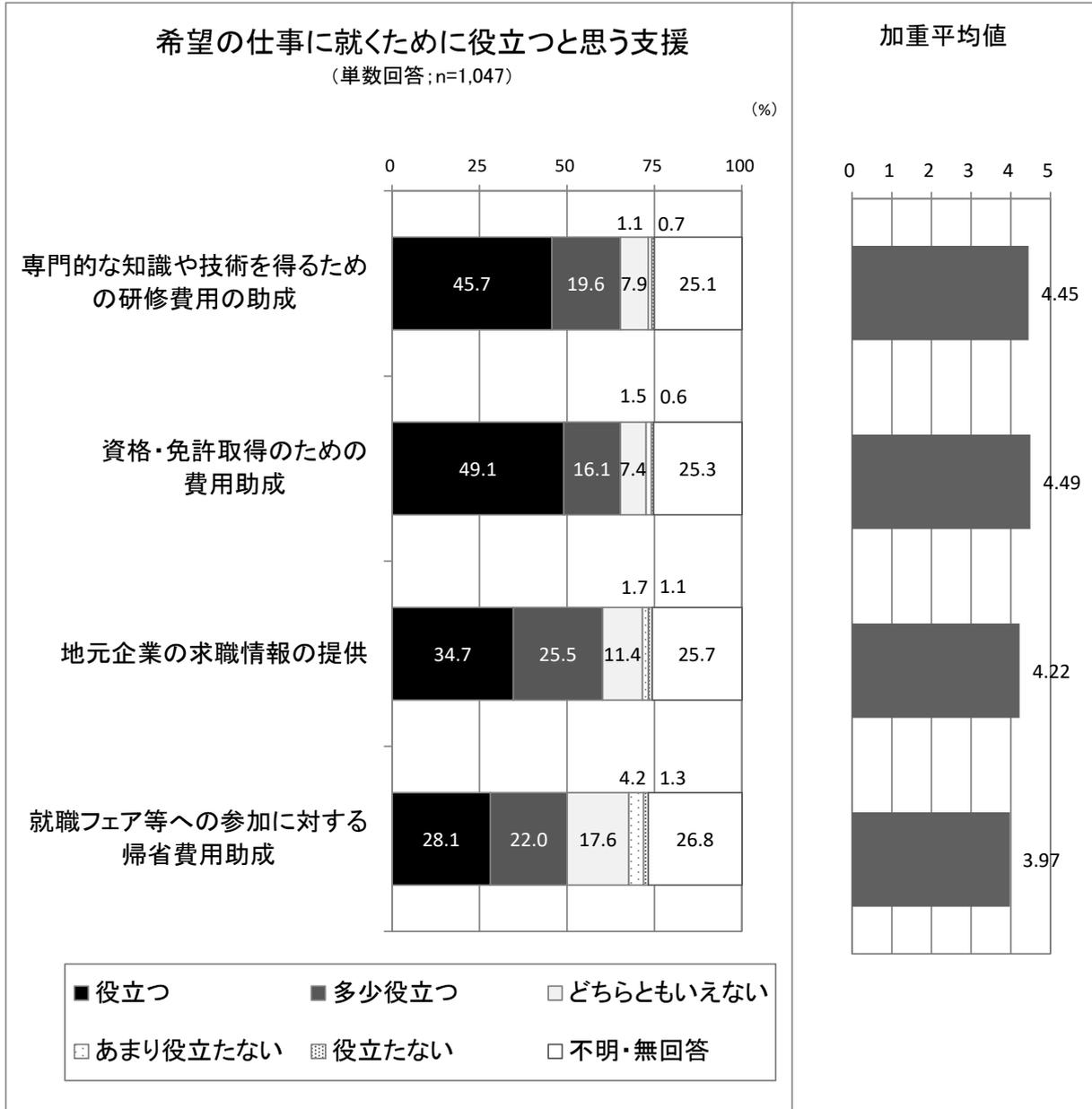
(子どもに就かせたい職業)

第1希望は「公共サービスを担う公務員」が最も多く22.2%、次いで「高齢化社会を支える医療・福祉・介護関連業」が10.1%、「インターネットやスマートフォンなどを活用した情報通信業」が7.4%、「人々の暮らしを豊かにするものづくりを行う製造業」が4.8%などとなっています。なお、「不明・無回答」が多くなっていますが、回答者のうち70歳以上が30%を超えていることが関係していると推察されます。



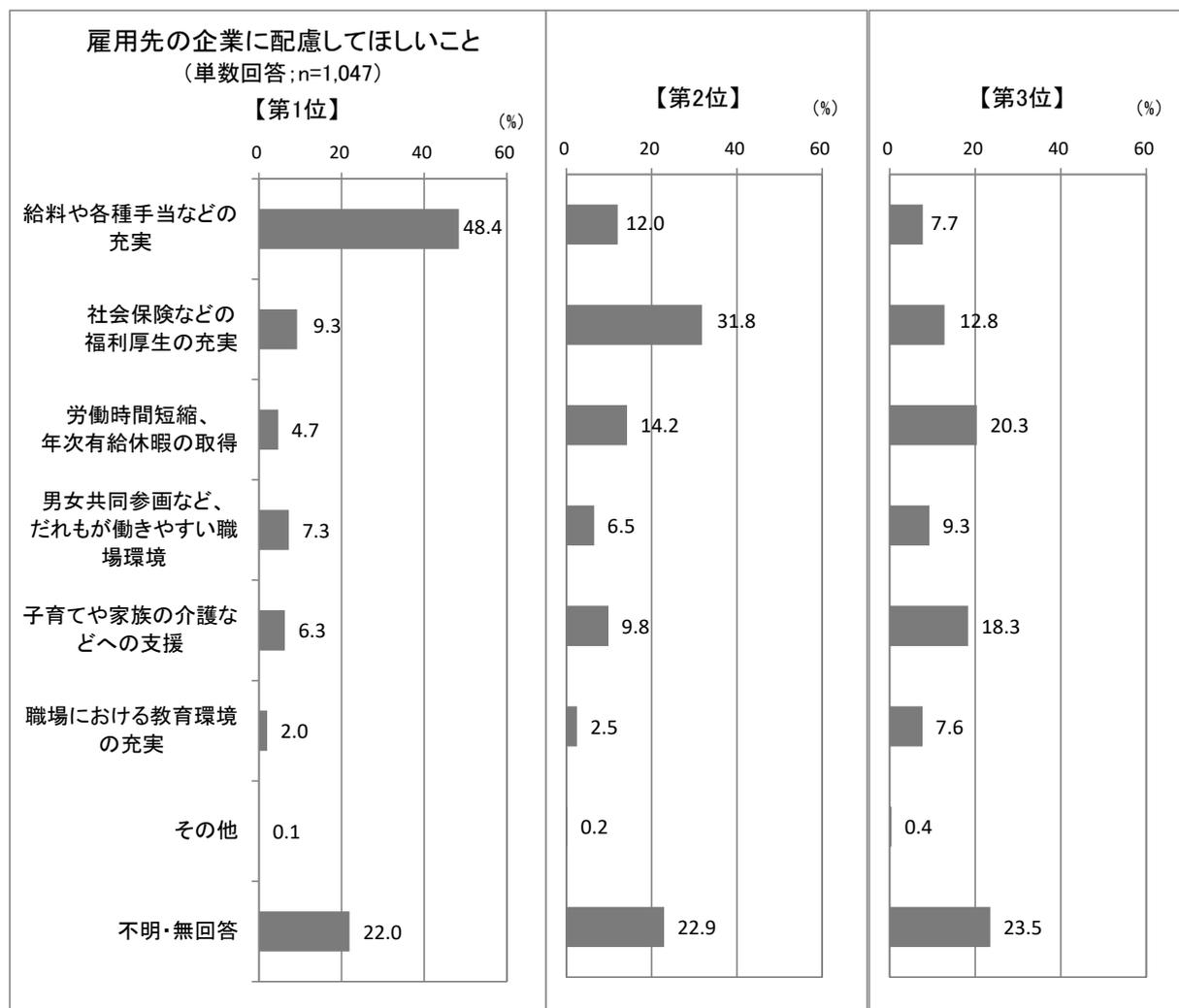
(5) 希望の仕事に就くために役立つと思う支援

「役立つ」は「資格・免許取得のための費用助成」が最も多く 49.1%、次いで「専門的な知識や技術を得るための研修費用の助成」が 45.7%などとなっています。これらの支援については加重平均が高くなっています。また、「役立たない」ほどの支援も低くなっています。



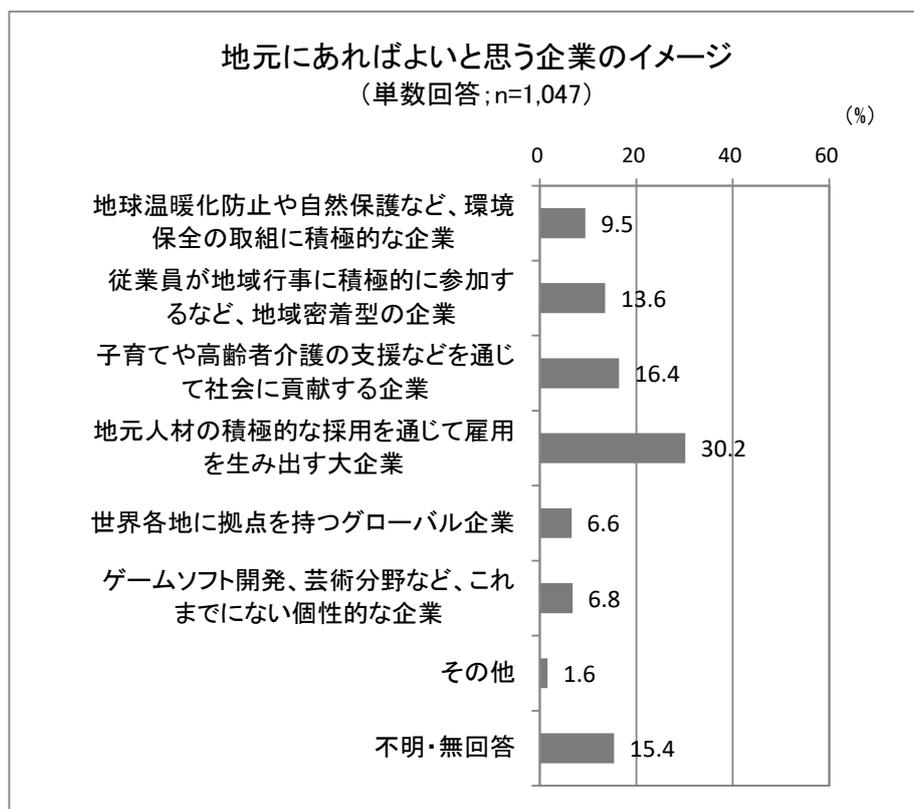
(6) 雇用先の企業に配慮してほしいこと

第1位は「給料や各種手当などの充実」が最も多く48.4%、次いで「社会保険などの福利厚生への充実」が9.3%、「男女共同参画など、だれもが働きやすい職場環境」が7.3%などとなっています。



(7) 地元であればよいと思う企業のイメージ

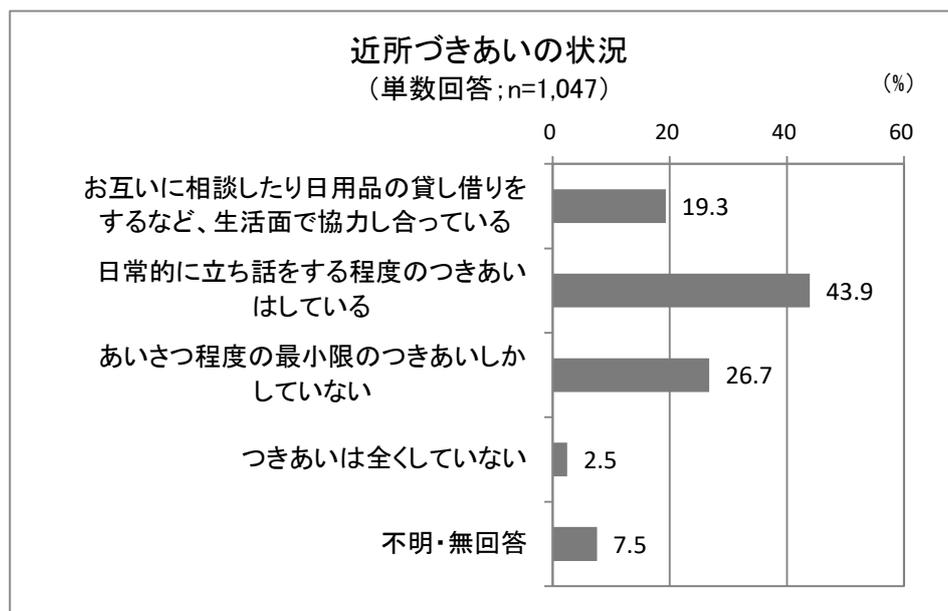
「地元人材の積極的な採用を通じて雇用を生み出す大企業」が最も多く 30.2%、次いで「子育てや高齢者介護の支援などを通じて社会に貢献する企業」が 16.4%、「従業員が地域行事に積極的に参加するなど、地域密着型の企業」が 13.6%などとなっています。



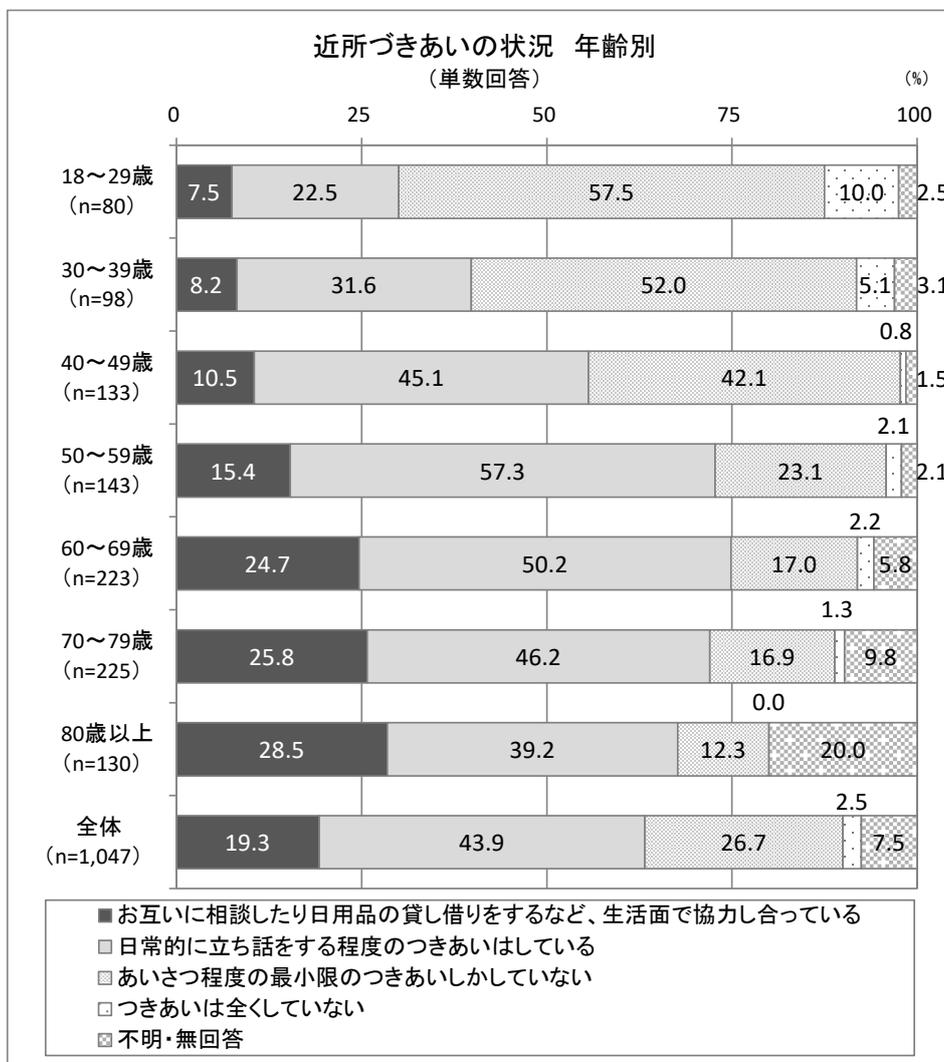
6. 地域との関わりについて

(1) 近所づきあいの状況

「日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている」が最も多く 43.9%、次いで「あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない」が 26.7%、「お互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている」が 19.3%などとなっています。

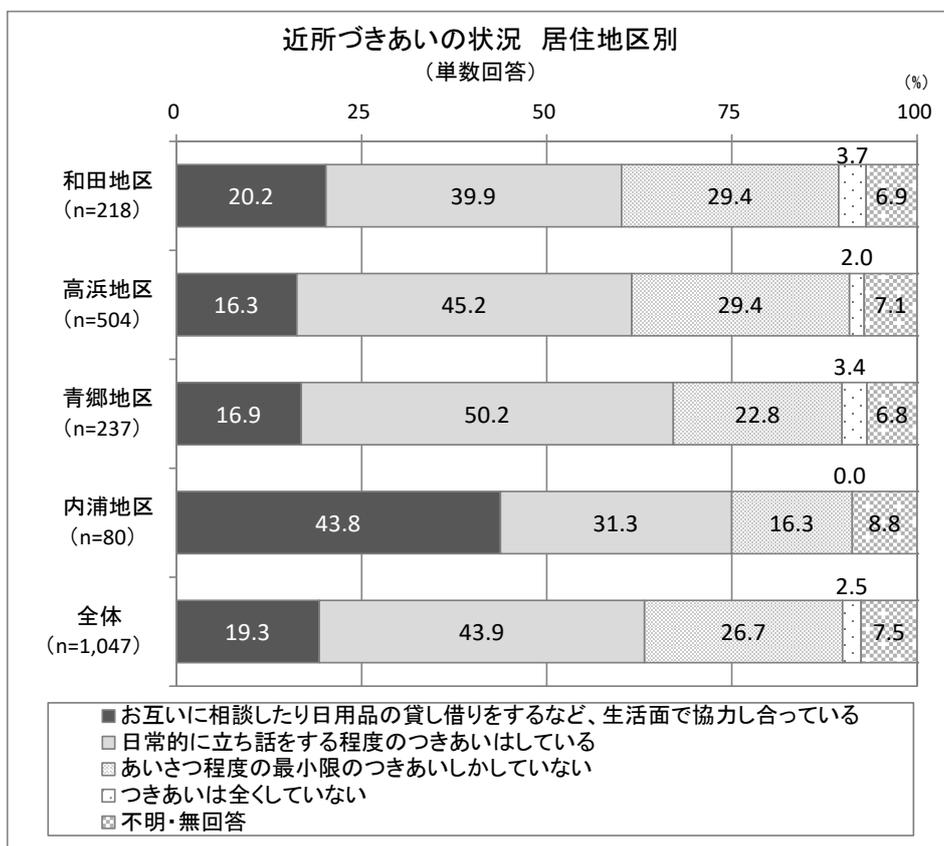


年齢別にみると、若い年代では「あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない」が多く、年代が上がると「お互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている」が多くなっています。また、年齢別による有意な差はみられません。



居住地区別にみると、内浦地区を除き、「日常的に立ち話をする程度のつきあいはある」が最も多く 30%を超えています。

内浦地区では「お互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている」が他の地区と比較して多くなっています。

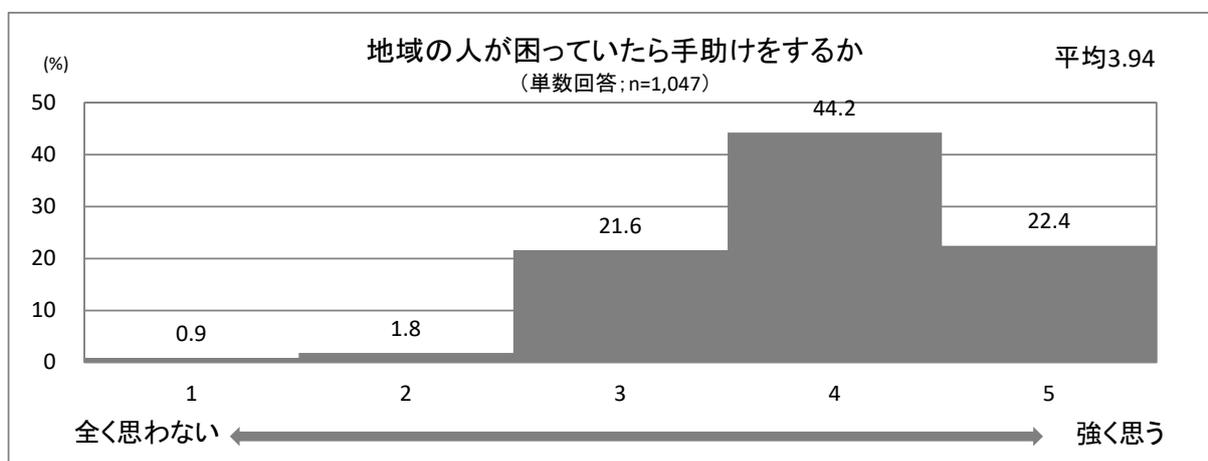
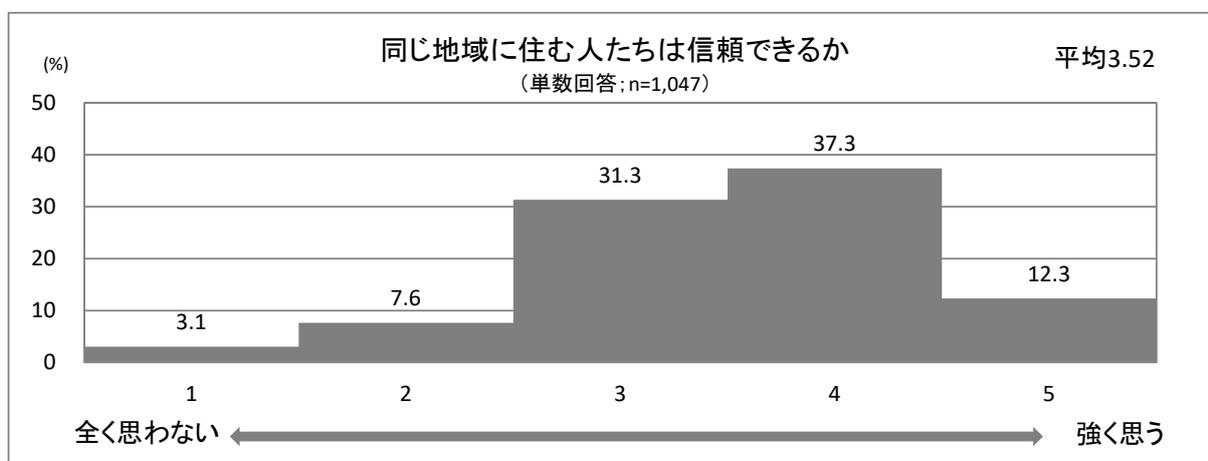
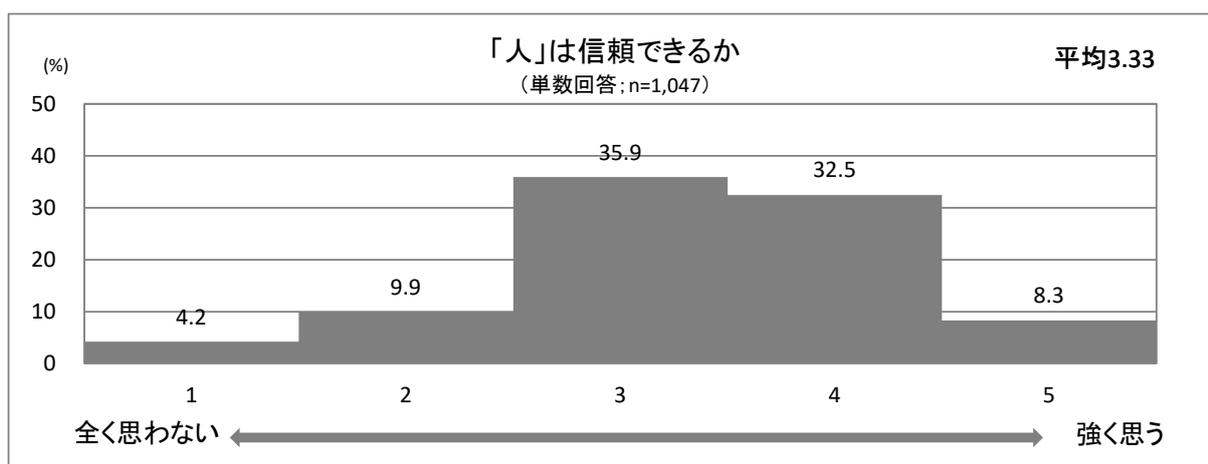


(2) 人への信頼に関する考え方

「人に対する信頼度」の平均点は3.33、「3」が最も多く35.9%、次いで「4」が32.5%などとなっています。

「同じ地域に住む人への信頼度」の平均点は3.52、「4」最も多く37.3%、次いで「3」が31.3%などとなっています。

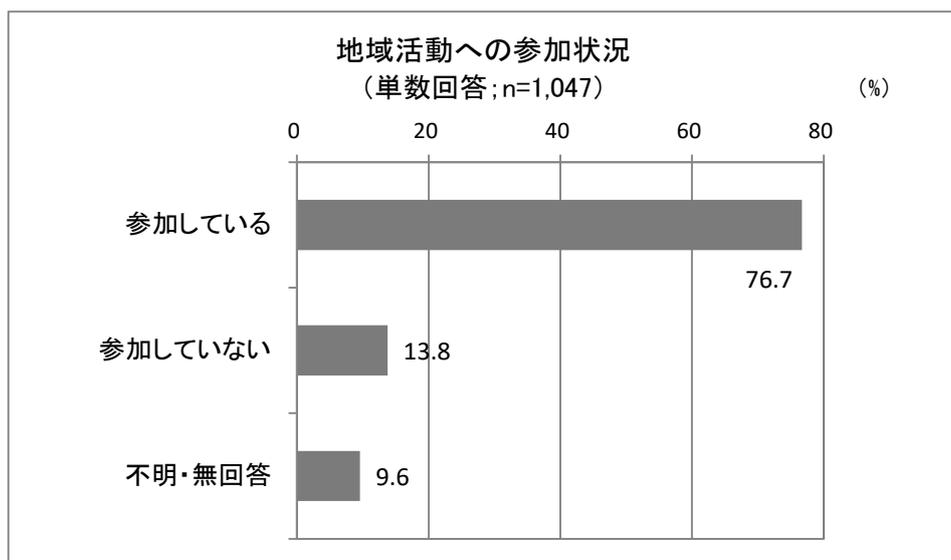
「地域の人困っている際の手助け」の平均点は3.94、「4」が最も多く44.2%、次いで「5」が22.4%などとなっています。



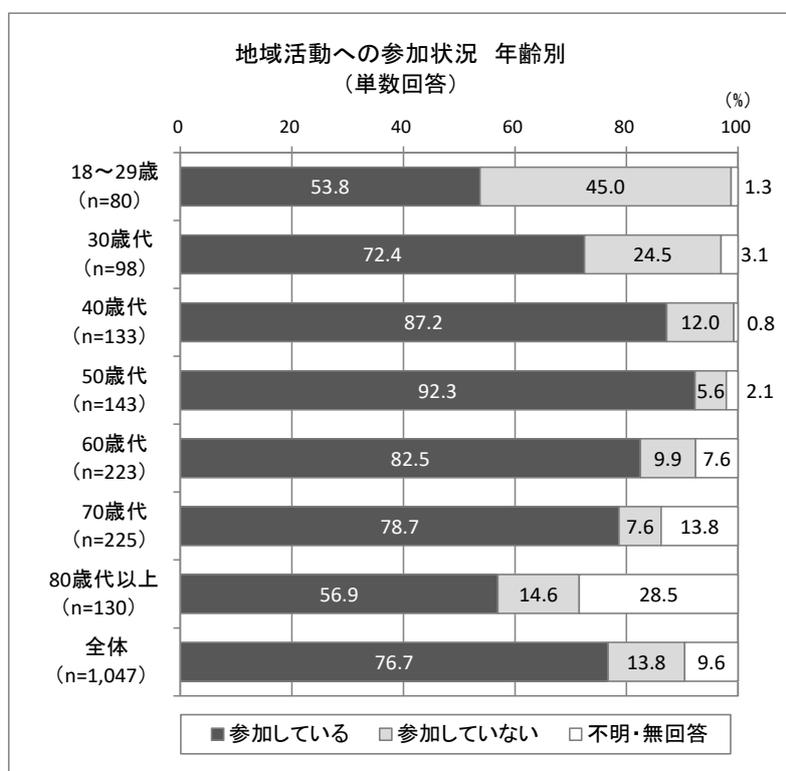
(3) 地域活動への参加状況

(地域活動への参加率)

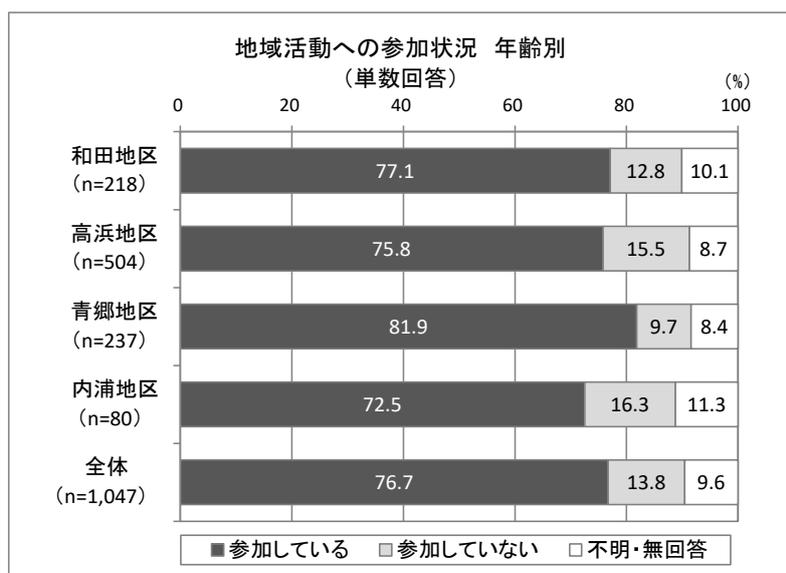
「自治会・町内会の活動」「ボランティア活動」「子育て支援活動」「高齢・障がい・地域福祉に係る活動」「スポーツ・文化・学習活動」「環境美化活動」「宗教的な活動（お祭りなど）」「防災・防犯活動」「その他」のいずれかに年数回以上参加している人は76.7%、全く参加していない人は13.8%となっています。



年齢別にみると、どの年代も「参加している」が 50%を超えています。また、年齢別による有意な差はみられません。



居住地区別にみると、どの居住地区も「参加している」が 70%を超えています。また、居住地区別による有意な差はみられません。



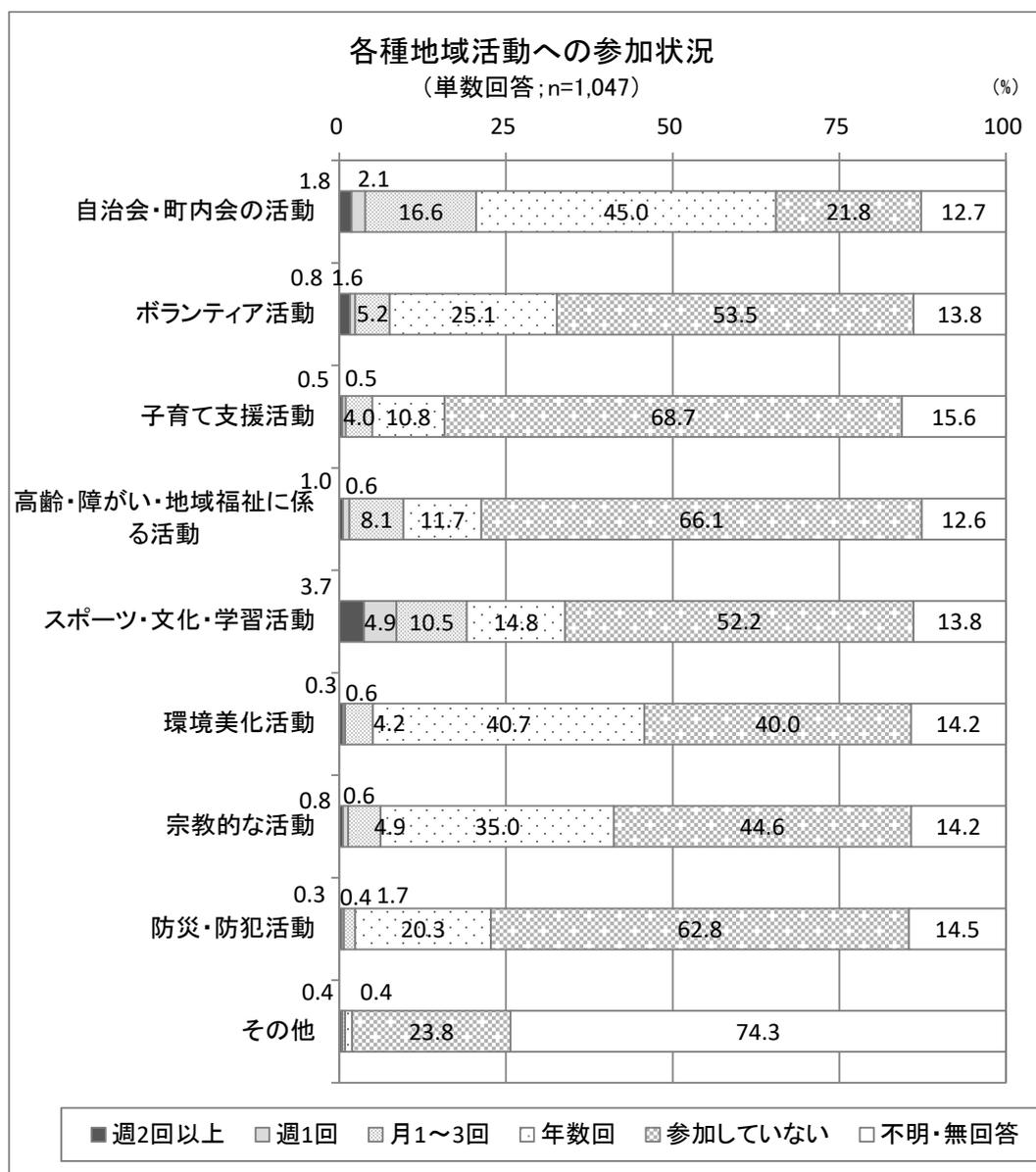
「週2回以上」は「スポーツ・文化・学習活動」が最も多く3.7%、次いで「自治会・町内会の活動」が1.8%などとなっています。

「週1回」は「スポーツ・文化・学習活動」が最も多く4.9%、次いで「自治会・町内会の活動」が2.1%などとなっています。

「月1～3回」は「自治会・町内会の活動」が最も多く16.6%、次いで「スポーツ・文化・学習活動」が10.5%などとなっています。

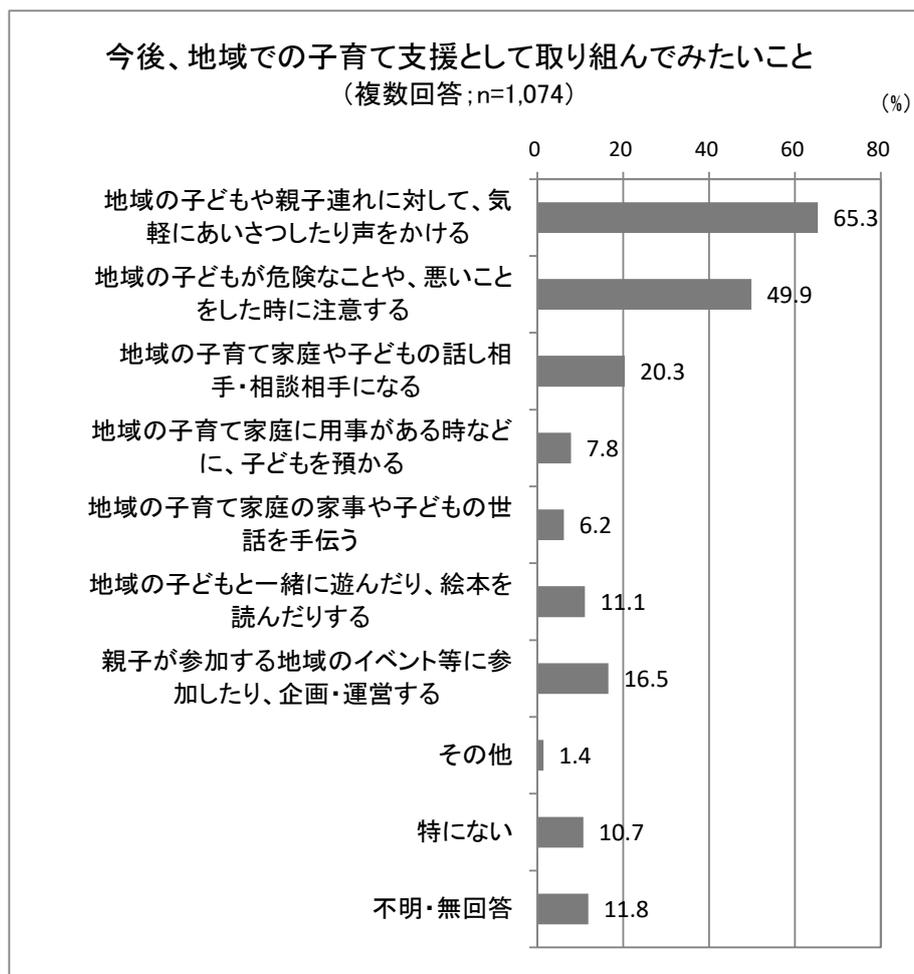
「年数回」は「自治会・町内会の活動」が最も多く45.0%、次いで「環境美化活動」が40.7%などとなっています。

「参加していない」は「自治会・町内会の活動」が最も少なく、「子育て支援活動」が最も多くなっています。



(4) 今後、地域での子育て支援として取り組んでみたいこと

「地域の子どもや親子連れに対して、気軽にあいさつしたり声をかける」が最も多く 65.3%、次いで「地域の子どもが危険なことや、悪いことをした時に注意する」が 49.9%、「地域の子育て家庭や子どもの話し相手・相談相手になる」が 20.3%、「親子が参加する地域のイベント等に参加したり、企画・運営する」が 16.5%などとなっています。



7. 自由記述の内容

自由意見欄には 256 名の方から延べ 442 件の意見をいただきました。その内容について、現総合計画の基本目標ごとに下記のように整理しています。

目標 1. 誰もが安心して暮らせるまち

76 件

○福祉 (41 件)

- 運転ができなくなってから (運転免許証返納後) の生活が不安 (11)
- 高齢者のための介護施設が欲しい (8)
- 高齢者向けの居場所が欲しい (6)
- 高齢者介護の充実を望む (4)
- バリアフリー環境の充実 (2)
- 障がい者の地域受け入れが不十分だと思う (2)
- 障がい者の就労支援施設／事業所が足りない (2)
- その他 (6)

○医療 (22 件)

- 子育てのためには産科・小児科が必要 (8)
- 高齢化を見据えた医療制度の充実を望む (3)
- 近隣自治体との広域連携で大病院を設立してはどうか (2)
- その他 (9)

○防犯・防災 (13 件)

- 地域によっては夜が暗いので街灯の設置を望む (4)
- 地すべり・崩落への対策が必要 (3)
- その他 (6)

目標 2. いきいきと働くことができるまち

105 件

○観光振興 (37 件)

- 道の駅は他地域と比較するといろいろと問題点が目立つ (6)
- ブルーフラッグ認定は良い、より PR すべき (6)
- ブルーフラッグは話題のみ先走り過ぎではないか (5)
- 新しいものごとではなく、既存の施設や自然を観光資源とすべき (5)
- ハーバルビレッジは有効活用されていないのでは (4)
- その他 (11)

○商工業 (26 件)

- 若い世代の就労先となるような企業を誘致して欲しい (11)
- 利便性や商品の取扱量などに優れた全国チェーン店などが欲しい (9)
- その他 (6)

○農林水産業（18件）

- 害獣対策を充分行って欲しい（5）
- 農業、漁業などを企業化したらどうだろう（4）
- 小規模農地での耕作ができるような規制の変更（2）
- その他（7）

○地場産業など（16件）

- 地元になたな産業を立ち上げる（5）
- 地元産品のより活発なPRが望まれる（4）
- さまざまな形での起業支援があるといい（4）
- 地域住民のための産業を立ち上げるべき（3）

○原子力関連産業（8件）

- 原子力発電所に頼らない（産業構成、税金など）方向性を持つべき（7）
- 原子力発電所があるとやはり不安（1）

目標3. 安全快適で住みやすいまち

105件

○道路／交通（35件）

- 生活道路が狭すぎる（9）
- 地域交通の充実を望む（9）
- 舗装、避難経路などの道路整備をして欲しい（8）
- バスの料金・路線を見直して欲しい（6）
- 歩道を整備して欲しい（3）

○街並景観（31件）

- 空き家が増え、景観や防犯上好ましくない（13）
- 各地域のゴミや雑草の処理が不十分（8）
- 浜の整備、街路樹や花などで景観をより良くしたい（8）
- 電柱を撤去すると景観上好ましい（2）

○住環境／市街地の整備（24件）

- 子どものための遊び場が欲しい（13）
- 公園など住民が楽しめる場所が欲しい（5）
- ゴミ捨て場を整備して欲しい（2）
- その他（4）

○生活のための情報提供（15件）

- ゴミの区分、回収日などの情報が必要（5）
- その他の（10）

目標 4. 豊かな自然を守り、地球環境に貢献するまち 3 件

○自然環境の保全 (3 件)

目標 5. 学びあい・教えあい、そして、人を育むまち 49 件

○子育て支援 (11 件)

- 子育て支援をより充実させて欲しい (4)
- 待機児童など、保育園にはいくつかの問題がある (4)
- 子育て支援制度には満足している (3)

○学校教育をより充実して欲しい (6 件)

○文化振興 (32 件)

- スポーツ施設が欲しい (7)
- 七年祭への参加が強制的なので困る (5)
- 花火大会は一度にまとめたほうがいいのか (4)
- 各地のイベントを仕切るのは高齢者の負担になっている (4)
- その他 (12)

■その他

町政に対する意見 57 件

- これからの人材／リーダーの育成が必要 (9)
- 職員の資質や行動に信頼がおけない (9)
- 行政の姿勢に信頼性が乏しい (6)
- 除雪や害獣駆除の行政サービスが不十分である (5)
- 町税が高額すぎる (4)
- 住民の活動に対する経済的支援や助成が欲しい (4)
- 財政関連の情報を公開して欲しい (3)
- 住民の参加促進の体制をつくって欲しい (3)
- その他 (14)

その他の記述 47 件

- ・若い人の住みよい町を目指すべき (16)
- ・閉鎖的・保守的な地域だと思う (7)
- ・住みやすくなって欲しい (6)
- ・地域の特性を活かして欲しい (5)
- ・その他 (13)